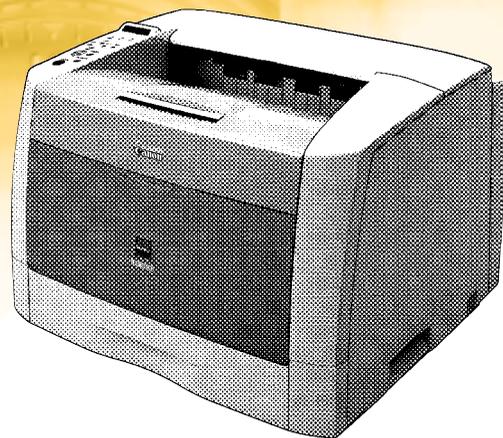
Canon

レーザビームプリンタ

Satera
LBP3800/3700

ＬＩＰＳ機能ガイド

ご使用前に必ず本書をお読みください。
将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

JPN

取扱説明書の分冊構成について

本製品の取扱説明書は、次のような構成になっています。目的に応じてお読みいただき、本製品を十分にご活用ください。

 このマークが付いているガイドは、製品に同梱されている紙マニュアルです。

 このマークが付いているガイドは、付属の取扱説明書 CD-ROM に収められている PDF マニュアルです。

- **プリンタを設置するには**
- **パソコンと接続するには**
- **オプション品を取り付けるには**

設置ガイド

- **トラブルの簡単な解決方法を知るには**
- **プリンタの簡単な使いかたを知るには**

かんたん操作ガイド

- **基本的な使いかたを知るには**
- **困ったときには**

ユーザーズガイド

- **プリンタドライバのインストール方法を知るには**

LIPS ソフトウェアガイド／スタート編

- **プリンタドライバのインストール方法を知るには**
- **印刷するには**
- **添付ソフトウェアの使いかたを知るには**

LIPS ソフトウェアガイド／本編

- **プリントサーバの取り付けかたを知るには**
- **TCP/IP ネットワーク（Windows）の設定方法を知るには**
LBP3800の場合のみ

ネットワークガイド／スタート編

- **いろいろなネットワークの設定方法を知るには**
LBP3800の場合のみ

ネットワークガイド／本編

- **操作パネルを使ってプリンタを設定するには**

LIPS 機能ガイド（本書）

- **Web ブラウザからプリンタを操作・設定するには**
LBP3800の場合のみ

リモート UI ガイド

別売の取扱説明書

お求めについては販売店にご相談ください。

プログラマーズマニュアル
LIPS対応のプリンタドライバや印刷の設定プログラムなどを作成するプログラマー用の取扱説明書です。

オプション品に付属の取扱説明書
オプション品の設置のしかたや使いかたを説明しています。

- PDF 形式のマニュアルを表示するには、Adobe Reader/Adobe Acrobat Reader が必要です。ご使用のシステムに Adobe Reader/Adobe Acrobat Reader がインストールされていない場合は、アドビシステムズ社のホームページからダウンロードし、インストールしてください。
- 表紙に掲載されている製品写真は、実際の製品と異なる場合があります。

本書の構成について

第 1 章 メニュー機能の使いかた 必ずお読みください

第 2 章 メニューの機能と操作 必ずお読みください

第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目

第 4 章 LIPS 専用セットアップメニューの設定項目

第 5 章 N201 専用セットアップメニューの設定項目

第 6 章 ESC/P 専用セットアップメニューの設定項目

第 7 章 セットアップ以外のメニューの設定項目

第 8 章 付録

ソフトウェアのバージョンアップ方法やユーティリティメニューから出力できるリスト、動作モードを切り替えて出力できるリストの内容などについて説明しています。

巻末に、各メニューの階層を示す「メニュールートマップ」があります。各メニューの設定項目や内容を知りたいときにご活用ください。

本製品のリモート UI を使い、パソコンからリモートで設定や管理を行う場合は添付の「リモート UI ガイド」（CD-ROM）もお読みください。（LBP3800 のみ標準）

ユーザーズガイドをあわせてお読みください。

目次

第 1 章　メニュー機能の使いかた

第 2 章　メニューの機能と操作

第４章　LIPS 専用セットアップメニューの設定項目

第5章　N201専用セットアップメニューの設定項目

第6章　ESC/P専用セットアップメニューの設定項目

第 8 章　付録

はじめに

このたびはキヤノンLBP3800/3700をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品の機能を十分にご理解いただき、より効果的にご利用いただくために、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。また、お読みいただきました後も大切に保管してください。

本書の読みかた

マークについて

本書では、操作上必ず守っていただきたい事項や操作の参考となる説明などに、下記のマークを付けています。

重要　操作上、必ず守っていただきたい重要事項や制限事項が書かれています。誤った操作によるトラブルを防ぐために、必ずお読みください。

メモ　操作の参考となることや補足説明が書かれています。お読みになることをおすすめします。

キー・ボタンについて

本書では、キー・ボタン名称を以下のように表しています。

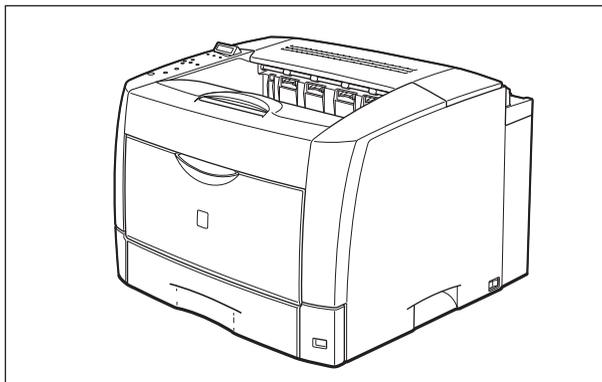
- 操作パネル上のキー：[キー名称]

例：[オンライン]
　　[ユーティリティ]

- コンピュータ画面上のボタン：[ボタン名称]

例：[OK]
　　[設定]

イラストについて

本書で使われているイラストは、特にお断りが無い限り、LBP3800 の場合のものです。LBP3700 の標準状態では、プリントサーバおよび LAN コネクタはありません。(ただし、オプションで装着可能です。)

略称について

本書に記載されている名称は、下記の略称を使用しています。

Microsoft® Windows NT® operating system 日本語版：	Windows NT
Microsoft® Windows® 2000 operating system 日本語版：	Windows 2000
Microsoft® Windows® XP operating system 日本語版：	Windows XP
Microsoft® Windows Server™ 2003 operating system 日本語版：	Windows Server 2003
Microsoft® Windows® operating system：	Windows
Extended Unix Code：	EUC

規制について

商標について

Canon、Canon ロゴ、LBP、LIPS は、キヤノン株式会社の商標です。

Adobe、Adobe Acrobat、Adobe Reader は、Adobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の商標です。

Apple、Macintosh は、米国 Apple Computer, Inc. の商標です。

HP、HP-GL は、米国 Hewlett-Packard Company の米国の商標です。

IBM、AT は、米国 International Business Machines Corporation の商標です。

Microsoft、MS-DOS、Windows、Windows NT は、米国 Microsoft Corporation の米国および他の国における登録商標です。

Windows Server は、米国 Microsoft Corporation の商標です。

UNIX は、The Open Group の米国およびその他の国における登録商標です。

Ethernet は、米国 Xerox Corporation の商標です。

ESC/P、ESC/P-J84 は、セイコーエプソン株式会社の商標です。

PC-9800 シリーズ、PC-PR201/80A は、日本電気株式会社の商標です。

BMLinkS は、社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会（JBMIA）の商標です。

下記の書体は米国 Bitstream Inc. よりライセンスを受けています。

Dutch 801 Bold, Dutch 801 Bold Italic, Dutch 801 Italic, Dutch 801 Roman, Swiss 721, Swiss 721 Bold, Swiss 721 Bold Oblique, Swiss 721 Oblique, Symbol, Fixed Pitch 810 Courier 10 Pitch/Text, Fixed Pitch 810 Courier Oblique 10 Pitch/Text, Fixed Pitch 810 Courier Bold 10 Pitch/Text, Fixed Pitch 810 Courier Bold Oblique 10 Pitch/Text

Century 702 Century Schoolbook, Century 702 Century Schoolbook Bold, Century 702 Century Schoolbook Bold Italic, Century 702 Century Schoolbook Italic, Chancery 801 ITC Zapf Chancery Medium Italic, Geometric 711 ITC Avant Garde Gothic Book, Geometric 711 ITC Avant Garde Gothic Book Oblique, Geometric 711 ITC Avant Garde Gothic Demi, Geometric 711 ITC Avant Garde Gothic Demi Oblique, ITC Zapf Dingbats, Revival 711 ITC Bookman Demi, Revival 711 ITC Bookman Demi Italic, Revival 711 ITC Bookman Light, Revival 711 ITC Bookman Light Italic, Swiss 721 Narrow, Swiss 721 Narrow Bold, Swiss 721 Narrow Bold Oblique, Swiss 721 Narrow Oblique, Zapf Calligraphic 801, Zapf Calligraphic 801 Bold, Zapf Calligraphic 801 Bold Italic, Zapf Calligraphic 801 Italic, Zapf Humanist 601, Zapf Humanist 601 Bold, Zapf Humanist 601 Italic

本製品が対応しているコントロールコマンドについて

標準対応しているコントロールコマンドについて

本製品は標準でLIPS、N201エミュレーションコマンド、ESC/Pエミュレーションコマンドに対応しています。

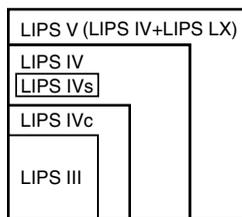
コントロールコマンドとは、プリンタを制御するコマンド体系のことで、パソコンのデータをプリントするという一連の作業は、すべてパソコンから送られてくるコントロールコマンドによって指示されています。

メモ　本機をIBM5577、HP-GLなどの標準プリンタとしてエミュレートさせることもできます。この場合、オプションのコントロールROMが必要です。

■ LIPSモード

LIPSは、LBP Image Processing Systemの略で、キヤノンが独自に開発したページプリンタをコントロールするためのコマンド体系です。LIPSに対応しているアプリケーションソフト（一太郎、Lotus 1-2-3、桐など）は、このモードでプリントします。Windows や Macintosh では、付属のプリンタドライバを組み込むと、自動的にLIPSモードでプリントします。

LIPSには、現在LIPS II、LIPS II+、LIPS III、LIPS IVc、LIPS IVs、LIPS IV、LIPS LXのバージョンがあります。これらのうち本機では、LIPS II+、LIPS III、LIPS IV、LIPS LXに対応しています。

LIPS Vは、LIPS IV（LIPS II+、LIPS IIIを含む）およびLIPS LXから構成されたコマンド体系の総称です。LIPS LXは、最新のOSに最適化されたプリンティングシステムです。印刷処理をパソコンとプリンタで分散させて行うため、高速なプリント出力が行なえます。また、プリンタのメモリ追加を行なわない場合でも、高速なプリント出力が可能です。

メモ
- LIPS II+対応アプリケーションソフトを使用する場合、従来のレーザショットシリーズで行ったプリントとは解像度が異なります。
- LIPS IVc 対応アプリケーションソフトからも本製品でプリントすることができますが、解像度の違いにより、プリント結果の見た目は異なります。

■ N201 エミュレーションモード

日本電気（株）製シリアルプリンタ「PC-PR201/80A」の動作をエミュレートする（まねをする）モードです。PC-9800 シリーズのコンピュータで、LIPS に対応していないアプリケーションソフトを使用しているときは、このモードでプリントします。日本電気（株）が提唱する 201PL のコマンド体系に準拠しています。

■ ESC/P エミュレーションモード

IBM-PC/AT 互換機（DOS/V コンピュータ）、AX コンピュータで標準的に使用されている ESC/P 準拠プリンタの動作をエミュレートする（まねをする）モードです。これらのコンピュータで、LIPS に対応していないアプリケーションソフトを使用しているときは、このモードでプリントします。セイコーエプソン（株）が提唱する ESC/P-J84 のコマンド体系に準拠しています。

■ BMLinkS モード

BMLinkS は、社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会（JBMIA）が推進しているオフィス機器インタフェースです。BMLinkS を利用することで、ネットワーク上にある様々なメーカーのプリンタやスキャナを共通のフォーマットを用いて接続することができます。LBP3800 は標準で BMLinkS に対応しています。LBP3700 は、BMLinkS に対応したオプションのプリントサーバを装着することで BMLinkS に対応します。
BMLinkS の詳細については、ユーザーズガイド「第 2 章 プリンタの使いかた」を参照してください。

コントロールコマンドごとの動作モード

本製品はパソコンから送られてきたデータのコントロールコマンドを判別して、自動的に動作モードを LIPS モード、N201 エミュレーションモード、ESC/P エミュレーションモードに切り替えることができます。ただし、アプリケーションソフトが使用するコントロールコマンドが限定されている場合や、自動切り替えでうまく動作モードが切り替わらないときは以下のように、コントロールコマンドと動作モードを対応させせます。

LIPS のコントロールコマンドでデータを受け取ってプリントできる状態にするには「LIPS モード」、N201 のコントロールコマンドでデータを受け取ってプリントできる状態にするには「N201 エミュレーションモード」、ESC/P のコントロールコマンドでデータを受け取ってプリントできる状態にするには「ESC/P エミュレーションモード」に切り替えます。本製品では操作パネルのメニュー機能を使って動作モードを切り替えたり、プリントするときの環境を設定することができます。

1
CHAPTER

メニュー機能の使いかた

この章では、プリンタの操作パネルに表示されるメニューの機能と種類、操作キーの使いかた、ディスプレイの見かたについて説明しています。

メニュー機能

メニュー機能の概要や種類について説明しています。

メニュー機能とは

プリント時には、プリント枚数や用紙サイズなどを設定します。これらの一般的な設定は、通常はアプリケーションソフトやプリンタドライバで行います。

しかし、本プリンタには、プリント枚数や用紙サイズ設定などのほかにも多数の設定項目が用意されており、多様な用途に応じてプリントできます。本プリンタの設定項目の中には、アプリケーションソフトやプリンタドライバで設定できないものもあり、その場合は「メニュー機能」で設定します。

メニュー機能では、多数の設定項目が目的別にメニューの形式でまとめられているので、設定がしやすくなっています。

メニュー機能を設定する方法には次の 2 種類があります。

■ プリンタの操作パネルで設定する方法

プリンタのディスプレイの表示を見ながらキーを押して操作します。

■「リモート UI」で設定する方法（LBP3800 のみ標準）

操作パネルで行う設定の一部が、パソコン側から Web ブラウザを使用して行うことができます。

メモ

- 本書では、操作パネルでメニュー機能を設定する方法のみを説明しています。リモート UI で設定する方法については、「リモート UI ガイド」を参照してください。
- メニュー機能の設定内容は、通常は電源をオフにしても消えないメモリ（NVRAM）に登録されます。したがって、電源を入れなおしても、電源をオフにする前と同じ設定で起動します。

● 設定の優先順位

アプリケーションソフトやプリンタドライバと同じ項目をメニュー機能で設定しても、アプリケーションソフトやプリンタドライバで設定した内容のほうが有効になります。また、メニュー機能にしかない項目を、操作パネルで行う場合と「リモートUI」で行う場合では、後から設定した内容が有効になります。

プリンタドライバやリモートUIは本プリンタに付属しています。操作については、「LIPSソフトウェアガイド／本編」およびプリンタドライバのヘルプおよび「リモートUIガイド」を参照してください。

設定項目によっては、プリンタの電源を入れなおすか、ハードリセットを行ったときに有効になるものもあります。

1

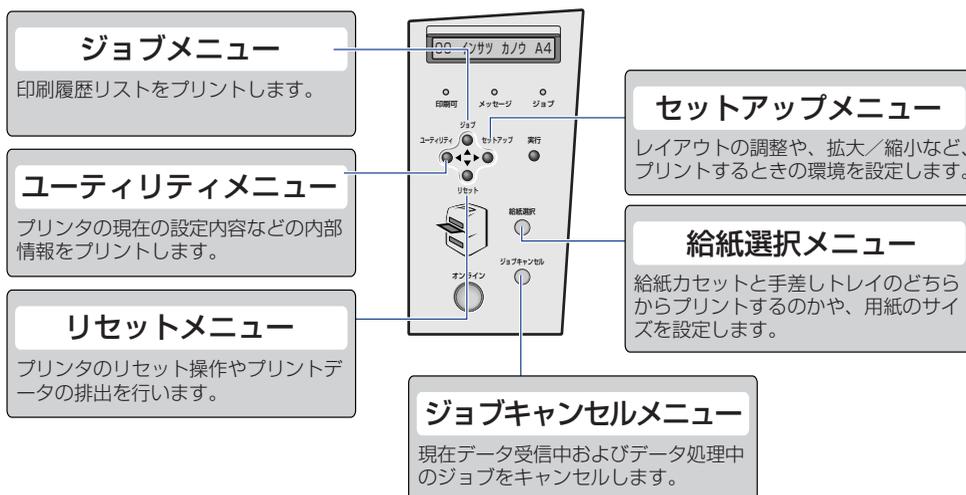
メニュー機能の使いかた

メニューの種類

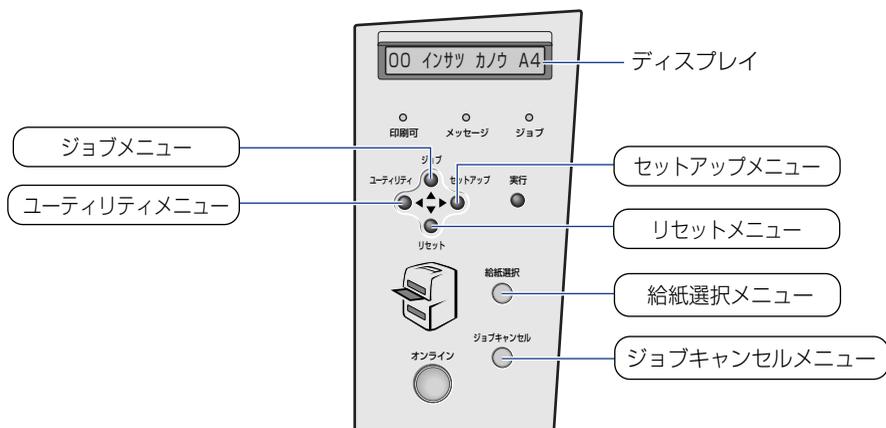
メニューには、次の図で示した 6 種類があります。

それぞれのメニューは、プリンタをオフラインにした状態で操作パネルのキーを押して、ディスプレイに表示します。

各メニューの機能、構造、および操作の流れについては、「メニューの機能と操作」（→ P.2-1）を参照してください。

また、各メニューの内容については、「共通セットアップメニューの設定項目」（→ P.3-1）、「LIPS 専用セットアップメニューの設定項目」（→ P.4-1）、「N201 専用セットアップメニューの設定項目」（→ P.5-1）、「ESC/P 専用セットアップメニューの設定項目」（→ P.6-1）、「セットアップ以外のメニューの設定項目」（→ P.7-1）を参照してください。

操作キーの使いかた

メニューの操作には、以下のキーを使います。

それらのうち、[セットアップ]、[ユーティリティ]、[ジョブ]、[リセット]、[ジョブキャンセル]、[給紙選択] には、メニューを表示する機能があります。

■ 各キーの機能は、次のとおりです。

キー	機能	
オンライン	オンライン状態とオフライン状態を切り替えます。メニューの操作は、すべてこのキーを押してオフライン状態に切り替えてから行います。キーが点灯しているときがオンライン状態、消灯しているときがオフライン状態です。 本文中では［オンライン］と表記します。	
ジョブキャンセル	オフライン状態に切り替えた直後	メニューの表示中
	ジョブランプが点灯・点滅している状態（データ処理中・データ受信中）で押すと、現在処理中のジョブをキャンセルします。本文中では［ジョブキャンセル］と表記します。	動作しません。
給紙選択	給紙選択メニューを表示します。本文中では［給紙選択］と表記します	給紙選択メニュー内では、[►］と同じ動作（項目や設定値の選択）をします。
ユーティリティ ◄	ユーティリティメニューを表示します。本文中では［ユーティリティ］と表記します。	同じ階層の左側の項目を表示します。項目が数値の場合は数値が減ります。そのまま押し続けると、数値の減る速度が速くなる項目もあります。本文中では［◄］と表記します。

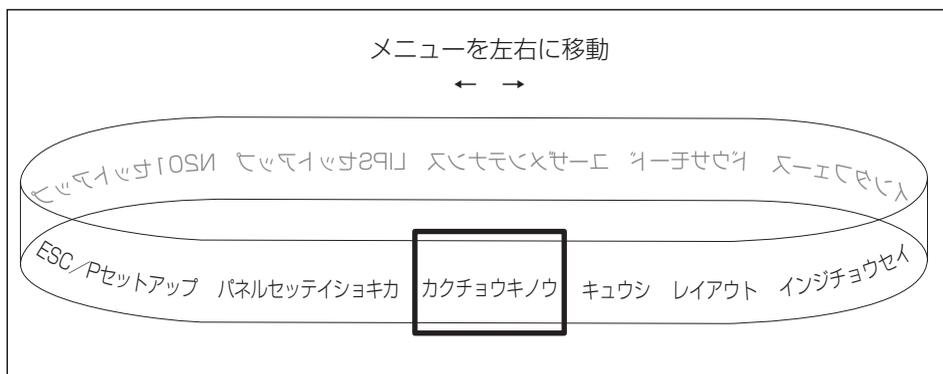
キー	機能	
ジョブ ▲	ジョブメニューを表示します。本文中では［ジョブ］と表記します。	上の階層の項目を表示します。本文中では［▲］と表記します。
▼ リセット	リセットメニューを表示します。本文中では［リセット］と表記します。	選択した項目を実行します。または次の階層に進みます。本文中では［▼］と表記します。［実行］と同じ動作をします。
セットアップ ▶	セットアップメニューを表示します。本文中では［セットアップ］と表記します。	同じ階層の右側の項目を表示します。項目が数値の場合は数値が増えます。そのまま押し続けると、数値の増す速度が速くなる項目もあります。本文中では［▶］と表記します。
実行	動作しません。	選択した項目を実行します。または次の階層に進みます。本文中では［実行］と表記します。［▼］と同じ動作をします。

ディスプレイの見かた

メニュー機能を設定するときの、プリンタのディスプレイに表示される内容について説明しています。

メニューの構造

メニューは下の図のように、1 つのつながった輪のような構造（ループ構造）になっており、この輪の中の一項目がディスプレイに表示されています。したがって、［◀］や［▶］を押して、同じ方向に続けてメニューを移動すると、最初の項目が再び表示されます。

メニューは、階層ごとにそれぞれ別のループ構造になっています。

メニュー操作に入ることができる状態

プリント可能な状態のときに、オフライン状態にしてメニュー操作を行うことができます。プリント可能な状態とは、次の 2 つの条件を満たしている状態です。

- ジョブランプとメッセージランプが消灯している
- ディスプレイに「00　■■■■」のメッセージが表示されている

例 1）動作モード自動選択の場合のプリント可能表示

```
00 インサツ カノウ    A4
```

例 2）LIPS モードの場合のプリント可能表示

```
00 LIPS              A4
```

例 3）N201 エミュレーションモードの場合のプリント可能表示

```
00 N201              A4
```

例 4）ESC/P エミュレーションモードの場合のプリント可能表示

00 ESC/P A4

ディスプレイの見かた

ディスプレイの表示は 1 行（16 文字）です。

キーを押してメニューを表示したあと、自動的にそのメニューの最初の階層の項目が表示されます。

同じ階層の中で他に選択できる項目がある場合は、ディスプレイの右端に「→」が表示されます。

メニューの一番下の階層を表示したあと、何も操作を行わないと、自動的にひとつ上の階層の項目と現在選択されている階層の項目が、交互にディスプレイに表示されます。

現在設定されている設定値は、ディスプレイの左端に「＝」が表示されます。

メニューの機能と操作

2
CHAPTER

この章では、各メニューの構造と操作パネルでプリント環境を設定する方法について説明しています。

共通セットアップメニューの機能と操作

共通セットアップメニューの概要と操作手順について説明しています。

共通セットアップメニューの機能と構造

ここでは、共通セットアップメニューの機能とメニュー構造について説明します。

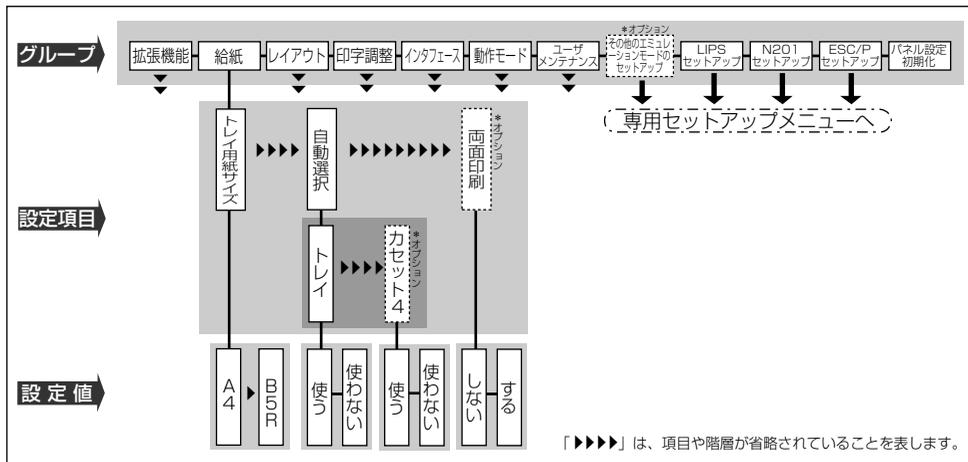
共通セットアップメニューの機能

共通セットアップメニューでは、印字する位置や、文字の種類、パソコンと接続するときのインタフェースの選択などをはじめ、さまざまなプリント環境を設定することができます。

通常、プリント環境は、接続しているパソコンのアプリケーションソフトやプリンタドライバで設定できます。しかし、中にはインタフェースの設定など、プリンタの共通セットアップメニューでしか行えないものもあります。また、印刷条件を設定できないアプリケーションソフトや、MS-DOS のコマンドで直接プリントすることもできますので、これらのパソコンからプリントするときは、プリンタの共通セットアップメニューでプリント環境を設定します。

共通セットアップメニューの構造

共通セットアップメニューは「グループ」「設定項目」「設定値」の 3 つの階層に分かれています。グループは、いくつかの設定項目が機能別にまとめられたもので、その中から設定項目を選び、設定項目ごとに設定値が選択できる構造になっています。

グループの階層で「LIPS セットアップ」、「N201 セットアップ」、「ESC/P セットアップ」、オプションのコントロール ROM によるエミュレーションモードを選択すると、それぞれの専用セットアップメニューに移行します。

メモ

- 項目によっては、「給紙」グループの「自動選択」のように、設定項目の階層が 2 つに分かれているものがあります。
- 「パネル設定初期化」はグループの下の階層がありません。初期化の操作方法については、「セットアップメニューの初期化」（→ P.2-27）を参照してください。
- 「動作モード選択」（→ P.3-35）で、特定の動作モード（LIPS や N201、ESC/P）に設定した場合は、選択した動作モード以外の専用セットアップメニューに移行することはできません。
- 点線枠の項目は、オプションのコントロール ROM やペーパーフィーダ、両面ユニットを装着している場合のみ、追加して表示され、選択できるようになります。オプションエミュレーションの専用セットアップメニューについては、オプションのコントロール ROM の取扱説明書を参照してください。

共通セットアップメニューの操作の流れ

共通セットアップメニューには、「グループ」「設定項目」「設定値」の 3 つの階層があり、それぞれの階層で目的の項目を選択します。

ここでは、印字調整グループの「印字動作」の項目を「画質優先」に設定する手順を例に説明します。

操作の手順	キー操作
1 オフライン状態に切り替える	[オンライン] を押す
2 セットアップメニューを表示する セットアップ゜ カクチョウ　キノウ　→	[セットアップ] を押す セットアップメニューが表示されます。
3 グループを選択する 「印字調整」グループを選択した場合 インシ゛チョウセイ　→	[◀] または [▶] を押す 目的のグループが表示されます。
4 設定項目を表示する スーハ゜ースムース゛　→	[実行] を押す 選択したグループの設定項目が表示されます。
5 設定項目を選択する 「印字動作」を選択した場合 インシ゛　ト゛ウサ　→	[◀] または [▶] を押す 目的の設定項目が表示されます。
6 設定値を表示する =シ゛ト゛ウ　→	[実行] を押す 選択した設定項目の設定値が表示されます。
7 設定値を選択する 「画質優先」を選択した場合 カ゛シツ　ユウセン　→	[◀] または [▶] を押す 目的の設定値が表示されます。
8 選択した値を確定する	[実行] を押す

9	オンライン状態に戻す	［オンライン］を押す

メモ

- オフライン状態に切り替えることができるのは、プリント可能な状態のときです。プリント可能な状態とは、「00　■■■■」が表示され、ジョブランプとメッセージランプが消灯している状態です。
- 操作の途中で［▲］を押すと、1 つ前の階層に戻ります。
- 操作の途中で［オンライン］を押すと、操作を中止してオンライン状態に戻ります。
- グループの階層で、「LIPS セットアップ」、「N201 セットアップ」、「ESC/P セットアップ」を選択した場合は、「LIPS 専用セットアップメニューの機能と操作」（→ P.2-7）、「N201 専用セットアップメニューの機能と操作」（→ P.2-10）、「ESC/P 専用セットアップメニューの機能と操作」（→ P.2-13）を参照してください。
- 項目によっては、設定項目の階層が 2 つの層に分かれている場合があります。

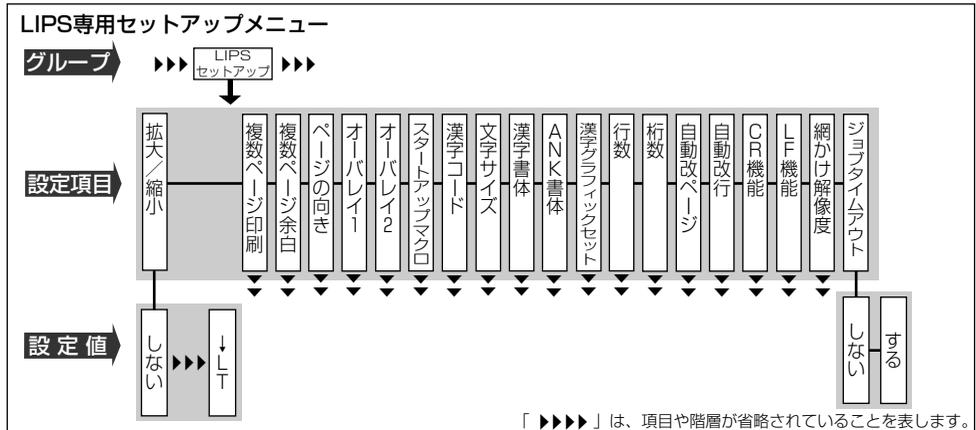
LIPS 専用セットアップメニューの機能と操作

LIPS 専用セットアップメニューの概要と操作手順について説明しています。

メモ　LIPS 専用セットアップメニューの設定は、コントロールコマンドで LIPS II+、LIPS III、LIPS IV を使用しているときのみ有効になります。

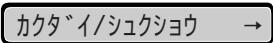
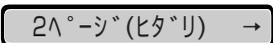
LIPS 専用セットアップメニューの機能と構造

共通セットアップメニューのグループの階層で「LIPS セットアップ」を選択すると、LIPS 専用セットアップメニューに移行します。

LIPS 専用セットアップメニューは、「設定項目」と「設定値」の 2 つの階層に分かれていて、LIPS モードが動作した場合のみ有効な設定をすることができます。

LIPS 専用セットアップメニューの操作の流れ

LIPS 専用セットアップメニューは「設定項目」と「設定値」の 2 つの階層で、目的の項目を選択します。

ここでは、「複数ページ印刷」の項目を「2 ページ（左）」に設定する手順を例に説明します。

	操作の手順	キー操作
1	オフライン状態に切り替える	[オンライン] を押す
2	セットアップメニューを表示する セットアップ゜ カクチョウ　キノウ　→	[セットアップ] を押す セットアップメニューが表示されます。
3	グループで「LIPS セットアップ」を選択する LIPS　セットアップ゜　→	[◀] または [▶] を押す 「LIPS セットアップ」が表示されます。
4	設定項目を表示する カクダ゛イ/シュクショウ　→	[実行] を押す LIPS セットアップの設定項目が表示されます。
5	設定項目を選択する 「複数ページ印刷」を選択した場合 フクスウヘ゜ーシ゛　インサツ　→	[◀] または [▶] を押す 目的の設定項目が表示されます。
6	設定値を表示する =シナイ　→	[実行] を押す 選択した設定項目の設定値が表示されます。
7	設定値を選択する 「2 ページ（左）」を選択した場合 2ヘ゜ーシ゛(ヒダ゛リ)　→	[◀] または [▶] を押す 目的の設定値が表示されます。
8	選択した値を確定する	[実行] を押す
9	オンライン状態に戻す	[オンライン] を押す

メモ

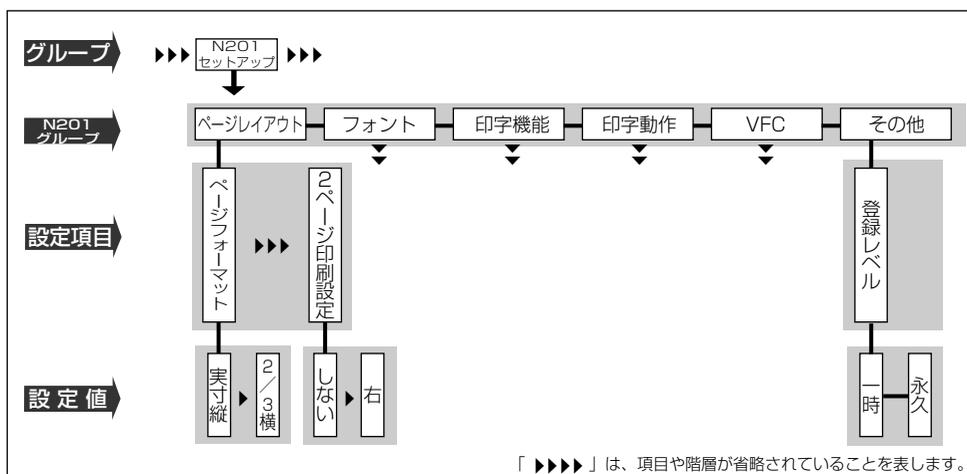
- オフライン状態に切り替えることができるのは、プリント可能な状態のときです。プリント可能な状態とは、「00　■■■■」が表示され、ジョブランプとメッセージランプが消灯している状態です。
- 操作の途中で［▲］を押すと、1 つ前の階層に戻ります。
- 操作の途中で［オンライン］を押すと、操作を中止してオンライン状態に戻ります。

N201 専用セットアップメニューの機能と操作

N201 専用セットアップメニューの概要と操作手順について説明しています。

N201 専用セットアップメニューの機能と構造

共通セットアップメニューのグループの階層で「N201 セットアップ」を選択すると、N201 専用セットアップメニューに移行します。

N201 専用セットアップメニューは、「N201 グループ」「設定項目」「設定値」の 3 つの階層に分かれていて、N201 エミュレーションモードが動作した場合のみ有効な設定をすることができます。

メモ　オプションのコントロール ROM を装着すると、設定項目が追加されます。詳しくはオプションのコントロール ROM の取扱説明書を参照してください。

N201 専用セットアップメニューの操作の流れ

N201 専用セットアップメニューは「N201 グループ」「設定項目」「設定値」の 3 つの階層で、目的の項目を選択します。

ここでは、フォントグループの「漢字サイズ」の項目を「8 ポイント」に設定する手順を例に説明します。

9 設定値を選択する

「8 ポイント」を選択した場合

8ﾎﾟｲﾝﾄ →

［◄］または［►］を押す

目的の設定値が表示されます。

10 選択した値を確定する

［実行］を押す

11 オンライン状態に戻す

［オンライン］を押す

メモ

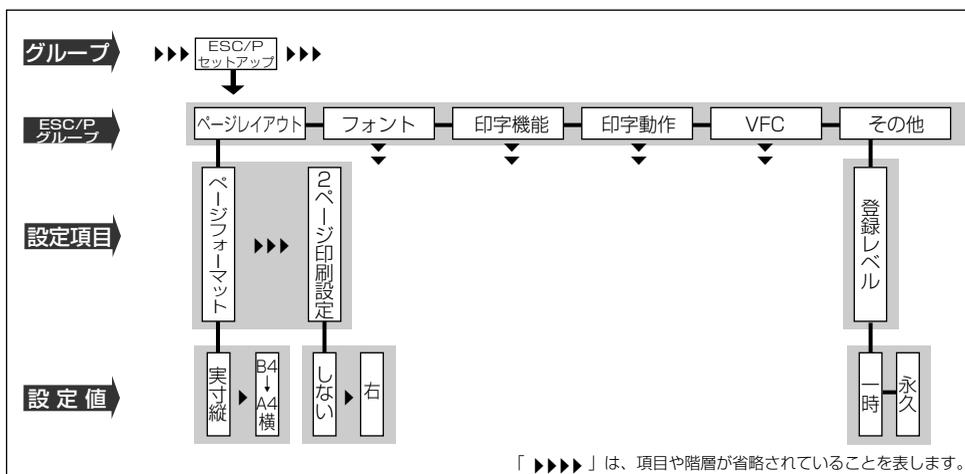
- オフライン状態に切り替えることができるのは、プリント可能な状態のときです。プリント可能な状態とは、「00　■■■■」が表示され、ジョブランプとメッセージランプが消灯している状態です。
- 操作の途中で［▲］を押すと、1 つ前の階層に戻ります。
- 操作の途中で［オンライン］を押すと、操作を中止してオンライン状態に戻ります。

ESC/P 専用セットアップメニューの機能と操作

ESC/P 専用セットアップメニューの概要と操作手順について説明しています。

ESC/P 専用セットアップメニューの機能と構造

共通セットアップメニューのグループの階層で「ESC/P セットアップ」を選択すると、ESC/P 専用セットアップメニューに移行します。

ESC/P 専用セットアップメニューは、「ESC/P グループ」「設定項目」「設定値」の 3 つの階層に分かれていて、ESC/P エミュレーションモードが動作した場合のみ有効な設定をすることができます。

メモ　オプションのコントロール ROM を装着すると、設定項目が追加されます。詳しくはオプションのコントロール ROM の取扱説明書を参照してください。

ESC/P 専用セットアップメニューの操作の流れ

ESC/P 専用セットアップメニューは、「ESC/P グループ」「設定項目」「設定値」の 3 つの階層で目的の項目を選択します。

ここでは、フォントグループの「国別文字」の項目を「USA」に設定する手順を例に説明します。

	操作の手順	キー操作
1	オフライン状態に切り替える	[オンライン] を押す
2	セットアップメニューを表示する セットアップ゜ カクチョウ キノウ →	[セットアップ] を押す セットアップメニューが表示されます。
3	グループで「ESC/P セットアップ」を選択する ESC/P セットアップ゜ →	[◀] または [▶] を押す 「ESC/P セットアップ」が表示されます。
4	ESC/P グループを表示する ヘ゜ーシ゛レイアウト →	[実行] を押す ESC/P グループが表示されます。
5	ESC/P グループを選択する 「フォント」グループを選択した場合 フォント →	[◀] または [▶] を押す 目的の ESC/P グループが表示されます。
6	設定項目を表示する カンシ゛ショタイ →	[実行] を押す 選択した ESC/P グループの設定項目が表示されます。
7	設定項目を選択する 「国別文字」を選択した場合 クニヘ゛ツモシ゛ →	[◀] または [▶] を押す 目的の設定項目が表示されます。
8	設定値を表示する =ニホン →	[実行] を押す 選択した設定項目の設定値が表示されます。

9	設定値を選択する	[◀] または [▶] を押す
	「USA」を選択した場合 USA →	目的の設定値が表示されます。
10	選択した値を確定する	[実行] を押す
11	オンライン状態に戻す	[オンライン] を押す

メモ

- オフライン状態に切り替えることができるのは、プリント可能な状態のときです。プリント可能な状態とは、「00 ■■■■」が表示され、ジョブランプとメッセージランプが消灯している状態です。
- 操作の途中で［▲］を押すと、1 つ前の階層に戻ります。
- 操作の途中で［オンライン］を押すと、操作を中止してオンライン状態に戻ります。

ユーティリティメニューの機能と操作

ユーティリティメニューの概要と操作手順について説明しています。

2

ユーティリティメニューの機能と構造

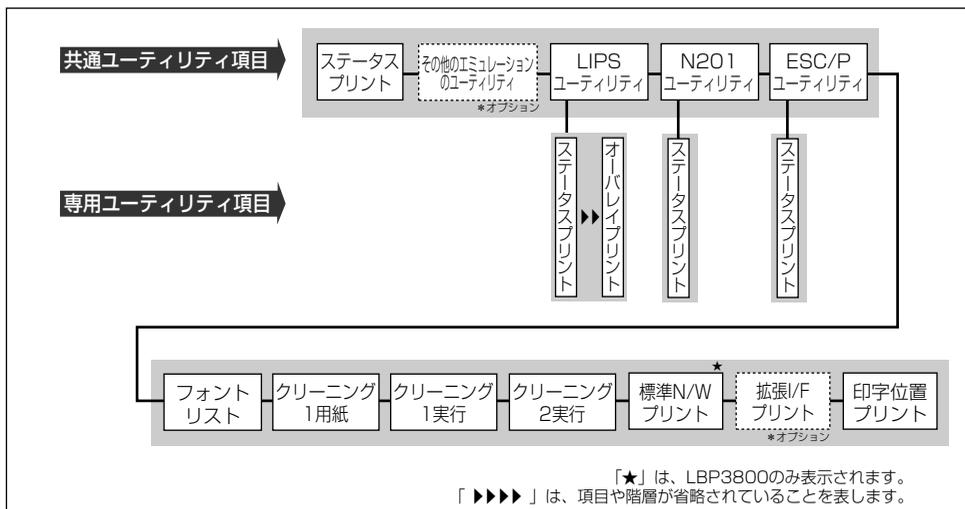
ここでは、ユーティリティメニューの機能とメニュー構造について説明します。

ユーティリティメニューの機能

ユーティリティメニューでは、セットアップメニューの設定内容や、搭載されているフォントなどの情報をプリントして確認することができます。

詳しい項目の内容については「ユーティリティメニューの設定項目」（→ P.7-4）を参照してください。

ユーティリティメニューの構造

ユーティリティメニューは、LIPS、N201、ESC/P、オプションのエミュレーションなどの各動作モードに共通して選択できる「共通ユーティリティ項目」と、動作モードごとに選択する「専用ユーティリティ項目」の 2 つの階層に分かれています。

メモ

- 点線枠の項目は、オプションのコントロール ROM やプリントサーバ（LBP3700 のみ）が装着されている場合のみ追加して表示され、選択できるようになります。
- 「動作モード選択」（→ P.3-35）で、特定の動作モード（LIPS など）に設定した場合は、選択した動作モード以外の専用ユーティリティ項目を設定することはできません。

ユーティリティメニューの操作の流れ

ユーティリティメニューは、「共通ユーティリティ項目」と「専用ユーティリティ項目」の2つの階層で目的の項目を選択します。専用ユーティリティ項目は、共通ユーティリティ項目の階層で「LIPS ユーティリティ」、「N201 ユーティリティ」、「ESC/P ユーティリティ」のいずれかを選択した場合にのみ表示されます。

ここでは、「LIPS ユーティリティ」の「フォントリスト」をプリントする手順を例に説明します。

操作の手順	キー操作
1 オフライン状態に切り替える	**[オンライン]を押す**
2 ユーティリティメニューを表示する ユーティリティ ▼ ステータス プリント →	**[ユーティリティ]を押す** ユーティリティメニューが表示されます。
3 共通ユーティリティ項目を選択する 「LIPS ユーティリティ」を選択した場合 LIPS ユーティリティ →	**[◀]または[▶]を押す** 目的の共通ユーティリティ項目が表示されます。
4 専用ユーティリティ項目を表示する ステータス プリント →	**[実行]を押す** 専用ユーティリティ項目が表示されます。
5 専用ユーティリティ項目を選択する 「フォントリスト」を選択した場合 フォント リスト →	**[◀]または[▶]を押す** 目的の専用ユーティリティ項目が表示されます。
6 選択した項目を確定する	**[実行]を押す** フォントリストがプリントされます。
7 オンライン状態に戻す	**[オンライン]を押す**

メモ

- 専用ユーティリティ項目（LIPS ユーティリティなど）を選択しなかった場合は、操作の手順4～5の設定はありません。
- オフライン状態に切り替えることができるのは、プリント可能な状態のときです。プリント可能な状態とは、「00 ■■■■」が表示され、ジョブランプとメッセージランプが消灯している状態です。
- 操作の途中で［▲］を押すと、1つ前の階層に戻ります。
- 操作の途中で［オンライン］を押すと、操作を中止してオンライン状態に戻ります。

- LIPS のオーバレイリスト、マクロリスト、フォームリスト、オーバレイプリントは、データが登録されている場合のみプリントされます。データが登録されていない場合はブザーが鳴り、何もプリントされません。

ジョブメニューの機能と操作

ジョブメニューの概要と操作手順について説明しています。

ジョブメニューの機能と構造

ここではジョブメニューの機能とメニュー構造について説明します。

ジョブメニューの機能

ジョブメニューでは、印刷履歴をプリントすることができます。

詳しい項目の内容については「ジョブメニューの設定項目」(→P.7-8) を参照してください。

ジョブメニューの構造

ジョブメニューの階層は 1 つです。

ジョブメニューの操作の流れ

ここでは、「印刷履歴リスト」をプリントする手順を説明します。

操作の手順	キー操作
1 オフライン状態に切り替える	[オンライン] を押す
2 ジョブメニューを表示する ジョブ インサツリレキ リスト ↓	[ジョブ] を押す ジョブメニューが表示されます。
3 「印刷履歴リスト」をプリントする	[実行] を押す 印刷履歴リストがプリントされます。
4 オンライン状態に戻す	[オンライン] を押す

メモ

- オフライン状態に切り替えることができるのは、プリント可能な状態のときです。プリント可能な状態とは、「00　■■■■」が表示され、ジョブランプとメッセージランプが消灯している状態です
- 操作の途中で［オンライン］を押すと、操作を中止してオンライン状態に戻ります。

リセットメニューの機能と操作

リセットメニューの概要と操作手順について説明しています。

リセットメニューの機能と構造

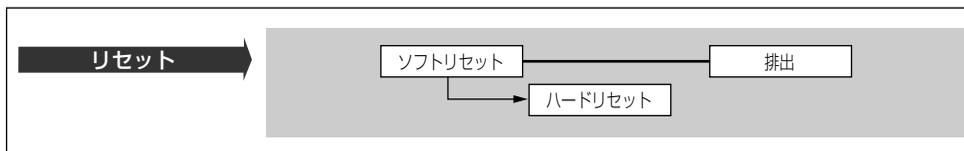
ここではリセットメニューの機能とメニュー構造について説明します。

リセットメニューの機能

リセットメニューでは、プリンタのリセット（ソフトリセット、ハードリセット）やプリンタに残っているプリントデータの排出をすることができます。

詳しい項目の内容については「リセットメニューの設定項目」（→ P.7-9）を参照してください。

リセットメニューの構造

リセットメニューの階層は 1 つです。

メモ　「ハードリセット」は、ディスプレイに「ソフト リセット」と表示されている状態で、[実行] を 3 秒以上押すと表示されます。

リセットメニューの操作の流れ

ここでは、「ソフトリセット」を実行する手順を例に説明します。

操作の手順	キー操作
1 オフライン状態に切り替える	[オンライン] を押す
2 リセットメニューを表示する リセット ソフトリセット →	[リセット] を押す リセットメニューが表示されます。
3 実行したい項目を選択する 「ソフトリセット」を選択した場合 ソフトリセット →	[◀] または [▶] を押す 目的の項目が表示されます。
4 選択した項目を確定する	[実行] を押す ソフトリセットが実行されます。
5 オンライン状態に戻す	[オンライン] を押す

メモ　オフライン状態に切り替えることができるのは、プリント可能な状態のときです。プリント可能な状態とは、「00　■■■■」が表示され、ジョブランプとメッセージランプが消灯している状態です。

ジョブキャンセルメニューの機能と操作

ジョブキャンセルメニューの概要と操作手順について説明しています。

ジョブキャンセルメニューの機能

ジョブキャンセルメニューを使うと、データ受信中およびデータ処理中のジョブだけをキャンセルすることができます。

キャンセルしたいジョブの処理中にプリンタをオフライン状態にし、操作パネルの［ジョブキャンセル］を押すと、ジョブキャンセル処理が開始されます。

メモ

- 本プリンタ専用ではないプリンタドライバから送信されたデータが混在している場合、複数のデータがキャンセルされることがあります。
- ジョブキャンセルの処理は約 2 秒間行われます。この間にデータの受信を完了しなかった場合、ジョブスキップ処理に移行します。ジョブキャンセル処理が開始されると、ディスプレイに「03　ジョブ　キャンセル」と表示され、この状態（ジョブキャンセル状態）ではリセット処理はできません。
- ジョブスキップ処理に時間がかかり、ジョブスキップを途中で中止したいときは、リセット処理を行ってください。ジョブスキップ状態に移行すると、ディスプレイに「00　ジョブ　スキップ」と表示され、この状態（ジョブスキップ状態）でリセット処理が行えるようになります。
- すでにデータ処理が終わり印刷処理中のデータは、キャンセルできません。その場合、その次のプリントデータがキャンセルされることがありますので、気を付けてください。
- ジョブキャンセルを行ったときに、「03　ジョブ　キャンセル」と表示されてもジョブがキャンセルされない場合があります。

ジョブキャンセルメニューの操作の流れ

キャンセルしたいジョブの処理中にプリンタをオフライン状態にし、操作パネルの［ジョブキャンセル］を押すと、ディスプレイに「03　ジョブ　キャンセル」と表示され、ジョブキャンセル処理が開始されます。

操作の手順	キー操作
1 ジョブの処理中にオフライン状態に切り替える	［オンライン］を押す

2 ジョブキャンセルする

03 ｼﾞｮﾌﾞ ｷｬﾝｾﾙ

［ジョブキャンセル］を押す

メッセージの表示と同時にプリンタがオンライン状態になり、ジョブキャンセル状態が約2秒間続きます。プリントデータの受信が完了している場合、ジョブのキャンセル処理が終了し、プリント可能な状態に戻ります。
プリントデータの受信が完了していない場合、ジョブキャンセル状態が続くと、「00 ジョブ スキップ」が表示されます。ジョブのスキップが終了すると、プリント可能な状態に戻ります。

メモ

- ジョブをキャンセルできるのは、データ処理中、またはデータ受信中で、ジョブランプが点灯、または点滅している状態のときです。
- ジョブスキップの処理中は、処理中のジョブのインタフェース名（「セントロニクス」、「USB」など）がディスプレイに表示されます。

給紙選択メニューの機能と操作

給紙選択メニューの概要と操作手順について説明しています。

給紙選択メニューの機能と構造

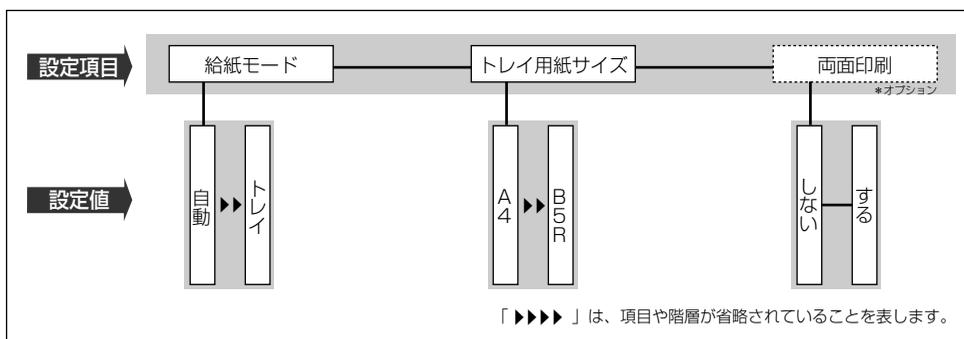
ここでは、給紙選択メニューの機能とメニュー構造について説明します。

給紙選択メニューの機能

給紙選択メニューでは、どの給紙カセットまたは手差しトレイの用紙を使ってプリントするかや、トレイの用紙サイズなどを選択できます。給紙元を選択した場合は、選択後、該当する位置の給紙元表示ランプが点灯します。

詳しい項目の内容については「給紙選択メニューの設定項目」（→ P.7-11）を参照してください。

給紙選択メニューの構造

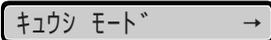
給紙選択メニューの階層は 2 つの階層に分かれています。

メモ

- トレイ用紙サイズ、両面印刷については、セットアップメニューの給紙グループでも同様の設定ができます。
- 点線枠の項目は、オプションの両面ユニットを装着している場合のみ、追加して表示され、選択できるようになります。

給紙選択メニューの操作の流れ

給紙選択メニューは、「設定項目」と「設定値」の２つの階層があり、それぞれの階層で目的の項目を選択します。

ここでは、「トレイ用紙サイズ」の項目を「B5」に設定する手順を例に説明します。

操作の手順	キー操作
1 オフライン状態に切り替える	[オンライン]を押す
2 給紙選択メニューを表示する キュウシ モード →	[給紙選択]を押す 給紙選択メニューが表示されます。
3 設定項目を選択する 「トレイ用紙サイズ」を選択した場合 トレイ ヨウシ サイズ →	[◀]または[▶]を押す 目的の設定項目が表示されます。
4 設定値を表示する =A4 →	[実行]を押す 選択した設定項目の設定値が表示されます。 [実行]のかわりに[給紙選択]を押しても、設定値を表示することができます。
5 設定値を選択する 「B5」を選択した場合 B5 →	[◀]または[▶]を押す 目的の設定値が表示されます。 [◀]または[▶]のかわりに[給紙選択]を押しても、設定値を選択することができます。
6 選択した値を確定する	[実行]を押す
7 オンライン状態に戻す	[オンライン]を押す

メモ

- オフライン状態に切り替えることができるのは、プリント可能な状態のときです。プリント可能な状態とは、「00 ■■■■」が表示され、ジョブランプとメッセージランプが消灯している状態です。
- 操作の途中で[オンライン]を押すと、そのとき表示していた設定値を設定し、オンライン状態に戻ります。また、操作の途中で誤操作をした場合も、そのとき表示していた設定値を設定し、オフライン状態に戻ります。

セットアップメニューの初期化

セットアップメニューの初期化の概要と操作手順について説明しています。

セットアップメニューの初期化の機能

セットアップメニューを初期化すると、共通セットアップメニューや専用セットアップメニューで設定した内容を、工場出荷時の状態に戻すことができます。

セットアップメニュー初期化の操作の流れ

初期化は、セットアップメニューの「グループ」の階層で「パネル設定初期化」の項目を選択して行います。

	操作の手順	キー操作
1	オフライン状態に切り替える	[オンライン] を押す
2	セットアップメニューを表示する セットアップ゜ カクチョウ キノウ →	[セットアップ] を押す セットアップメニューが表示されます。
3	グループで「パネル設定初期化」を選択する ハ゜ネル セッテイ ショキカ →	[◄] または [►] を押す
4	初期化を実行する シ゛ッコウ シマスカ? →	[実行] を押す 確認メッセージが表示されます。
5	メッセージを確認後、実行する	[実行] を押す 初期化の実行中は「ショキカ　チュウ」が表示されます。終了すると、「ショキカ　シュウリョウ」が表示されます。
6	オンライン状態に戻す	[オンライン] を押す

重要

- 初期化の実行中に電源をオフしないでください。プリンタのメモリが故障することがあります。

- 一部の設定項目は、初期化後に電源を入れなおすかハードリセット操作を行わないと有効になりません。

メモ

- 操作の途中で［オンライン］を押すと、操作を中止してオンライン状態に戻ります。ただし、ディスプレイに「ショキカ　チュウ」と表示されているときは、［オンライン］を押しても操作は中止できません。
- 共通セットアップメニューのインタフェースグループの「標準（拡張）ネットワーク」の項目は初期化されません。

3
CHAPTER

共通セットアップメニューの設定項目

この章では、共通セットアップメニューで設定できる項目の内容について説明しています。

共通セットアップメニュー設定項目一覧

■ 表の見かた

- 「*1」印が付いている項目や設定値は、オプション品の有無や他の設定項目の内容によって表示されるときと表示されないときがあります。
- 「*2」印が付いている項目や設定値は、LBP3800 のみ表示されます。
- 太字で示されている設定値は、工場出荷時の値です。

■ 拡張機能グループ

設定項目	設定値	参照ページ
パネルオフ動作	**スル**、オンライン　ノミ、シナイ	P.3-7
パネルオフモード	**15 フン**、30 プン、60 プン、5 フン	P.3-7
警告処理	**ケイゾク**、テイシ	P.3-8
自動エラースキップ	**ツカワナイ**、ツカウ	P.3-8
表示言語	**ニホンゴ**、ENGLISH	P.3-8
ブザー	**1 カイ**、レンゾク	P.3-9
警告表示	**スル**、シナイ	P.3-9

■ 給紙グループ

設定項目	設定値	参照ページ
トレイ用紙サイズ	**A4**、A4R、B4、A3、LT、LTR、LG、LD、EX、フリー、ユーザペーパー、ハガキ、オウフク　ハガキ、4 メンハガキ、フウトウ　Y4、フウトウ　Y2、フウトウ　K2、A5、B5、B5R	P.3-10
デフォルト用紙サイズ	**A4**、B4、A3、A5、B5	P.3-10
用紙の向き	**ジドウ**、タテオクリ、ヨコオクリ	P.3-11
トレイ優先	**シナイ**、スル	P.3-11
用紙不一致時トレイ	**ツカワナイ**、ツカウ	P.3-12
自動選択	トレイ：**ツカウ**、ツカワナイ カセット 1：**ツカウ**、ツカワナイ カセット 2*1：**ツカウ**、ツカワナイ カセット 3*1：**ツカウ**、ツカワナイ カセット 4*1：**ツカウ**、ツカワナイ	P.3-12
デフォルト用紙タイプ	**フツウシ**、アツガミ L、アツガミ、OHP、フツウシ L	P.3-13

設定項目	設定値	参照ページ
両面印刷 *1	**シナイ**、スル	P.3-13

■ レイアウトグループ

設定項目	設定値	参照ページ
コピー枚数	**1**～2000	P.3-15
縦補正	-50.0 mm ～ **0.0 mm** ～ +50.0 mm	P.3-15
横補正	-50.0 mm ～ **0.0 mm** ～ +50.0 mm	P.3-15
とじ方向	**ナガテ**、ミジカテ	P.3-16
とじ幅	-30.0 mm ～ **0.0 mm** ～ +30.0 mm	P.3-17
特殊両面処理 *1	**スル**、シナイ	P.3-19
白紙節約	**スル**、シナイ	P.3-19

■ 印字調整グループ

設定項目	設定値	参照ページ
スーパースムーズ	**ツカウ**、ツカワナイ	P.3-20
解像度	**ファイン**、スーパーファイン、クイック	P.3-20
ドット補正	**ツカワナイ**、ツカウ	P.3-21
階調処理	**ヒョウジュン**、コウカイチョウ	P.3-21
トナー節約	**ツカワナイ**、ツカウ	P.3-22
トナー濃度	1 ～ **4** ～ 8	P.3-22
中間調選択	**パターン 1**、パターン 2、パターン 3、パターン 4	P.3-22
画質警告	**ケイゾク**、テイシ	P.3-23
印字動作	**ジドウ**、ガシツ　ユウセン、トウロク　ユウセン	P.3-24

■ インタフェースグループ

設定項目	設定値	参照ページ
インタフェース選択	**ジドウ**、セントロニクス、USB、ヒョウジュン　ネットワーク*2、カクチョウ　I/F*1	P.3-26
タイムアウト	5 ～ **15** ～ 300 ビョウ、シナイ	P.3-26
セントロニクス設定 *1		
BUSY-ACK	**A-B-A**、A-B、B-A	P.3-27

設定項目	設定値	参照ページ
セントロ受信速度	**コウソク**、チュウソク、テイソク	P.3-28
セントロ送信速度	**コウソク**、チュウソク、テイソク	P.3-28
インプットプライム	**ドウサモード　イゾン**、リセット	P.3-28
双方向	**ECP**、ニブル、ツカワナイ	P.3-29
ジョブ区切り	**シナイ**、スル	P.3-30
標準ネットワーク *2		
TCP/IP	フレームタイプ： **ETHERNET2**、ムコウ IP モード*1： **シュドウ**、ジドウ プロトコル*1： DHCP.................................... **オフ**、オン BOOTP................................. **オフ**、オン RARP.................................... **オフ**、オン アドレス*1： IP アドレス............................ **192.168.0.215** サブネットマスク.................. **0.0.0.0** ゲートウェイアドレス........... **0.0.0.0**	P.3-30
設定登録	−	P.3-31
ネットワーク設定初期化	−	P.3-31
拡張ネットワーク *1		
TCP/IP	フレームタイプ： ETHERNET2、ムコウ IP モード*1： シュドウ、ジドウ プロトコル*1： DHCP.................................... オフ、オン BOOTP................................. オフ、オン RARP.................................... オフ、オン アドレス*1： IP アドレス............................ （数値） サブネットマスク.................. （数値） ゲートウェイアドレス........... （数値）	P.3-32
設定登録	−	P.3-33
ネットワーク設定初期化	−	P.3-33
コネクション認識 *1	**スル**、シナイ	P.3-33
拡張受信バッファ *1	**ツカワナイ**、ツカウ	P.3-34

■ 動作モードグループ

設定項目	設定値	参照ページ
動作モード選択	**ジドウ　センタク**、その他のエミュレーション[*1]、LIPS、N201、ESC/P、BMLinkS、HEX-DUMP、LIPS-DUMP	P.3-35
自動切り替え	LIPS：**ツカウ**、ツカワナイ N201：**ツカウ**、ツカワナイ ESC/P：**ツカウ**、ツカワナイ BMLinkS：**ツカウ**、ツカワナイ オプション[*1]：**ツカウ**、ツカワナイ	P.3-38
優先エミュレーション	**N201**、ESC/P、BMLinkS、ナシ、その他のエミュレーション[*1]、LIPS	P.3-38

■ ユーザメンテナンスグループ

設定項目	設定値	参照ページ
印字位置調整	タテイチホセイ（トレイ）：-5.0 mm ～ **0.0 mm** ～ +5.0 mm ヨコイチホセイ（トレイ）：-5.0 mm ～ **0.0 mm** ～ +5.0 mm タテイチホセイ（カセット 1）：-5.0 mm ～ **0.0 mm** ～ +5.0 mm ヨコイチホセイ（カセット 1）：-5.0 mm ～ **0.0 mm** ～ +5.0 mm タテイチホセイ（カセット 2）[*1]：-5.0 mm ～ **0.0 mm** ～ +5.0 mm ヨコイチホセイ（カセット 2）[*1]：-5.0 mm ～ **0.0 mm** ～ +5.0 mm ヨコイチホセイ（カセット 3）[*1]：-5.0 mm ～ **0.0 mm** ～ +5.0 mm タテイチホセイ（カセット 4）[*1]：-5.0 mm ～ **0.0 mm** ～ +5.0 mm ヨコイチホセイ（カセット 4）[*1]：-5.0 mm ～ **0.0 mm** ～ +5.0 mm タテイチホセイ（リョウメン）[*1]：-5.0 mm ～ **0.0 mm** ～ +5.0 mm ヨコイチホセイ（リョウメン）[*1]：-5.0 mm ～ **0.0 mm** ～ +5.0 mm	P.3-40
リカバリ印刷	**スル**、シナイ	P.3-41
定着オフセット	**ツカワナイ**、スピードユウセン 1、スピードユウセン 2	P.3-41
特殊モード J	**ツカワナイ**、ツカウ	P.3-41
特殊モード M	**ツカワナイ**、ツカウ	P.3-42
特殊モード N[*1]	**ツカワナイ**、ツカウ	P.3-42
特殊モード O	**ツカワナイ**、ツカウ	P.3-42
特殊モード P	**ツカワナイ**、レベル 1、レベル 2	P.3-43

拡張機能グループの設定項目

拡張機能グループでは、プリンタにエラーが発生したときの動作などについて設定できます。

パネルオフ動作

スル、オンライン　ノミ、シナイ

「パネルオフモード」（→ P.3-7）で設定した時間が経過したときに、プリンタの状態によってパネルオフモードに移行するかどうかを設定します。

「スル」に設定すると、プリンタがオンライン状態でもオフライン状態でもパネルオフモードに移行します。

「オンライン　ノミ」に設定すると、プリンタがオフライン状態ではパネルオフモードに移行しません。

「シナイ」に設定すると、プリンタがオンライン状態でもオフライン状態でもパネルオフモードに移行しません。

パネルオフモード

15 フン、30 プン、60 プン、5 フン

パネル操作を行わなかったり、パソコンからのデータがこなかったり、プリンタに変化のない状態が一定時間経過したときに、パネルオフモードに移行するまでの時間を設定します。オンラインからパネルオフモードになった場合は、印刷可ランプ以外のすべてのランプとディスプレイの表示が消えます。オフラインからパネルオフモードになった場合は、メッセージランプ以外のすべてのランプとディスプレイの表示が消えます。

メモ

- 操作パネルのキーが押されたり、エラーが起きると自動的にパネルオフモードは解除されます。また、オンライン状態ではパソコンからのデータを受信してもパネルオフモードが解除されます。オフライン状態ではエラーが解除されてもパネルオフモードが解除されます。
- 本プリンタはオフライン状態でもパネルオフモードに移行しますが、次のようなオフライン状態のときは、設定時間が経過してもパネルオフモードに移行しません。
  - ・「nn-nn　サービスコール」（nn は 2 桁の英数字）が表示されている
  - ・ステータスプリントなどのユーティリティ項目の実行中
  - ・「パネルオフ動作」（→ P.3-7）を「オンライン　ノミ」または「シナイ」に設定している

警告処理

ケイゾク、テイシ

以下の警告メッセージが表示されたときに、プリントを継続するか停止するかを設定します。

警告メッセージ	プリンタの状態
「16　トナー　チェック」	トナーカートリッジの寿命が近くなって交換が必要

「ケイゾク」に設定すると、上記のメッセージを表示しながらプリントを継続します。「テイシ」に設定すると、プリントを停止します。その後、表示されたメッセージにしたがって警告状態を解除すると、プリントが再開されます。

メモ
- 「16　トナー　コウカン」が表示されプリントが中断した場合は、トナーカートリッジを振ってトナーを均一にするか、トナーカートリッジを交換したあと、再度プリントを行ってください。
- 本項目を「テイシ」にした場合、「16　トナー　チェック」は「16　トナー　コウカン」という表示に変わりプリントが停止します。

自動エラースキップ

ツカワナイ、ツカウ

エラーが起きたときに、エラーを一時的に解除してプリントを続ける機能（エラースキップ）を、自動的に使うかどうかを設定します。

「ツカワナイ」に設定すると、［オンライン］を押してエラースキップさせる必要があります。

「ツカウ」に設定すると、［オンライン］を押さなくても自動的にエラースキップされます。

メモ
- エラースキップとはあくまでエラーを一時的に解除するものです。したがって、正しくプリントされないことがあります。
- 自動エラースキップで一時解除できるエラーの種類については、ユーザーズガイド「第 5 章 困ったときには」を参照してください。
- 本項目を「ツカウ」に設定すると、複数のエラーが発生している場合でも、自動エラースキップ可能なエラーはすべて自動的にエラースキップします。

表示言語

ニホンゴ、ENGLISH

ディスプレイに表示されるメッセージを日本語で表示するか、英語で表示するかを設定します。

メモ
ENGLISH 表示の場合のメニュールートマップはありません。

ブザー

1カイ、レンゾク

エラーが発生した場合に、ブザー音が1回だけ鳴るのか、連続して鳴るのか設定します。連続して鳴るように設定した場合は、エラーを解除するか操作パネルのいずれかのキーを押すと止まります。

メモ　エラーの種類によっては、ブザーが鳴っているときに［オンライン］を押すと、エラーをスキップして、オンライン状態に戻すことができます。

警告表示

スル、シナイ

プリンタの状態を警告するメッセージ（警告メッセージ）を表示するかどうかを設定します。メッセージを表示してもしなくてもプリントは行われます。

メモ　本項目を「シナイ」に設定して表示されなくなるメッセージについては、ユーザーズガイド「第5章 困ったときには」を参照してください。

給紙グループの設定項目

給紙グループでは、手差しトレイや給紙カセットからプリントするときの用紙サイズなどについて設定できます。

トレイ用紙サイズ

A4、A4R、B4、A3、LT、LTR、LG、LD、EX、フリー、ユーザペーパー、ハガキ、オウフク　ハガキ、4 メンハガキ、フウトウ　Y4、フウトウ　Y2、フウトウ　K2、A5、B5、B5R

手差しトレイにセットした用紙のサイズを設定します。

メモ

- 本項目を「フリー」に設定すると、1 枚ずつ違うサイズの用紙にプリントしたいときなどに便利です。ただし、アプリケーションソフトなどで設定した用紙サイズと異なるサイズの用紙がセットされている場合、正しくプリントされません。「特殊モード J」(→P.3-41)を「ツカワナイ」に設定している場合は、エラーメッセージが表示され、プリントが中止されることがあります。
- 「ユーザペーパー」は、アプリケーションソフトなどで定形以外のサイズを独自に設定してプリントしたいときに選択します。プリント中に用紙サイズ交換を要求するメッセージが表示される場合は、[オンライン] を押してエラーを解除してプリントしてください。
- 「LT」はレターに、「LG」はリーガルに、「LD」はレジャーに、「EX」はエグゼクティブに対応しています。
- 「フウトウ　Y4」は洋形 4 号に、「フウトウ　Y2」は洋形 2 号に、「フウトウ　K2」は角形 2 号に対応していますが、種類によってはプリントできないものもあります。また、有効印字領域は、上下左右の用紙端から 10 mm 内側までとなります。(LIPS プリンタドライバの [仕上げ詳細] で「印字領域を広げて印刷する」にチェックした場合は、有効印字領域を用紙の端近くまで広げることができます。詳しくは、プリンタドライバのヘルプを参照してください。)
- 「オウフク　ハガキ」の有効印字領域は、往復ハガキを広げた状態で、上下左右の用紙端から 5mm 内側までとなります。(LIPS プリンタドライバの [仕上げ詳細] で「印字領域を広げて印刷する」にチェックした場合は、有効印字領域を用紙の端近くまで広げることができます。詳しくは、プリンタドライバのヘルプを参照してください。)
- 給紙選択メニューの「トレイ用紙サイズ」でも同様の設定ができます(→ P.7-12)。

デフォルト用紙サイズ

A4、B4、A3、A5、B5

アプリケーションソフトで用紙サイズが設定できない場合など、プリンタが処理を行う用紙サイズを決定できない場合の論理上の用紙サイズを設定します。

重要

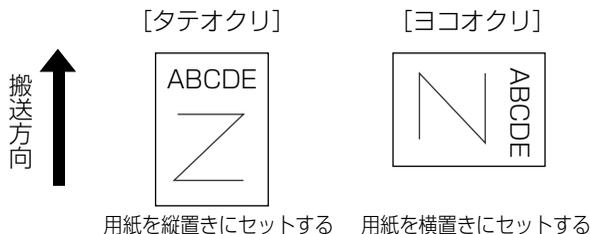
通常、Windows パソコンや Macintosh パソコンからプリントする場合は、プリンタドライバで用紙サイズを設定します。MS-DOS や UNIX などを OS とするパソコンからプリントする場合で、用紙サイズが設定できないときは、本項目で設定してください。

用紙の向き

ジドウ、タテオクリ、ヨコオクリ

横置きにも縦置きにもセットできる用紙を使うときに、用紙の置きかたを設定します。給紙カセットや手差しトレイにセットした用紙の置きかたが、横置きのときは「ヨコオクリ」に、縦置きのときは「タテオクリ」に設定します。自動的に認識させたいときは「ジドウ」に設定します。

なお、本項目は置きかたを設定するだけなので、本項目を変更しても用紙に印字する向きは変わりません。

用紙を縦置きにセットする　用紙を横置きにセットする

メモ

- LIPS モードの場合、印字の向きは、LIPS 専用セットアップメニューの「ページの向き」（→ P.4-6）で設定できます。
- LIPS LX プリンタドライバから印刷した場合、用紙の向きは「ジドウ」として処理されます。
- LIPS 以外のモードの場合、「ジドウ」に設定すると、「ヨコオクリ」として処理されます。
- 給紙カセットから給紙するときの各用紙の置きかたは次のようになります。
  - ・縦置きのみ：A3、B4、レジャー、リーガル
  - ・横置きのみ：B5、A5、エグゼクティブ
  - ・縦置き・横置き：A4、レター
- 手差しトレイから給紙するときの各用紙の置きかたは次のようになります。
  - ・縦置きのみ：A3、B4、レジャー、リーガル、ユーザペーパー、ハガキ、封筒（洋形４号）、封筒（洋形２号）、封筒（角形２号）
  - ・横置きのみ：A5、エグゼクティブ、往復ハガキ、４面ハガキ
  - ・縦置き・横置き：A4、B5、レター

トレイ優先

シナイ、スル

給紙選択メニューで自動給紙が設定されている場合に、プリンタが手差しトレイから順に給紙元を検知するかどうかを設定します。

「シナイ」に設定すると、受信データの用紙サイズに合致するかどうかの検知は次の順序で行われます。

カセット１ →カセット２ *1 →カセット３ *1 →カセット４ *1 →手差しトレイ

「スル」に設定すると、受信データの用紙サイズに合致するかどうかの検知は、手差しトレイから次の順序で行われます。

手差しトレイ →カセット１ →カセット２ *1 →カセット３ *1 →カセット４ *1

*1：オプションのペーパーフィーダ装着時のみ

メモ

- 「用紙不一致時トレイ」（→ P. 3-12）が「ツカウ」に設定されている場合は、本項目の設定は無視され、給紙カセットから検知を行います。給紙元の対象となっている給紙カセットに受信したデータの用紙がセットされていない場合は、手差しトレイから給紙します。
- 自動給紙は、給紙選択メニューの「給紙モード」（→ P.7-11）で設定します。
- 本項目は、給紙選択メニューの「給紙モード」が「ジドウ」に設定されている場合にのみ有効です。
- 本項目を「スル」に設定しても、手差しトレイの用紙サイズと受信データの用紙サイズが異なるときは、手差しトレイからは給紙されません。ただし、「用紙不一致時トレイ」（→ P.3-12）が「ツカウ」に設定されている場合で、給紙元の対象となっている給紙カセットに受信したデータの用紙がセットされていないときは、手差しトレイの用紙交換メッセージが表示されます。
- 受信データによっては、受信データと同じ用紙サイズの給紙カセットの給紙元表示ランプが点灯しているときに、本項目が「スル」に設定されていても手差しトレイから給紙されずに給紙カセットから給紙される場合があります。

用紙不一致時トレイ

ツカワナイ、ツカウ

給紙元の対象となっている給紙カセットに受信したデータの用紙がセットされていない場合の動作を設定します。

「ツカワナイ」に設定すると、給紙カセットの用紙交換メッセージが表示され、プリントが中断します。

「ツカウ」に設定すると、手差しトレイから給紙します。手差しトレイにセットされている用紙が、受信データと異なる場合は、手差しトレイの用紙交換メッセージが表示され、プリントが中断します。また、手差しトレイに用紙がセットされていないときや用紙がなくなったときは、手差しトレイの用紙なしメッセージが表示され、プリントが中断します。

メモ

本項目を「ツカウ」に設定すると、「トレイ優先」（→ P.3-11）、「自動選択」（→ P.3-12）の「トレイ」の設定は無視され、給紙元の対象となっている給紙カセットに受信したデータの用紙がセットされていない場合は、手差しトレイから給紙します。

自動選択

トレイ.................................... **ツカウ**、ツカワナイ
カセット 1............................. **ツカウ**、ツカワナイ
カセット 2*........................... **ツカウ**、ツカワナイ
カセット 3*........................... **ツカウ**、ツカワナイ
カセット 4*........................... **ツカウ**、ツカワナイ

* 「カセット 2」、「カセット 3」、「カセット 4」は、オプションのペーパーフィーダが装着されている場合にのみ表示されます。

自動給紙が設定されている場合に、自動給紙の対象となる給紙元を設定します。手差しトレイ、給紙カセットのそれぞれについて設定します。

「ツカウ」に設定すると、それぞれの給紙元を自動給紙の対象とします。「ツカワナイ」に設定すると、それぞれの給紙元を自動給紙の対象としません。

メモ

- 「用紙不一致時トレイ」(→ P.3-12)が「ツカウ」に設定されている場合は、本項目の「トレイ」の設定は無視され、給紙元の対象となっている給紙カセットに受信したデータの用紙がセットされていない場合は、手差しトレイから給紙します。
- 自動給紙は、給紙選択メニューの「給紙モード」(→ P.7-11)で設定します。

デフォルト用紙タイプ

フツウシ、アツガミ L、アツガミ、OHP、フツウシ L

通常使用する用紙のタイプを設定します。本プリンタでは、ここで設定された用紙のタイプに最適な印刷モードが内部的に設定されます。

各印刷モードは、次のような用紙に対応しています。

・「フツウシ」	普通紙(64 ～ 80g/m^2)
・「アツガミ L」	厚紙(81 ～ 105g/m^2)
・「アツガミ」	厚紙(106 ～ 128g/m^2)、4 面ハガキ、ラベル用紙
・「OHP」	OHP フィルム
・「フツウシ L」	普通紙(64 ～ 80g/m^2)

重要

- 「OHP」に設定した場合、両面印刷は行えません。
- 通常、Windows パソコンや Macintosh パソコンからプリントする場合は、プリンタドライバで用紙タイプを設定します。MS-DOS や UNIX などを OS とするパソコンからプリントする場合で、用紙タイプが設定できないときは、本項目で設定してください。

メモ

- 「フツウシ」に設定してプリントした結果、用紙のカールが目立つときは、「フツウシ L」に設定してお試しください。
- ハガキ、往復ハガキおよび封筒の場合は、「トレイ用紙サイズ」(→ P.3-10)を設定すると自動的に各用紙タイプに適した印刷モードでプリントされます。このメニューで設定する必要はありません。

両面印刷

シナイ、スル

* 本項目は、オプションの両面ユニットを装着している場合にのみ表示されます。

用紙の片面にプリントするか両面にプリントするかを設定します。

「スル」に設定すると、用紙の両面にプリントします。

重要

通常、Windows パソコンや Macintosh パソコンからプリントする場合は、プリンタドライバで両面印刷を設定します。MS-DOS や UNIX などを OS とするパソコンからプリントする場合で、両面印刷が設定できないときは、本項目で設定してください。

メモ

- A3、B4、A4、B5、A5、レジャー、リーガル、レター、エグゼクティブサイズの普通紙のみ自動両面プリントできます。詳しくはユーザーズガイド「第３章 給紙・排紙のしかた」を参照してください。
- ロゴ入りの用紙などに自動両面プリントするときは、次のように用紙をセットしてください。
  - ･プリンタ本体の給紙カセット（カセット　1）や手差しトレイからプリントするときは、1 ページ目のプリント面を下にしてセットします。
  - ･ペーパーフィーダの給紙カセット（カセット 2、カセット 3、カセット 4）からプリントするときは、1 ページ目のプリント面を上にしてセットします。
- 給紙選択メニューの「両面印刷」でも同様の設定ができます（→ P.7-12）

レイアウトグループの設定項目

レイアウトグループでは、印字の位置の調整や、とじ代用の余白の設定など、プリントするときの体裁に関わる条件について設定できます。

コピー枚数

1～2000

プリントの部数を設定します。

設定値で指定した部数だけプリントされます。

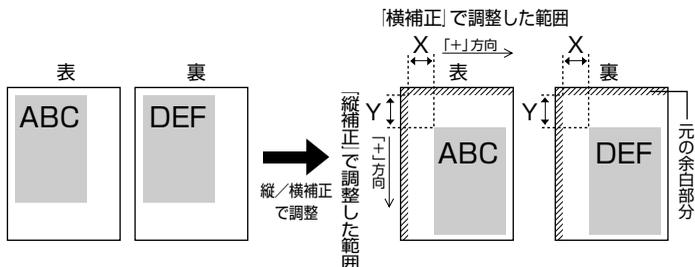
縦補正／横補正

-50.0 mm ～ **0.0 mm** ～ +50.0 mm

設定値で指定した値だけ、印字位置を縦方向または横方向にずらして調整します。

設定値の増減につれて、印字位置は次のようになります。

縦補正： 設定値が増えると用紙の Y 方向の余白が広くなります。
設定値が減ると用紙の Y 方向の余白が狭くなります。

横補正： 設定値が増えると用紙の X 方向の余白が広くなります。
設定値が減ると用紙の X 方向の余白が狭くなります。

重要　印字位置を調整した結果、印字データが有効印字領域をはみ出る場合は、その部分が欠けて印字されます。

メモ　[▶] を押すたびに設定値が 0.5 mm ずつ増え、[◀] を押すたびに設定値が 0.5 mm ずつ減ります。また、[▶] あるいは [◀] から指を離さずに押し続けていると、加減速度が速くなります。

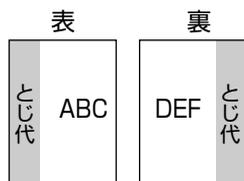
とじ方向

ナガテ、ミジカテ

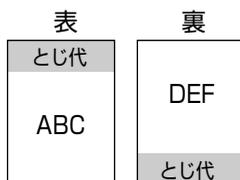
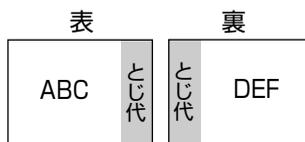
とじる位置を、用紙の長い辺（長手）にするか短い辺（短手）にするかを設定します。両面プリントをしてとじるときには、表面と裏面とで、とじ代の位置も自動的に調整します。

とじ代用の余白の幅や、上／下／左／右とじのいずれにするのかは、「とじ幅」（→ P.3-17）で設定します。

「ナガテ」に設定すると、とじる位置を用紙の長い辺にします。

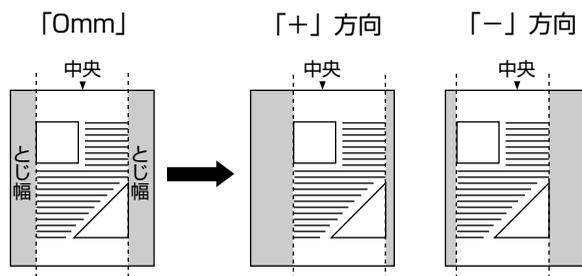
用紙を縦にして両面プリントする場合

用紙を横にして両面プリントする場合

「ミジカテ」に設定すると、とじる位置を用紙の短い辺にします。

用紙を縦にして両面プリントする場合

用紙を横にして両面プリントする場合

メモ　本項目だけを設定してもとじ代をあけることはできません。「とじ幅」と組み合わせて設定することによって、とじ代をあけることができます。

とじ幅

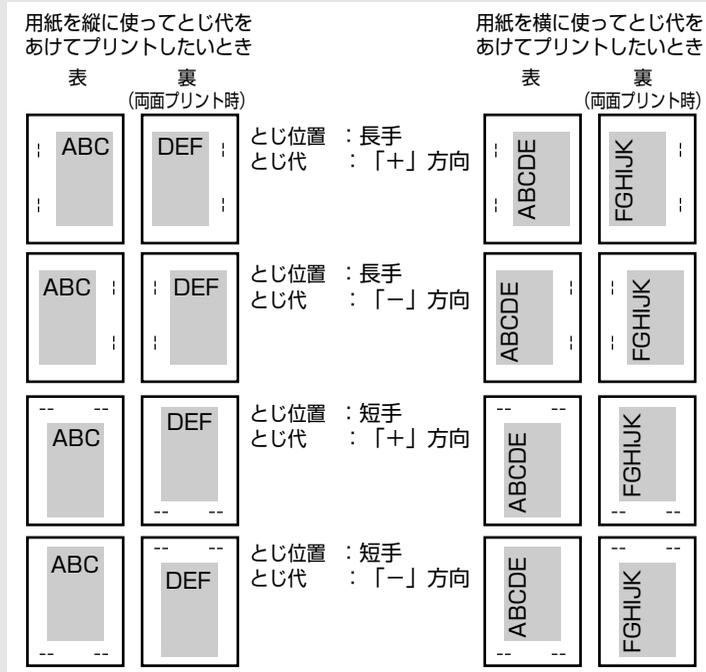
-30.0 mm ～ **0.0 mm** ～+30.0 mm

とじ代用の余白をあけてプリントするときの、余白の幅を設定します。設定した値だけ画像をずらして余白を作ります。「＋」の値で画像を＋方向にずらし、「－」の値で画像を－方向にずらします。

用紙の長短どちらの辺にとじ代をあけるのかは「とじ方向」（→ P.3-16）で設定します。用紙の上下左右のどの辺にとじ代をあけるかは、「とじ方向」の設定と本項目の設定を「＋」にするか「－」にするかの組み合わせにより決まります。

重要　とじ幅を設定した結果、印字データが有効印字領域をはみ出る場合は、その部分が欠けて印字されます。

メモ
- ［ ► ］を押すたびに設定値が 0.5 mm ずつ増え、［ ◄ ］を押すたびに設定値が 0.5 mm ずつ減ります。また、［ ► ］あるいは［ ◄ ］から指を離さずに押し続けていると、加減速度が速くなります。
- 「縦補正」「横補正」と本項目を同時に設定した場合は、「縦補正」「横補正」の処理が行われたあとで本項目の処理が行われます。

●とじ方向ととじ幅の設定

下図の仕上りイメージを参考にして、とじ方向ととじ幅を設定してください。

用紙を縦に使ってプリントするか、横に使ってプリントするかは、アプリケーションソフトなどで設定します。

特殊両面処理

スル、シナイ

＊　本項目は、オプションの両面ユニットを装着している場合にのみ表示されます。

「両面印刷」（→ P.3-13）が「スル」に設定されている状態で、奇数ページのジョブをプリントするときの最終ページのプリント面を設定します。

本項目の設定や給紙元により、最終ページのプリント面は以下のようになります。

- プリンタ本体の給紙カセット（カセット 1）や手差しトレイからプリントする場合
  「スル」に設定すると、セットした用紙の上の面にプリントして排紙します。
  「シナイ」に設定すると、セットした用紙の下の面にプリントして排紙します。
- ペーパーフィーダの給紙カセット（カセット 2、カセット 3、カセット 4）からプリントする場合
  「スル」に設定すると、セットした用紙の下の面にプリントして排紙します。
  「シナイ」に設定すると、セットした用紙の上の面にプリントして排紙します。

プレプリント紙など用紙の向きや表裏のある用紙にプリントするとき、最終ページの用紙の向きや表裏を前ページと合わせたいときは、本項目を「シナイ」に設定しておきます。

メモ　本項目は「両面印刷」を「スル」に設定したときのみ有効です。

白紙節約

スル、シナイ

アプリケーションソフトから送られた改ページコード（FF）と改ページコードの間に印字するデータがない場合、そのページを白紙で排出するかどうかを設定します。

「スル」に設定すると、白紙を排出しません。「シナイ」に設定すると、白紙を排出します。

この機能を使用すると、白紙が排出されることがなくなり、用紙を節約することができます。

メモ　本項目は、LIPS プリンタドライバから印刷したときのみ有効です。

印字調整グループの設定項目

印字調整グループでは、データの解像度や高解像度印字の際のメモリ設定など、プリントの品質について設定できます。

スーパースムーズ

ツカウ、ツカワナイ

文字や図形のギザギザの輪郭をなめらかにプリントするスムージング処理を使うかどうかを設定します。

「ツカウ」に設定すると、スムージング処理を使ってプリントします。

「ツカワナイ」に設定すると、スムージング処理を使わずにプリントします。

メモ

- スーパースムージングの効果は、文字やグラフィック（図・表・グラフなど）のパターンによって異なります。
- スーパーファインモードに設定されているときは、本項目の設定は無視されます。
- 「階調処理」（→ P.3-21）の項目が「コウカイチョウ」に設定されているときは、本項目の設定は無視され、「ツカワナイ」に設定した場合と同様に処理されます。

解像度

ファイン、スーパーファイン、クイック

プリントデータを処理するときの解像度を設定します。

解像度は 1 インチあたりのドット数を示す dpi（dot per inch）という単位で表され、数値が大きいほど高い精度でプリントできます。

「ファイン」に設定すると、解像度 600dpi のファインモードでプリントします。一般的な文書や表を高速にプリントする場合に適したモードです。

「スーパーファイン」に設定すると、解像度 1200dpi のスーパーファインモードでプリントします。きめ細かい階調表現力で、写真などの中間階調をリアルに再現できます。グラデーションの入ったグラフィック（図・表・グラフなど）や写真が多いデータをプリントするのに適したモードです。

「クイック」に設定すると、解像度 300dpi のクイックモードでプリントします。Windows の出力で高解像度モードに対応していないアプリケーションソフトなどからのプリントに適したモードです。データ処理が 300dpi で行われ、プリント処理がさらに速くなる場合があります。

重要

データの量や種類によっては、処理に必要なメモリが不足して、スーパーファインモード、ファインモードでプリントされない場合があります。そのような場合は、「印字動作」（→ P.3-24）の項目を「ガシツ　ユウセン」に設定してください。

メモ
- ファインモード、クイックモードの場合、「スーパースムーズ」（→ P.3-20）を「ツカウ」に設定するとより滑らかな表現ができます。
- スーパーファインモードは、LIPS プリンタドライバから印刷したときのみ有効です。

●スーパーファインモード、ファインモードに必要なメモリについて

スーパーファインモード、ファインモードでプリントする際には、クイックモードでプリントする場合よりも、処理に多くのメモリを必要とします。そのため、データの量や種類によってはスーパーファインモード、ファインモードの設定をしていても、600dpi または 300dpi でプリントされてしまうことがあります。このような場合は、解像度の設定を低くしてプリントすることをおすすめします。初めからクイックモードに設定しておくと高速でプリントできます。

どうしてもスーパーファインモード、ファインモードでプリントする必要があるときは、必要に応じてオプションの拡張 RAM を増設してください。

スーパーファインモード、ファインモードでプリントするメモリが不足して 600dpi または 300dpi でプリントされるときに、メッセージを表示するかどうかを設定することができます。詳しくは、「画質警告」（→ P.3-23）を参照してください。

ドット補正

ツカワナイ、ツカウ

「解像度」（→ P.3-20）の設定が「スーパーファイン」の場合、極細の線（1 ドット相当）をプリントすると、線がとぎれているように見えることがあります。「ツカウ」に設定すると、この現象を改善することができます。

メモ
本項目を「ツカウ」に設定した場合、イメージデータ（写真画像など）の印字品質が低下する場合があります。

階調処理

ヒョウジュン、コウカイチョウ

ファインモードでプリントするときの、データの階調処理の方法を設定します。

「ヒョウジュン」は、細い線、または解像度の低いデータなどをプリントするときに向いています。

「コウカイチョウ」は、写真やグラデーションなど、複雑な階調を持つ、解像度の高いデータをプリントするのに向いています。「ヒョウジュン」に設定した場合よりもきめ細かな表現が可能です。

メモ
- 本項目は、ファインモードでのみ有効です。スーパーファインモード、クイックモードでは無視されます。
- 本項目を「コウカイチョウ」に設定すると、「スーパースムーズ」、「トナー節約」が「ツカウ」に設定されていても無視され、「ツカワナイ」に設定した場合と同様に処理されます。

トナー節約

ツカワナイ、ツカウ

トナーを節約してプリントするモードを使うかどうかを設定します。

メモ
- 本項目を「ツカウ」に設定すると、トナーは節約できますが、プリント結果が薄くなり、不鮮明になることがあります。また、ごく淡いグレーの階調部分などは逆に濃くなることがあります。
- スーパーファインモードに設定されているときは、本項目の設定は無視されます。
- 「階調処理」(→ P.3-21)が「コウカイチョウ」に設定されているときは、本項目の設定は無視され、「ツカワナイ」に設定した場合と同様に処理されます。

トナー濃度

1 ～ **4** ～ 8

プリントするときの印字濃度を調整します。設定値が大きくなるほど、印字濃度が濃くなります。

中間調選択

パターン 1、パターン 2、パターン 3、パターン 4

モノクロデータの微妙な階調(中間の階調)の表現方法を設定します。

「パターン 1」は、文字、図形・表・グラフ、写真画像のそれぞれに対して、最適なハーフトーン処理で印刷します。文字、図形やグラフ、写真画像の混在する原稿を美しく印刷するのに適しています。

「パターン 2」は、グレーの文字や色のついた文字はシャープに、写真画像や図形にはコントラストを効かせた画質で印刷します。比較的安定した、むらの少ない印字結果が得られます。

「パターン 3」文字、図形・表・グラフ、写真画像のそれぞれについて、ハーフトーンの濃さを合わせて印刷します。

「パターン 4」は、文字や細い線を多用している原稿に対して、最適なハーフトーン処理で印刷します。色のついた文字や CAD などの原稿をシャープに印刷するのに適しています。

メモ
「中間調選択」は、「解像度」(→ P.3-20)の項目が「スーパーファイン」または「ファイン」に設定されている場合のみ有効です。

画質警告

ケイゾク、テイシ

指定された解像度と階調でプリントできないときに、自動的に解像度や階調を落としてプリントを継続するか、以下のエラーメッセージを表示させて停止するかを設定します。

エラーメッセージ	設定内容
「36　カイチョウ　テイカ」	「階調処理」が「コウカイチョウ」に設定されていても、大量のデータや複雑なデータを受信すると、処理に必要なメモリが不足して、600dpi多値から600dpi2値に階調を落としてプリントすることがあります。そのときに、エラーメッセージを表示するかどうかを設定します。
「38　ガシツ　テイカ」	「解像度」が「スーパーファイン」または「ファイン」に設定されていても、大量のデータや複雑なデータを受信すると、処理に必要なメモリが不足して、解像度を自動的に600dpi（スーパーファインモード時）、300dpi（ファインモード時）に落としてプリントすることがあります。そのときに、エラーメッセージを表示するかどうかを設定します。

「ケイゾク」に設定すると、メッセージを表示せずに、自動的に解像度または階調を落としてプリントします。

「テイシ」に設定すると、メッセージを表示してプリントを停止します。その場合、[オンライン] を押すと、解像度または階調を落としてプリントを再開します。

メモ

- 本項目を「テイシ」に設定して、「36　カイチョウ　テイカ」や「38　ガシツ　テイカ」というメッセージが頻繁に表示される場合は以下の対処を行ってください。
  1. 「印字動作」の項目を「ガシツ　ユウセン」に設定する
  2. 1 の対処を行ってもメッセージが表示される場合で、「階調処理」の項目が「コウカイチョウ」に設定されている場合は、「ヒョウジュン」に設定する。ただし、この場合は、階調を落としてプリントします。
  3. 2 の対処を行ってもメッセージが表示される場合や、階調を落とさずにプリントしたい場合は、オプションの拡張メモリ（RAM）を増設する
- 本項目を「テイシ」に設定すると、受信するデータの種類によって処理に必要なメモリが不足した場合に「28　ビョウガメモリ　フル」というメッセージを表示してプリントを停止するようにもなります。この場合、[オンライン] を押すとエラーを解除することができます。ただし、正しくプリントされない場合があります。

印字動作

ジドウ、ガシツ　ユウセン、トウロク　ユウセン

メモリ（RAM）の配分のしかたや、データの処理方法について設定します。

本プリンタに搭載されているRAM（標準で24MB）は、データを展開するための描画メモリ、図形などの処理のためのシステムワークメモリ、受信したデータを一時的にためておくための受信バッファなど、いろいろな用途に使われます。本プリンタでは各用途ごとに個別に設定しなくても自動的にメモリを配分し、最適な環境を実現します。

ただし、複雑で大量のデータをプリントする場合は、必要に応じて本項目でメモリの配分のしかたを設定しておきます。

また、本項目の設定はメモリの配分のしかたを変えるだけではなく、データの処理方法も変えるので、効率よく目的に合ったプリントを行うことができます。「ジドウ」に設定すると、描画メモリ、システムワークメモリ、受信バッファ用にそれぞれ自動的にメモリを配分します。通常はこの設定にしておいてください。

「ガシツ　ユウセン」に設定すると、描画メモリとシステムワークメモリを優先して確保します。また、できるだけ画質が低下しないようなデータの処理方法にするので、より確実に高品位なプリントができるようになります。ただし、プリントのスピードが若干遅くなることがあります。「ジドウ」に設定していて「38　ガシツ　テイカ」などのエラーが表示される場合に設定してください。

「トウロク　ユウセン」に設定すると、描画メモリは「ガシツ　ユウセン」の場合より少なく、システムワークメモリや受信バッファは適切な値に設定します。

そしてフォントや、オーバレイプリントに使用するフォームデータなどの登録用の領域のための空き容量を確保します。

重要　本項目の設定を変更した場合は、設定を有効にするために、電源を入れなおすかハードリセット操作を行ってください。

メモ

- 登録用の領域として使用できるメモリ容量は、ステータスプリントの「空きメモリ量」を目安にしてください。ただし、ステータスプリントの「空きメモリ量」にプリントされる値はプリンタ待機時の値です。プリンタの状態、ご使用のOSやソフトウェアなどの条件によっては、実際の空きメモリ量がプリントされている値より小さいことがあります。
- 「ガシツ　ユウセン」に設定していても、オプションを装着していたり、複雑で大量のデータをプリントする場合、高品位な画質でプリントできないことがあります。

●「ガシツ　ユウセン」に設定した場合

プリンタの搭載メモリによって、プリントできるデータサイズ（印字保証サイズ）の目安は次のようになります。大量で複雑なデータの場合でも印字保証サイズ以下であれば、指定した解像度と階調で、画質を落とさずにプリントすることができます。

総RAM容量（拡張RAM容量）	印字保証サイズ	コントロールROM ○：装着 ×：未装着	「拡張受信バッファ」設定 ○：「ツカウ」 ×：「ツカワナイ」
24（標準）	A3	装着不可	設定不可
88（+64MB）	A3×4	×	×
	A3×4	×	○
	B4×4	○	×
	B4×4	○	○
152（+128MB）	A3×8	×	×
	A3×8	×	○
	B4×8	○	×
	B4×8	○	○
248（+256MB）	A3×10	×	×
	A3×10	×	○
	A3×8	○	×
	A3×8	○	○

＊ 表中に（+●●MB）とあるのは、標準のRAM（24MB）に加えて必要なオプションの拡張RAMの容量を示します。

上記の印字保証サイズは、「解像度」の項目が「ファイン」、「階調処理」の項目は「ヒョウジュン」に設定されていて、片面プリントの場合の値です。プリント時のデータ処理解像度や階調処理、両面印刷の設定によって、次のように印字保証可能なサイズが変わります。上記の表の用紙サイズから換算してください。

設定項目	設定値	倍率
解像度	クイック	4倍
	ファイン	等倍
	スーパーファイン	1/4倍
階調処理	標準	等倍
	高階調	1/2倍
両面印刷	しない	等倍
	する	1/2倍

印字保証サイズはプリンタの空きメモリ（RAM）容量によって、上記の表のサイズよりも小さくなる場合があります。空きメモリ（RAM）容量は、フォントやオーバレイのデータをプリンタに登録したときなどに少なくなります。また、印字保証サイズは本項目を「ガシツ　ユウセン」に設定しているときのみ、ステータスプリントで確認することができます。

インタフェースグループの設定項目

インタフェースグループでは、パソコンと接続するときの方法や、データをやりとりするときの取り決めについて設定できます。

インタフェースグループの設定は、パソコン側のユーティリティソフトからは行えません。必ず、プリンタの操作パネルで設定してください。

インタフェース選択

ジドウ、セントロニクス、USB、ヒョウジュン　ネットワーク[*1]、カクチョウ I/F[*2]

*1「ヒョウジュン　ネットワーク」は、LBP3800 のみ表示されます。

*2「カクチョウ　I/F」は、オプションのプリントサーバが装着されている場合にのみ表示されます。

パソコンと接続するときのインタフェースの種類を設定します。

「ジドウ」に設定すると、パソコンに応じて、接続しているインタフェースを自動的に切り替えてプリントすることができます。

先にデータを受信したインタフェースに自動的に切り替えるので、種類の異なるインタフェースに同時に接続しているときでも、そのつどプリンタ側で設定を変更する必要がありません。

「セントロニクス」「USB」「ヒョウジュン　ネットワーク」「カクチョウ　I/F」は、それぞれのインタフェースのみを使用する場合に設定します。

重要　本項目の設定を変更した場合は、設定を有効にするために、電源を入れなおすかハードリセット操作を行ってください。

メモ　拡張 RAM を増設していない状態で、印字動作を「ガシツ　ユウセン」に設定してプリントする場合、本項目を「ジドウ」ではなく「セントロニクス」、「USB」など、個別のインタフェースに設定すると、データの処理速度が速くなることがあります。

タイムアウト

5 ～ 15 ～ 300 ビョウ、シナイ

動作モード自動切り替えを設定している場合、プリンタは、データを受信するとコントロールコマンドを認識して、動作モードを切り替えてプリントを開始し、データの終了を認識すると動作モードを終了します。この処理を「ジョブ」といいます。

プリンタ側ではジョブが終了しないと、次に違う種類のコントロールコマンドのデータがきても動作モード自動切り替えができません。このような場合に本項目でタイマーを設定しておくと、データが入力されなくなってから設定時間が経過したときに自動的にジョブを終了することができます。

また、アプリケーションソフトから排紙コマンドが送られてこないために、プリンタ内にデータが残ったままの状態のときも、本項目を設定しておくと、自動的に排紙することができます。

設定値で指定した時間が経過すると、自動的にジョブを終了します。また、「シナイ」に設定した場合は自動ジョブ終了の機能を使いません。

重要 自動ジョブ終了を設定した場合、パソコン側の処理に時間がかかると、データの途中でジョブが終了して正しいプリント結果が得られないことがあります。その場合は、タイムアウトの設定時間を調節してください。

メモ
- ジョブ中は操作パネルのジョブランプが点灯または点滅します。
- オフライン状態のときは、自動ジョブ終了は行われません。

セントロニクス設定

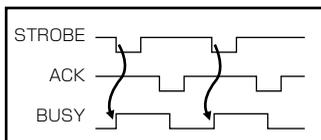
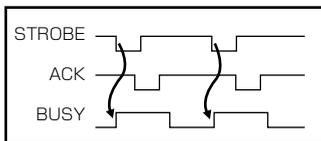
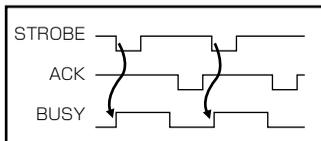
■ busy-ack

A-B-A、A-B、B-A

* 本項目は、「インタフェース選択」の項目が「ジドウ」または「セントロニクス」に設定されている場合にのみ表示されます。

BUSY 信号と ACKNLG 信号の出力順位を変更することができます。通常は「A-B-A」に設定しておいてください。

メモ 各設定値ごとの BUSY 信号と ACKNLG 信号の出力順位は次のとおりです。

「A-B-A」:

「A-B」:

「B-A」:

■セントロ受信速度

コウソク、チュウソク、テイソク

* 本項目は、「インタフェース選択」の項目が「ジドウ」または「セントロニクス」に設定されている場合にのみ表示されます。

セントロニクスインタフェースでデータを受信する速度を設定することができます。

通常は「コウソク」に設定しておいてください。

メモ 「コウソク」に設定されている場合に、プリンタのデータ受信の速度が速すぎて、パソコンからのデータ送信が間に合わなくなり、プリントが行われないことがあります。このような場合は、「チュウソク」または「テイソク」に設定してください。

■セントロ送信速度

コウソク、チュウソク、テイソク

* 本項目は、「インタフェース選択」の項目が「ジドウ」または「セントロニクス」に設定されている場合にのみ表示されます。

セントロニクスインタフェースからデータを送信する速度を設定することができます。

通常は「コウソク」に設定しておいてください。

■インプットプライム

ドウサモード　イゾン、**リセット**

* 本項目は、「インタフェース選択」の項目が「ジドウ」または「セントロニクス」に設定されている場合にのみ表示されます。

パソコンからインプットプライム（プリンタのリセット信号）を受信したときの処理を設定します。

「ドウサモード　イゾン（動作モード依存）」は、インタフェースの種類の設定で「ジドウ」または「セントロニクス」を選択している場合に機能します。インプットプライムを受信すると、動作中のモード（LIPS、N201、ESC/P、オプションのエミュレーションのいずれか）の処理に依存します。

「リセット」は、インタフェースの種類の設定で「セントロニクス」を選択している場合にのみ機能します。インプットプライムを受信すると、プリンタをリセットします。

拡張インタフェースを使用している場合は、インプットプライムは無視されます。

メモ
- リセットを行うと、いったん受信したデータがキャンセルされます。プリント中の場合は、プリントを中止して、残りのデータは破棄されます。
- インプットプライムを受信し、処理をしている間は、ディスプレイに「03　インプットプライム」と表示されます。

- 本項目を「ドウサモード　イゾン」に設定した場合、LIPS モードではジョブを終了します。LIPS LX プリンタドライバから印刷した場合は、インプットプライムは無視されます。エミュレーションモードでは、各モードのエミュレーションの対象となるプリンタ（N201 エミュレーションでは PC-PR201/80A、ESC/P エミュレーションでは ESC/P 準拠プリンタ）と同じ処理を行います。

■双方向

ECP、ニブル、ツカワナイ

* 本項目は、「インタフェース選択」の項目が「ジドウ」または「セントロニクス」に設定されている場合にのみ表示されます。

セントロニクスインタフェースでデータの双方向通信を設定することができます。通常は「ECP」に設定しておいてください。

「ECP」に設定すると、パソコンからプリンタへ、プリンタからパソコンへ双方向でデータを伝送します。ECP モード、ニブルモードおよびバイトモードに対応しています。

「ニブル」に設定すると、パソコンからプリンタへ、プリンタからパソコンへ双方向でデータを伝送します。ニブルモードおよびバイトモードに対応しています。

「ツカワナイ」に設定すると、パソコンからプリンタへのデータ伝送は行いますが、プリンタからパソコンへのデータ伝送は行いません。

メモ

- 本プリンタのパラレルインタフェースは、IEEE1284.4 規格に準拠しています。これは従来のセントロニクスインタフェースを拡張したもので、パソコンとプリンタとの双方向通信、データ伝送速度の高速化、パケットプロトコルを実現しています。本プリンタは IEEE1284.4 規格の中の ECP モード、ニブルモード、バイトモードのプロトコルに対応しています。
- お使いのパソコンやインタフェースケーブルが、プリンタと双方向でデータを伝送する機能を持っているかどうか、あるいはどのプロトコルに対応しているかについては、パソコンの取扱説明書を参照してください。
- パソコン側に、プリンタと双方向でデータを伝送する機能がない場合は、本項目を「ツカワナイ」に設定してください。
- Windows を使って本プリンタと双方向通信を行う場合は、本プリンタに付属している専用プリンタドライバをお使いください。
- Windows を使って双方向通信をしているときに、パソコン側にエラーメッセージが表示された場合には、再度プリントを行うか、本項目を「ツカワナイ」に設定してください。
- Windows を使って双方向通信をしているときに、パソコンによっては、「ECP」に設定するとデータをプリントできない場合があります。その場合は、「ニブル」または「ツカワナイ」に設定してプリントしてください。
- 本項目を「ツカワナイ」に設定したときは、次の手順で Windows のプリンタドライバの設定で双方向通信機能を使わないように設定してください。
  ＜ Windows NT 4.0/2000/XP/Server 2003 の場合＞
  ・[スタート] メニューの [設定] － [プリンタ]（Windows NT/2000）、[プリンタと FAX]（Windows XP/Server 2003）を選択します。
  ・お使いのプリンタのアイコンを右クリックして、[プロパティ] メニューを選択します。
  ・[ポート] シートの [双方向サポートを有効にする] のチェックを外します。

■ジョブ区切り

シナイ、スル

* 本項目は、「インタフェース選択」の項目が「ジドウ」または「セントロニクス」に設定されている場合にのみ表示されます。

セントロニクスインタフェースを使用してプリントしたときに不具合が発生することがあります。このようなときに「スル」に設定します。

重要　「スル」に設定した場合、正しいプリント結果が得られないこと（文字化けや受信したジョブがプリントされないなど）があります。このような場合には、以下のいずれかの方法でプリントしなおしてください。
- ･Canon Driver Information Assist Service をインストールする
- ･「双方向」（→ P.3-29）を「ツカワナイ」に設定する
- ･プリンタがオンラインになっていることを確認して、パソコンからデータを送信する

標準ネットワーク

■ TCP/IP

フレームタイプ	**ETHERNET 2、ムコウ**
IP モード *	**シュドウ、ジドウ**
プロトコル *	
DHCP	**オフ、オン**
BOOTP	**オフ、オン**
RARP	**オフ、オン**
アドレス *	
IP アドレス	**192.168.0.215**
サブネットマスク	**0.0.0.0**
ゲートウェイアドレス	**0.0.0.0**

* 本項目は、LBP3800 で「インタフェース選択」の項目が「ジドウ」または「ヒョウジュン　ネットワーク」に設定されている場合にのみ表示されます。

* 「IP モード」、「プロトコル」、「アドレス」は、「フレームタイプ」が「ETHERNET 2」に設定されている場合にのみ表示されます。また、「プロトコル」は「IP モード」が「ジドウ」に、「アドレス」は「IP モード」が「シュドウ」に設定されている場合にのみ表示されます。

本プリンタに内蔵されているプリントサーバの TCP/IP 設定を行います。本項目では、TCP/IP のフレームタイプ、IP アドレスの取得方法、IP アドレス自動取得のプロトコル、アドレス（IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス）の設定ができます。

重要　本項目で設定値を設定したあと、必ず「標準ネットワーク」の「設定登録」（→ P.3-31）で登録操作を行ってください。登録操作を行わないと設定した値が有効になりませんので、気を付けてください。

メモ

- 「IP アドレス」、「サブネットマスク」、「ゲートウェイアドレス」の数値を入力するには、［◄］または［►］を押して、入力したいアドレスの各フィールド（ピリオドで区切られた 3 桁分の領域）にカーソルを移動し、［▼］を押します。フィールド内の数値が点滅し、数値を入力できるようになります。［►］を押すと数値が増え、［◄］を押すと数値が減少します。目的の数値が表示されたら、［▼］を押して確定します。以上の操作を繰り返して、各フィールドの数値を入力します。
- 設定内容については、ネットワークガイド／本編「第 2 章 TCP/IP ネットワークで使用するには」を参照してください。

■設定登録

ー

* 本項目は、LBP3800 で「インタフェース選択」の項目が「ジドウ」または「ヒョウジュン ネットワーク」に設定されている場合にのみ表示されます。

標準ネットワークの設定を変更した場合に、変更した設定値を登録します。

「ヒョウジュン ネットワーク」を選択したあと、次の階層で「セッテイ トウロク」を選択すると、「ジッコウ シマスカ？」という確認のメッセージが表示されます。ここで［実行］を押すと登録が行われます。［実行］を押さずに［オンライン］を押すと、登録を行わずに通常のプリントができる状態に戻ります。

■ネットワーク設定初期化

ー

* 本項目は、LBP3800 で「インタフェース選択」の項目が「ジドウ」または「ヒョウジュン ネットワーク」に設定されている場合にのみ表示されます。

初期化を行うと、標準ネットワークの設定内容を工場出荷時の状態に戻すことができます。

「ヒョウジュン ネットワーク」を選択したあと、次の階層で「ネットワークセッテイショキカ」を選択すると、「ジッコウ シマスカ？」という確認のメッセージが表示されます。ここで［実行］を押すと初期化が行われます。［実行］を押さずに［オンライン］を押すと、初期化を行わずに通常のプリントができる状態に戻ります。

拡張ネットワーク

■ TCP/IP

フレームタイプ .... ETHERNET 2、ムコウ
IP モード * .... シュドウ、ジドウ
プロトコル *
　DHCP .... オフ、オン
　BOOTP.......................... オフ、オン
　RARP............................. オフ、オン
アドレス *
　IP アドレス .... 数値
　サブネットマスク.......... 数値
　ゲートウェイアドレス.. 数値

* 本項目は、LBP3700 で操作パネルからのネットワーク設定をサポートしたオプションのプリントサーバが装着されていて、「インタフェース選択」の項目が「ジドウ」または「カクチョウ　I/F」に設定されている場合などに表示されます。

* 「IP モード」、「プロトコル」、「アドレス」は、「フレームタイプ」が「ETHERNET　2」に設定されている場合にのみ表示されます。また、「プロトコル」は「IP モード」が「ジドウ」に、「アドレス」は「IP モード」が「シュドウ」に設定されている場合にのみ表示されます。

* 工場出荷時の設定値は、装着するプリントサーバによって異なります。

本プリンタにオプションで装着されたプリントサーバの TCP/IP 設定を行います。本項目では、TCP/IP のフレームタイプ、IP アドレスの取得方法、IP アドレス自動取得のプロトコル、アドレス（IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス）の設定ができます。

重要　本項目で設定値を設定したあと、必ず「拡張ネットワーク」の「設定登録」（→ P.3-33）で登録操作を行ってください。登録操作を行わないと設定した値が有効になりませんので、気をつけてください。

メモ
- 「IP アドレス」、「サブネットマスク」、「ゲートウェイアドレス」の数値を入力するには、[◄] または [►] を押して、入力したいアドレスの各フィールド（ピリオドで区切られた 3 桁分の領域）にカーソルを移動し、[▼] を押します。フィールド内の数値が点滅し、数値を入力できるようになります。[►] を押すと数値が増え、[◄] を押すと数値が減少します。目的の数値が表示されたら、[▼] を押して確定します。以上の操作を繰り返して、各フィールドの数値を入力します。
- 設定内容については、オプションのプリントサーバに付属の取扱説明書を参照してください。

■設定登録

ー

* 本項目は、LBP3700 で操作パネルからのネットワーク設定をサポートしたオプションのプリントサーバが装着されていて、「インタフェース選択」の項目が「ジドウ」または「カクチョウ　I/F」に設定されている場合などに表示されます。

拡張ネットワークの設定を変更した場合に、変更した設定値を登録します。

「カクチョウ　ネットワーク」を選択したあと、次の階層で「セッテイ　トウロク」を選択すると、「ジッコウ　シマスカ？」という確認のメッセージが表示されます。ここで［実行］を押すと登録が行われます。［実行］を押さずに［オンライン］を押すと、登録を行わずに通常のプリントができる状態に戻ります。

■ネットワーク設定初期化

ー

* 本項目は、LBP3700 で操作パネルからのネットワーク設定をサポートしたオプションのプリントサーバが装着されていて、「インタフェース選択」の項目が「ジドウ」または「カクチョウ　I/F」に設定されている場合などに表示されます。

初期化を行うと、拡張ネットワークの設定内容を、工場出荷時の状態に戻すことができます。「カクチョウ　ネットワーク」を選択したあと、次の階層で「ネットワーク　セッテイショキカ」を選択すると、「ジッコウ　シマスカ？」という確認のメッセージが表示されます。ここで［実行］を押すと初期化が行われます。［実行］を押さずに［オンライン］を押すと、初期化を行わずに通常のプリントができる状態に戻ります。

コネクション認識

スル、シナイ

* 本項目は、LBP3800　の場合、「インタフェース選択」の項目が「ジドウ」または「ヒョウジュン　ネットワーク」に設定されている場合にのみ表示されます。LBP3700 の場合、操作パネルからのネットワーク設定をサポートしたオプションのプリントサーバが装着されていて、「インタフェース選択」の項目が「ジドウ」または「カクチョウ　I/F」に設定されている場合にのみ表示されます。

「標準ネットワーク」／「拡張ネットワーク」を使用してプリントした場合に、正しいプリント結果が得られないこと（文字化けやオーバレイプリントが正しくできないなど）があります。そのような場合に、本項目を「シナイ」に設定してください。

重要　本項目の設定を変更した場合は、設定を有効にするために、電源を入れなおすかハードリセット操作を行ってください。

拡張受信バッファ

ツカワナイ、ツカウ

* 本項目は、オプションのRAMが装着されている場合にのみ表示されます。

「ツカウ」に設定すると、プリンタのデータを受け取る受信バッファのメモリ容量を増やします。パソコンから大量のデータや複雑なデータを送るときに、パソコンの開放時間を早めることができます。

重要

- 本項目の設定を変更した場合は、設定を有効にするために、電源を入れなおしてください。
- 本項目を「ツカウ」に設定しているとき、オプションのRAMを取り外すと、「30　メモリフル」のメッセージが表示されます。そのような場合は、「ツカワナイ」に設定するか、RAMを取り付けなおしてください。

動作モードグループの設定項目

動作モードグループでは、エミュレーションの固定や優先などプリンタの動作モードについて設定できます。

動作モード選択

ジドウ　センタク、その他のエミュレーション *、LIPS、N201、ESC/P、BMLinkS、HEX-DUMP、LIPS-DUMP

* 「その他のエミュレーション」は、オプションのコントロール ROM が装着されている場合にのみ、そのエミュレーションの名前が表示されます。

動作モード選択では、本プリンタが動作するモードを設定することができます。パソコンから送信されたデータによって自動的に動作モードを切り替えるか、LIPS、N201、ESC/P、BMLinkS の各モードやオプションのエミュレーションモードに動作モードを固定して本プリンタを使用するかを設定できます。
また、データを文字や図形に変換せずに、16 進コードでプリントする「HEX-DUMP」や、LIPS のコントロールコマンドの状態でプリントする「LIPS-DUMP」でプリントすることもできます。

メモ
「LIPS」、「LIPS-DUMP」は、コントロールコマンドで LIPS II⁺、LIPS III、LIPS IV を使用しているときのみ有効になります。

「ジドウ　センタク」：（自動切り替えモード）

パソコンから送信されたデータが、LIPS コマンド、N201 エミュレーションコマンド、ESC/P エミュレーションコマンド、BMLinkS コマンド、オプションのエミュレーションコマンドのいずれを使用しているのかを自動的に判別して、動作モードを切り替えます。アプリケーションソフトからプリントする場合、通常はこのモードでお使いください。

工場出荷時は、「ジドウ　センタク」が設定されています。

重要
オプションのコントロール ROM を装着している場合は、オプションのエミュレーションモードも含めて自動切り替えが行えます。ただし、本プリンタを IBM5577、FMPR359、N5273、HP-GL などのプリンタのエミュレーションとしてお使いの場合で、パソコン側で専用のハンドシェークが必要な場合は、オプションのエミュレーションモードに固定してお使いください。

メモ
工場出荷時の状態では、オプションのエミュレーションモードも含めてすべてのモードを対象に自動切り替えを行いますが、自動切り替えの対象となるモードを限定することもできます。詳しくは、「自動切り替え」（→ P.3-38）を参照してください。

「その他のエミュレーション」

動作モードをオプションのエミュレーションモードに固定します。オプションのコントロール ROM を装着している場合にのみ、そのエミュレーションの名前が表示され、選択できるようになります。

「LIPS」：（LIPS モード）

動作モードを LIPS モードに固定します。

アプリケーションソフトが使用するコントロールコマンドが LIPS に限られる場合や、自動切り替えでうまく LIPS モードに切り替わらない場合にこのモードにします。

「N201」：（N201 エミュレーションモード）

動作モードを N201 エミュレーションモードに固定します。アプリケーションソフトが使用するコントロールコマンドが N201 に限られる場合や、自動切り替えでうまく N201 モードに切り替わらない場合にこのモードにします。

「ESC/P」：（ESC/P エミュレーションモード）

動作モードを ESC/P エミュレーションモードに固定します。

アプリケーションソフトが使用するコントロールコマンドが ESC/P に限られる場合や、自動切り替えでうまく ESC/P エミュレーションモードに切り替わらない場合にこのモードにします。

「BMLinkS」：（BMLinkS モード）

動作モードを BMLinkS モードに固定します。

使用するコントロールコマンドが BMLinkS に限られる場合（BMLinkS プリンタドライバのみを使用している場合）や、自動切り替えでうまく BMLinkS モードに切り替わらない場合にこのモードにします。

メモ　LBP3700 の場合、BMLinkS に対応したオプションのプリントサーバが装着されているときのみ、BMLinkS モードが有効になります。

「HEX-DUMP」：（ヘキサダンプモード）

パソコンから送信されたデータを図形や文字に変換せずに 16 進コードでプリントします。パソコンからの出力内容を検証する場合などにこのモードにします。

ヘキサダンプリストの見かたについては、「ヘキサダンプリスト」（→ P.8-20）を参照してください。

「LIPS-DUMP」：（LIPS ダンプモード）

パソコンから送信されたデータを図形や文字に変換せずに LIPS のコントロールコマンドの形式でプリントします。パソコンからの出力内容を検証する場合などにこのモードにします。

LIPS ダンプリストの見かたについては、「LIPS ダンプリスト」（→ P.8-21）を参照してください。

●動作モードの自動切り替えについて

アプリケーションソフトのプリンタ選択画面で、常に特定のプリンタ名しか選択しない（特定のコントロールコマンドしか使わない）場合以外は、動作モードは自動切り替えに設定しておくと便利です。

自動切り替えに設定した場合は、受信したデータの順にコントロールコマンドの種類を認識して自動的に動作モードを切り替えてプリントします。

自動切り替えで正しく動作モードを切り替えたいときは、セットアップメニューのインタフェースグループの「タイムアウト」（→ P.3-26）を設定しておく必要があります。ジョブタイムアウトは、データが入力されなくなってから一定時間以上たつと、それまで動作していた動作モードを終了し、次の動作モードに切り替われる状態にする機能です。工場出荷時は、データが入力されなくなってから 15 秒たつと、動作モードを終了するように設定されています。

また、本プリンタにはインタフェースの種類を自動的に切り替える機能もあります。インタフェースの自動切り替えと動作モードの自動切り替えを同時に設定している場合は、次の順番で切り替えます。

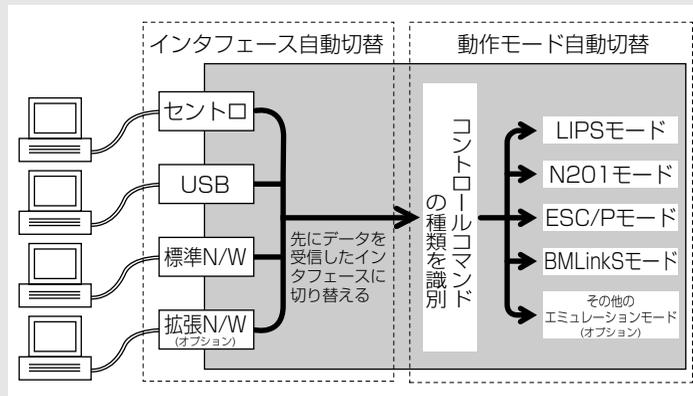
① インタフェースを切り替える

データを先に受信したインタフェースに自動的に切り替えます。

② 動作モードを切り替える

受信したデータのコントロールコマンドの種類を識別して、動作モードを自動的に切り替えます。

3

共通セットアップメニューの設定項目

自動切り替え

LIPS	**ツカウ**、ツカワナイ
N201	**ツカウ**、ツカワナイ
ESC/P	**ツカウ**、ツカワナイ
BMLinkS	**ツカウ**、ツカワナイ
オプション *	**ツカウ**、ツカワナイ

* 「オプション」は、オプションのコントロールROM が装着されている場合にのみ表示されます。

動作モード自動切り替えが設定されている場合の、自動切り替えの対象となる動作モードを設定します。LIPS エミュレーション、N201 エミュレーション、ESC/P エミュレーション、BMLinkS、オプションのエミュレーションの各モードについて設定します。

「ツカウ」に設定すると、そのモードを自動切り替えの対象とします。「ツカワナイ」に設定すると、そのモードを自動切り替えの対象としません。

メモ
- 動作モード自動切り替えは、「動作モード選択」（→ P.3-35）で設定します。
- 本項目で、すべてのモードを自動切り替えの対象としない設定にしたときに、動作モード自動切り替えが設定された場合は、「優先エミュレーション」（→ P.3-38）で設定されたモードで動作します。
- 「オプション」を「ツカワナイ」に設定すると、装着されているオプションのエミュレーションすべてが自動切り替えの対象から外れます。

優先エミュレーション

N201、ESC/P、BMLinkS、ナシ、その他のエミュレーション *、LIPS

* 「その他のエミュレーション」は、オプションのコントロール ROM が装着されている場合にのみ、そのエミュレーションの名前が表示されます。

動作モードの自動切り替えを設定した状態で、本プリンタがコントロールコマンドを識別できなかった場合に、優先的に切り替える「優先エミュレーション」を設定しておくことができます。

「N201」

N201 エミュレーションモードを優先エミュレーションにします。

工場出荷時は、「N201」に設定されています。

「ESC/P」

ESC/P エミュレーションモードを優先エミュレーションにします。

「BMLinkS」

BMLinkS モードを優先エミュレーションにします。

「ナシ」

優先エミュレーションを設定しません。

コントロールコマンドを識別できなかった場合は、以前の動作モードで引き続き処理をします。

「その他のエミュレーション」

オプションのエミュレーションモードを優先エミュレーションにします。

オプションのコントロール ROM を装着している場合にのみ、そのエミュレーションの名前が表示され、選択できるようになります。

「LIPS」

LIPS モードを優先エミュレーションにします。

ユーザメンテナンスグループの設定項目

ユーザメンテナンスグループでは、トラブル発生時のプリンタの調整について設定できます。

印字位置調整

タテイチホセイ（トレイ）	-5.0 mm ～ **0.0 mm** ～ +5.0 mm
ヨコイチホセイ（トレイ）	-5.0 mm ～ **0.0 mm** ～ +5.0 mm
タテイチホセイ（カセット1）	-5.0 mm ～ **0.0 mm** ～ +5.0 mm
ヨコイチホセイ（カセット1）	-5.0 mm ～ **0.0 mm** ～ +5.0 mm
タテイチホセイ（カセット2）*1	-5.0 mm ～ **0.0 mm** ～ +5.0 mm
ヨコイチホセイ（カセット2）*1	-5.0 mm ～ **0.0 mm** ～ +5.0 mm
タテイチホセイ（カセット3）*1	-5.0 mm ～ **0.0 mm** ～ +5.0 mm
ヨコイチホセイ（カセット3）*1	-5.0 mm ～ **0.0 mm** ～ +5.0 mm
タテイチホセイ（カセット4）*1	-5.0 mm ～ **0.0 mm** ～ +5.0 mm
ヨコイチホセイ（カセット4）*1	-5.0 mm ～ **0.0 mm** ～ +5.0 mm
タテイチホセイ（リョウメン）*2	-5.0 mm ～ **0.0 mm** ～ +5.0 mm
ヨコイチホセイ（リョウメン）*2	-5.0 mm ～ **0.0 mm** ～ +5.0 mm

*1 「タテイチホセイ（カセット 2）」、「ヨコイチホセイ（カセット 2）」、「タテイチホセイ（カセット 3）」、「ヨコイチホセイ（カセット 3）」、「タテイチホセイ（カセット 4）」、「ヨコイチホセイ（カセット 4）」は、オプションのペーパーフィーダが装着されている場合にのみ表示されます。

*2 「タテイチホセイ（リョウメン）」、「ヨコイチホセイ（リョウメン）」は、オプションの両面ユニットが装着されている場合にのみ表示されます。

指定した給紙元からの印字位置を設定します。設定値で指定した値だけ、縦方向または横方向にずらして調整します。

設定値は mm で表されており、0.5 mm ずつ［►］または［◄］を押して調整することができます。

印字位置の調整を行わない場合は、「0.0」に設定します。

「タテイチホセイ (リョウメン)」、「ヨコイチホセイ (リョウメン)」は、両面プリント時の 1 ページ目の印字位置を設定します。両面プリント時の 2 ページ目はそれぞれの給紙元の設定にしたがいます。

重要　印字位置を調整した結果、印字データが有効印字領域をはみ出る場合は、その部分が欠けて印字されます。

メモ
- ［►］を押すたびに設定値が 0.5 mm ずつ増え、［◄］を押すたびに設定値が 0.5 mm ずつ減ります。また、［►］あるいは［◄］から指を離さずに押し続けていると、加減速度が速くなります。
- ユーティリティメニューの「印字位置プリント」（→ P.7-7）で設定した印字位置を確認することができます。

- 印字位置調整の操作については、ユーザーズガイド「第４章 日常のメンテナンス」を参照してください。
- 両面プリント時の2面目の画像の向きは、プリントする用紙の向きや「とじ方向」（→P.3-16」）の設定によって変わりますので、印字位置の調整をするときは気を付けてください。

リカバリ印刷

スル、シナイ

紙づまりが起きた場合やエラーが発生してプリントが中断した場合、一部分でも印字されたページを印刷するかどうかを設定します。

「スル」に設定すると、紙づまりが起きたページやエラーが起きたページから印刷しなおします。

「シナイ」に設定すると、紙づまりやエラーが起きたときに、一部分でも印字されたページは印刷を行わず、次のページから印刷を行います。

両面印刷の場合は、１面目の一部分でも印字されていたときは、２面目のページも印刷を行いません。次のページの１面目から印刷されます。

定着オフセット

ツカワナイ、スピードユウセン１、スピードユウセン２

幅の狭い用紙から幅の広い用紙へ切り替えてプリントする場合に、プリント待ち時間を短くして、プリント速度を優先したいときに設定します。

プリント速度を優先したいときは「スピードユウセン 1」または「スピードユウセン 2」に設定します。ただし、「スピードユウセン 1」または「スピードユウセン2」に設定した場合、画質よりプリント速度が優先されるため、用紙の両側に一度印字した文字や画像の残像が印字されることがあります。

「スピードユウセン 1」に設定すると、印刷環境や印刷条件に関わらず、最もプリント速度を優先したモードでプリントします。

「スピードユウセン 2」は、印刷環境や印刷条件によってはプリント待ち時間がかかる場合があります。

画質を優先してプリントしたいときは、「ツカワナイ」に設定しなおしてください。

特殊モードＪ

ツカワナイ、ツカウ

トレイ用紙サイズを「フリー」に設定した場合に、「41　プリントチェック」を表示させてプリントを中断するか、プリント速度を遅くしてプリントするかを設定します。

「ツカワナイ」に設定すると、アプリケーションソフトで指定した用紙サイズと実際に手差しトレイにセットされた用紙サイズが異なる場合、「41　プリントチェック」が表示されて、プリントが中断されることがあります。エラーとなった用紙は自動的に排紙されます。また、[オンライン]を押して、プリントを継続することもできます。ただし、正しくプリントされなかったり、紙づまりが発生することがあります。

「ツカウ」に設定すると、アプリケーションソフトで指定した用紙サイズと実際に手差しトレイにセットされた用紙サイズが異なる場合でも、プリントチェックを行わずにプリントします。ただし、プリント速度が低下することがあります。また、アプリケーションソフトで指定した用紙サイズの大きさでプリントされるので、手差しトレイにセットされた用紙がアプリケーションソフトで指定した用紙サイズと異なる場合は、余白があいたり、画像の一部が欠けたりすることがあります。

重要　自動両面プリント時には、本項目の設定に関わらず、必ず「41　プリントチェック」が表示されて、プリントが中断されます。

特殊モードM

ツカワナイ、ツカウ

文字データをプリントした結果、文字のまわりにトナーが飛び散ったような跡が見受けられることがあります。そのような場合に、本項目を「ツカワナイ」に設定してください。

中間調の多いグラフィックデータ（図・表・グラフなど）をプリントした結果、画像のまわりに水玉模様（泡状）のような印字跡が見受けられることがあります。そのような場合に、本項目を「ツカウ」に設定してください。

特殊モードN

ツカワナイ、ツカウ

*　本項目は、オプションの両面ユニットを装着している場合にのみ表示されます。

自動両面印刷をした結果、紙づまりが頻繁に発生することがあります。そのような場合に、本項目を「ツカウ」に設定してください。ただし、通常の両面印刷よりも、プリント速度が遅くなります。

重要　問題が解決した場合、設定値を工場出荷時の状態の「ツカワナイ」に戻してください。

特殊モードO

ツカワナイ、ツカウ

手動で両面印刷をした結果、紙づまりが頻繁に発生することがあります。そのような場合に、本項目を「ツカウ」に設定してください。ただし、用紙の先端に白いすじが発生することがあります。

重要　問題が解決した場合、設定値を工場出荷時の状態の「ツカワナイ」に戻してください。

特殊モード P

ツカワナイ、レベル 1、レベル 2

高湿度環境でプリンタを使用している場合、用紙の種類によっては、印刷した用紙がカールし、排紙時に紙づまりが頻繁に発生することがあります。そのような場合は、プリンタドライバの「用紙タイプ」を「普通紙 L」に設定（またはプリンタドライバの「用紙タイプ」を「パネル優先」に設定して、操作パネルの「デフォルト用紙タイプ」を「フツウシ L」に設定）してプリントしてください。それでも、カールが目立つときは本項目を「レベル 1」または「レベル 2」に設定してください。

カールを低減するには、本項目と用紙タイプの設定を以下のように組み合わせてプリントします。

○：用紙のカールが小さいときに設定します。
◎：用紙のカールが大きいときに設定します。

特殊モードP／用紙タイプ		「ツカワナイ」*	「レベル1」	「レベル2」
プリンタドライバの「用紙タイプ」	操作パネルの「デフォルト用紙タイプ」			
パネル優先	フツウシ*	—	—	◎
パネル優先	フツウシL	○	◎	◎
普通紙	フツウシ*／フツウシL	—	—	◎
普通紙L	フツウシ*／フツウシL	○	◎	◎

*：工場出荷時の設定

 重要

- 本項目を「レベル 1」または「レベル 2」に設定すると、低温度環境でプリンタを使用している場合、用紙の種類によっては、トナーがうまく定着せずに印字がかすれたりすることがあります。
- 問題が解決した場合、 設定値を工場出荷時の「ツカワナイ」に戻してください。

4 CHAPTER

LIPS 専用セットアップメニューの設定項目

この章では、LIPS モードに固有の LIPS 専用セットアップメニューで設定できる内容について説明しています。LIPS 専用セットアップメニューの設定は、コントロールコマンドで LIPS II+、LIPS III、LIPS IV を使用しているときのみ有効です。

LIPS 専用セットアップメニュー 設定項目一覧

■ 表の見かた

太字で示されている設定値は、工場出荷時の値です。

設定項目	設定値	参照ページ
拡大／縮小	**シナイ**、→ A3、→ B4、→ A4、→ B5、→ A5、→ハガキ、→オウフク ハガキ、→ LG、→ LT	P.4-3
複数ページ印刷	**シナイ**、2 ページ（ヒダリ）、2 ページ（ミギ）、4 ページ（ヨコ - ヒダリ）、4 ページ（ヨコ - ミギ）、4 ページ（タテ - ヒダリ）、4 ページ（タテ - ミギ）	P.4-3
複数ページ余白	**パターン 1**、パターン 2	P.4-5
ページの向き	**タテ**、ヨコ	P.4-6
オーバレイ 1 ／ 2	**シナイ**、0 ～ 32767	P.4-6
スタートアップマクロ	0 ～ **30** ～ 32767	P.4-7
漢字コード	**JIS**、シフト JIS、EUC、DEC	P.4-8
文字サイズ	**10 ポイント**、12 ポイント、8 ポイント	P.4-9
漢字書体	**ミンチョウ**、ゴシック	P.4-9
ANK 書体	**ミンチョウ**、ゴシック、ラインプリンタ	P.4-9
漢字グラフィックセット	**JIS90**、JIS78	P.4-10
行数	**6LPI**、8LPI、10 ～ 99	P.4-10
桁数	**ジドウ**、10CPI、12CPI、15CPI、10 ～ 200	P.4-10
自動改ページ	**スル**、シナイ	P.4-11
自動改行	**スル**、シナイ	P.4-11
CR 機能	**CR ノミ**、CR+LF	P.4-11
LF 機能	**LF ノミ**、LF+CR	P.4-11
網かけ解像度	**クイック**、ファイン	P.4-12
ジョブタイムアウト	**シナイ**、スル	P.4-12

LIPS 専用セットアップメニューの設定項目

LIPS 専用セットアップメニューでは、拡大／縮小プリントや複数ページ印刷などについて設定できます。

メモ　LIPS 専用セットアップメニューの設定は、コントロールコマンドで LIPS II+、LIPS III、LIPS IV を使用しているときのみ有効です。

拡大／縮小

シナイ、→ A3、→ B4、→ A4、→ B5、→ A5、→ハガキ、→オウフク　ハガキ、→ LG、→ LT

拡大または縮小プリントの設定をします。

アプリケーションソフトで作成したデータサイズと、設定値で指定した出力用紙サイズから、自動的に倍率を計算し、拡大／縮小してプリントします。

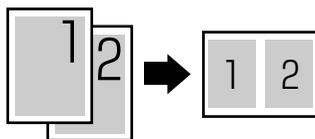
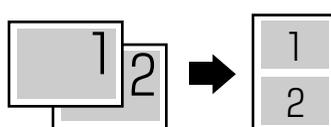
メモ
- アプリケーションソフトで作成するデータのサイズが定形サイズ（A4、B5 など）でない場合は、正しく拡大／縮小されないことがあります。
- 拡大／縮小の処理は、データの左上端を基点として処理します。
- 拡大／縮小でプリントすると、線の太さにムラが生じたり、細い線が消えたりすることがあります。
- アプリケーションソフトからのコマンドの内容によっては、正しく拡大／縮小してプリントされないことがあります。
- 拡大／縮小率が 25 ～ 200%の範囲を超える場合は、拡大／縮小は行われず等倍でプリントされます。この場合正しいプリント結果にはなりません。

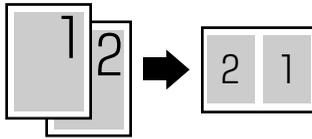
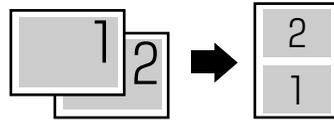
複数ページ印刷

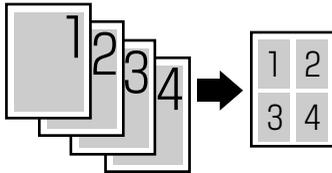
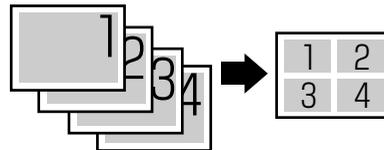
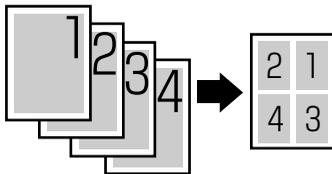
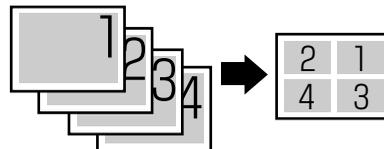
シナイ、2 ページ (ヒダリ)、2 ページ (ミギ)、4 ページ (ヨコ - ヒダリ)、4 ページ (ヨコ - ミギ)、4 ページ (タテ - ヒダリ)、4 ページ (タテ - ミギ)

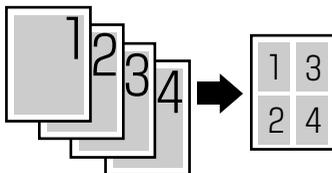
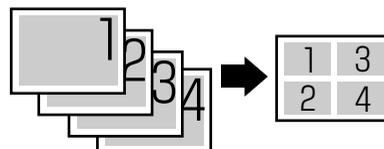
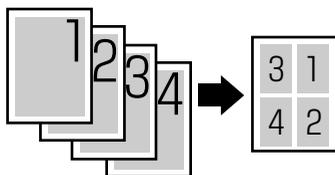
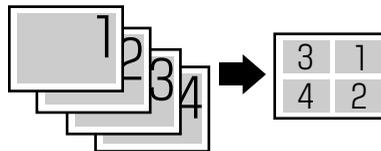
アプリケーションソフト側で作成したデータを、2 ページ分または 4 ページ分を並べて 1 ページにプリントできます。

「2 ページ（ヒダリ）」に設定すると、2 ページ分のデータを左または上から並べてプリントします。

用紙を縦に使ってプリントする場合

用紙を横に使ってプリントする場合

「2 ページ（ミギ）」に設定すると、2 ページ分のデータを右または下から並べてプリントします。

用紙を縦に使ってプリントする場合

用紙を横に使ってプリントする場合

「4 ページ（ヨコーヒダリ）」に設定すると、4 ページ分のデータを、左上から横方向に並べてプリントします。

用紙を縦に使ってプリントする場合　　用紙を横に使ってプリントする場合

「4 ページ（ヨコーミギ）」に設定すると、4 ページ分のデータを、右上から横方向に並べてプリントします。

用紙を縦に使ってプリントする場合　　用紙を横に使ってプリントする場合

「4 ページ（タテーヒダリ）」に設定すると、4 ページ分のデータを、左上から縦方向に並べてプリントします。

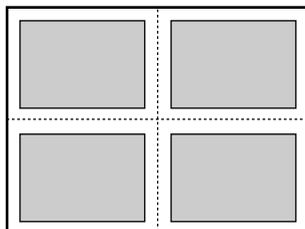
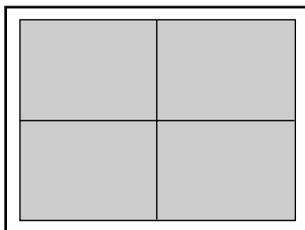
用紙を縦に使ってプリントする場合　　用紙を横に使ってプリントする場合

「4 ページ（タテーミギ）」に設定すると、4 ページ分のデータを、右上から縦方向に並べてプリントします。

メモ

- 異なるサイズのページデータを並べて 1 ページにプリントすることはできません。
- 拡大／縮小と複数ページ印刷を同時に設定し縮小率が 25%より小さくなる場合、複数ページ印刷は行われず正しいプリント結果にはなりません。

複数ページ余白

パターン 1、パターン 2

「複数ページ印刷」の機能を使って 2 ページ分または 4 ページ分を並べてプリントする場合の、余白のとりかたを設定します。

「パターン 1」に設定すると、各ページが接する部分に余白をつけてレイアウトします。

「パターン 2」に設定すると、各ページが接する部分に余白をつけずにレイアウトします。

メモ

- 「パターン 1」と「パターン 2」とでは余白のとりかたが違うため、画像の縮小率が異なります。「パターン 1」よりも「パターン 2」のほうが若干画像が大きくなります。
- 「パターン 2」に設定した場合でも、用紙の長辺と短辺の比率によっては、余白がつくことがあります。
- LIPS プリンタドライバの［仕上げ詳細］で「印字領域を広げてプリントする」にチェックした場合は、本項目を「パターン 1」に設定していても「パターン 2」で処理されます。

ページの向き

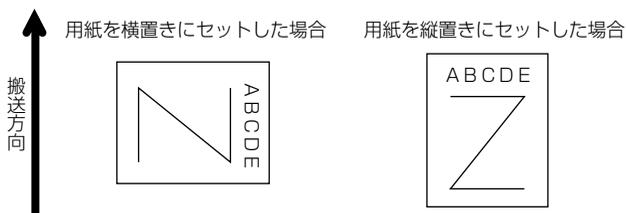
タテ、ヨコ

用紙を縦に使用してプリントするのか、横に使用してプリントするのかを設定します。

「タテ」に設定すると、用紙を縦に使用してプリントします。

搬送方向

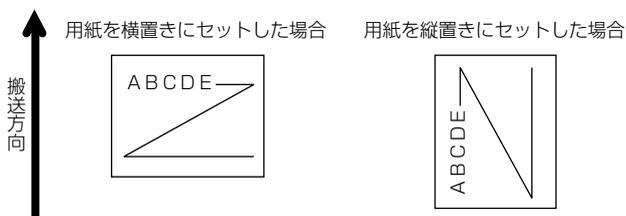
用紙を横置きにセットした場合

用紙を縦置きにセットした場合

「ヨコ」に設定すると、用紙を横に使用してプリントします。

搬送方向

用紙を横置きにセットした場合

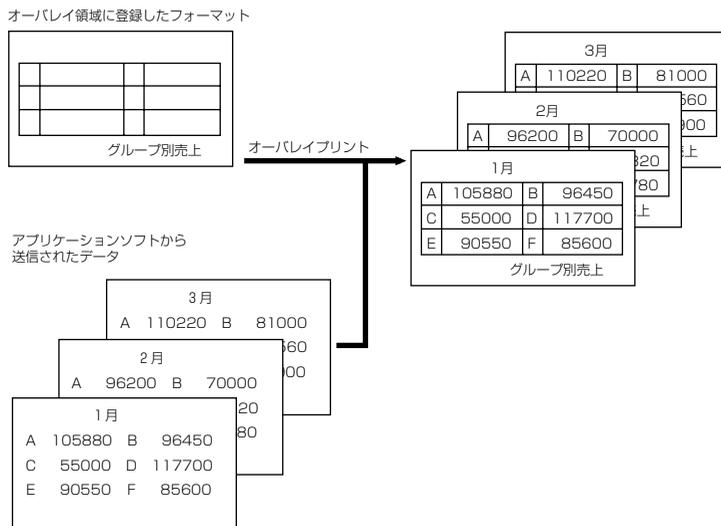
用紙を縦置きにセットした場合

オーバレイ 1 ／オーバレイ 2

シナイ、0 ～ 32767

オーバレイプリントを行うかどうかを設定します。オーバレイプリントを行う場合は、オーバレイプリントで使用するフォーマットデータの番号を指定します。

オーバレイプリントとは、各ページに共通するタイトルや表組みなどのフォーマットを、あらかじめプリンタのオーバレイ領域に登録し、後から別のデータを重ねてプリントする機能です。オーバレイプリントを行うと、各ページ共通のデータを、ページごとにアプリケーションソフト側から送る必要がないため、効率良くプリントすることができます。

オーバレイ領域には、1ページ分のフォーマットを最大で 32,768 種類登録することができます。フォーマットの作成や登録は、アプリケーションソフト側から LIPS のコントロールコマンドで行います。登録の際にはフォーマットに 0 ～ 32767 の番号をつけて登録します。本項目では、オーバレイ 1 あるいはオーバレイ 2として、どの番号のフォーマットを選択するかという設定だけを行います。

メモ

- オーバレイの内容は、電源をオフにするか、ハードリセット操作を行うと削除されます。
- オーバレイ領域に登録したフォーマットデータの内容や番号、サイズは、LIPS 専用ユーティリティの「オーバレイプリント」、「オーバレイリスト」で確認することができます。詳しくは、「LIPS ユーティリティ（LIPS 専用ユーティリティ）」（→ P.7-4）を参照してください。
- 登録するフォーマットを LIPS のコントロールコマンドでプログラミングするときは、オプションの「プログラマーズマニュアル」を参照してください。

スタートアップマクロ

0 ～ **30** ～ 32767

スタートアップマクロ機能を使用するかどうかを設定します。使用しない場合は「0」を、使用する場合は実行したいマクロ番号を指定します。

スタートアップマクロ機能は、あらかじめパソコン側で作成した LIPS のコントロールコマンドのプログラムを、プリンタのマクロ領域に登録しておき、リセットコマンド（ハードリセット、ソフトリセット、パラメータリセット）で実行するようにする機能です。

マクロ領域には、最大で 1 ～ 32,767 番までの 32,767 種類のプログラムを登録することができます。登録は、アプリケーションソフト側から LIPS のコントロールコマンドで行います。プリンタ側では、本項目で実行したいマクロの番号の選択だけを行います。選択した番号のマクロはリセットを行うたびに実行されます。

メモ

- 登録したマクロの番号やサイズなどは、LIPS 専用ユーティリティの「マクロリスト」で確認することができます。詳しくは、「LIPS ユーティリティ（LIPS 専用ユーティリティ）」（→ P.7-4）を参照してください。
- 登録するプログラムを LIPS のコントロールコマンドでプログラミングするときは、オプションの「プログラマーズマニュアル」を参照してください。

漢字コード

JIS、シフト JIS、EUC、DEC

パソコンで使用している漢字コード体系に応じて、漢字コードを設定します。

通常は「JIS」に設定しておきますが、次のような場合に「JIS」以外に設定します。

- アプリケーションソフトを使わず、MS-DOS の文字データをそのままプリントするときには「シフト JIS」を設定します。
- UNIX を OS とするワークステーションやパソコンを使用するときには「EUC」（Extended Unix Code：UNIX 拡張コード）を設定します。
- DEC漢字コードを採用しているワークステーションを使用するときには「DEC」（DEC コード）を設定します。

各漢字コードの文字セットは、次のように G0 ～ G3 の割り当てテーブルに割り当てられます。

	シフトJIS	JIS	EUC	DEC
G0	半角英数字	半角英数字	半角英数字	半角英数字
G1	半角カナ	半角カナ	全角漢字	半角カナ
G2	全角漢字	全角漢字	半角カナ	全角漢字
G3	漢字縮小	漢字縮小	全角漢字	全角漢字

GL	G0	G0	G0	G0
GR	G1	G1	G1	G3
ペア	G0～G1	G0～G1	解除	解除

重要

- 「シフト JIS」に設定した場合は、LIPS の C1 制御命令は使用できなくなりますが、ビット長を 7 ビット形式で送信すれば、LIPS のコマンドとして動作します。
- 本項目で漢字コードを設定するということは、漢字コード体系に応じて文字セットを割り当てテーブルに割り当てるということです。JIS で規定されていない拡張文字などはプリントされません。
  上記以外の漢字コードを使用する場合は、アプリケーションソフト側で文字セットを割り当ててください。

メモ

- 指定された文字セットが存在しない場合は、近い属性の文字セットを使用してプリントします。
- JIS 漢字コードには「新 JIS」と「旧 JIS」があります。新 JIS と旧 JIS の切り替えは、「漢字グラフィックセット」（→ P.4-10）で設定します。
- UNIXではEUCを採用していますが、中にはOSのデバイスドライバがJIS漢字コードなどに変換するものもあります。詳しくは、パソコンの操作説明書を参照してください。

文字サイズ

10 ポイント、12 ポイント、8 ポイント

印字する文字の大きさをポイント数で設定します。

1 ポイントは約 0.35 mm（1/72"）です。

コントロールコマンドで LIPS III または LIPS IV を使用しているときと、LIPS II^{+}を使用しているときとでは同じ設定値でも、実際にプリントされる大きさが次のように異なります。

「10 ポイント」：LIPS III ／ IV ＝ 10 ポイント　LIPS II^{+}＝ 9.6 ポイント
「12 ポイント」：LIPS III ／ IV ＝ 12 ポイント　LIPS II^{+}＝ 12 ポイント
「8 ポイント」：LIPS III ／ IV ＝ 8 ポイント　LIPS II^{+}＝ 7.2 ポイント

設定値	LIPS III／IV	LIPS II^{+}
8ポイント 10ポイント 12ポイント	8　文字サイズ 10　文字サイズ 12　文字サイズ	7.2　文字サイズ 9.6　文字サイズ 12　文字サイズ

メモ　LIPS II^{+}のときのポイント数（7.2、9.6）はディスプレイに表示されません。

漢字書体

ミンチョウ、ゴシック

漢字やひらがななどの全角文字の書体を設定します。

「ミンチョウ」	「ゴシック」
明朝体	ゴシック体

ANK 書体

ミンチョウ、ゴシック、ラインプリンタ

半角英数字や半角カナなどの ANK 文字の書体を設定します。

ANK とは、Alphabet、Numeric、Kana の略です。

ミンチョウ	123　ABC　ﾐﾝﾁｮｳﾀｲ
ゴシック	123　ABC　ｺﾞｼｯｸﾀｲ
ラインプリンタ	123　ABC　ﾗｲﾝﾌﾟﾘﾝﾀ

4

LIPS専用セットアップメニューの設定項目

漢字グラフィックセット

JIS90、JIS78

「漢字コード」(→ P.4-8)の種類で「JIS」を選択した場合に使用する漢字グラフィックセットを設定します。

JIS 漢字コードには「新 JIS(JIS90)」と「旧 JIS(JIS78)」があります。新JISコードは、旧JISコードに特殊記号、罫線、漢字などを追加、変更したものです。

メモ
- グラフィックセットとは、パソコンからのコードに対して、どの文字を割り当てるかという取り決めです。それを示したものがコード表です。
- 新 JIS と旧 JIS の漢字コード表は付属の CD-ROM に収められています。

行数

6LPI、8LPI、10 ~ 99

1インチまたは1ページにプリントする行数を設定します。

LPI は Line Per Inch の略で、1インチあたりの行数の単位を表します。

「6LPI」に設定すると、1インチに6行プリントします。
「8LPI」に設定すると、1インチに8行プリントします。

「10 ~ 99」に設定すると、1ページにプリントする行数を 10 ~ 99 行の範囲で設定します。「10」を選択してから[►]を押すと行数が増え、[◄]を押すと行数が減ります。

桁数

ジドウ、10CPI、12CPI、15CPI、10 ~ 200

1 インチまたは 1 行にプリントする文字数を設定します。

CPI は、Characters Per Inch の略で、1 インチあたりの文字数の単位を表します。

「ジドウ」に設定すると、現在選択しているフォントに応じた文字数でプリントします。

「10CPI」に設定すると、1 インチに 10 桁プリントします。
「12CPI」に設定すると、1 インチに 12 桁プリントします。
「15CPI」に設定すると、1 インチに 15 桁プリントします。

「10 ~200」に設定すると、1 行にプリントする文字数を 10 ~200 の範囲で設定します。「10」を選択してから[►]を押すと桁数が増え、[◄]を押すと桁数が減ります。

自動改ページ

スル、シナイ

印字位置が有効印字領域の下端を超えようとしたとき、改ページコード（FF）を受信しなくても、自動的に改ページしてプリントするかどうかを設定します。

「シナイ」に設定すると、パソコンから改ページコード（FF）が送られるまで印字位置を変更しません。

自動改行

スル、シナイ

印字位置が右マージンまたは有効印字領域の右端を超えようとしたとき、復帰コード（CR）や改行コード（LF）を受信しなくても、自動的に改行してプリントするかどうかを設定します。

「シナイ」に設定すると、パソコンから復帰コード（CR）、改行コード（LF）が送られるまで印字位置を変更しません。

CR 機能

CR ノミ、CR+LF

復帰コード（CR）を受信したときの、印字位置の移動のしかたを設定します。

「CR ノミ」に設定すると、復帰コード（CR）を受信すると、印字位置をその行の第一文字目（左マージン）に移動します。

「CR ＋ LF」に設定すると、復帰コード（CR）を受信すると、印字位置を次の行の第一文字目に移動します。

LF 機能

LF ノミ、LF+CR

改行コード（LF）を受信したときの、印字位置の移動のしかたを設定します。

「LF ノミ」に設定すると、改行コード（LF）を受信すると、印字位置を次の行に移動します。桁位置はそのままです。

「LF ＋ CR」に設定すると、改行コード（LF）を受信すると、印字位置を次の行の第一文字目に移動します。

網かけ解像度

クイック、ファイン

スーパーファインモード、ファインモードでプリントするときの、網かけや飾り罫線のパターンの解像度を設定します。

「クイック」に設定すると、300 dpi 用にデザインされたパターンを使用します。ファインモードでは 2 倍に、スーパーファインモードでは 4 倍に拡大して使用します。

「ファイン」に設定すると、600 dpi 用にデザインされたパターンを使用します。スーパーファインモードでは、2 倍に拡大して使用します。「クイック」よりも高精度でプリントできます。

メモ
- 本項目は、「解像度」（→ P.3-20）が「スーパーファイン」または「ファイン」の場合にのみ有効です。
- データの量や種類によっては、処理に必要なメモリが不足して、スーパーファインモード、ファインモードでプリントされない場合があります。その場合は、本項目を「クイック」に設定していた場合よりも、「ファイン」に設定していた場合のほうが、印字の精度が低下することがあります。

ジョブタイムアウト

シナイ、スル

共通セットアップメニューの「タイムアウト」（→ P.3-26）の設定を有効にするかどうかを設定します。

メモ
LIPS 対応のアプリケーションソフトから N201 や ESC/P などの他のエミュレーションモードへの自動切り替えがうまく行われない場合に、本項目を「スル」に設定すると、タイムアウトで LIPS モードのジョブを終了して自動切り替えが行われるようになります。

N201 専用セットアップメニューの設定項目

5
CHAPTER

この章では、N201 エミュレーションモードに固有の N201 専用セットアップメニューで設定できる内容について説明しています。

N201 専用セットアップメニューの設定項目一覧

■ 表の見かた

- 「*」印が付いている項目は、他の設定項目の内容によって表示されるときと表示されないときがあります。
- 太字で示されている設定値は、工場出荷時の値です。
- オプションのコントロール ROM を装着すると、「N201 専用セットアップメニュー」に設定項目が追加されます。詳しくはオプションのコントロール ROM の取扱説明書を参照してください。

■ ページレイアウトグループ

設定項目	設定値	参照ページ
ページフォーマット	**ジッスン　タテ**、ジッスン　ヨコ、10" → A4　タテ、15" → A4　ヨコ、15" → B4　ヨコ、2/3　タテ、2/3　ヨコ	P.5-5
用紙位置	**チュウオウ**、ヒダリ	P.5-7
上余白	-127 ～ **+000** ～ +127	P.5-8
用紙位置微調整	-127 ～ **+000** ～ +127	P.5-10
領域	**ヒョウジュン**、ワイド	P.5-12
右マージン既定値	**136 ケタ**、ミギハシ	P.5-12
用紙サイズ	**カレントヨウシ**、A3、B4、A4、B5、A5、ハガキ	P.5-12
2 ページ印刷設定	**シナイ**、ヒダリ、ミギ	P.5-13

■ フォントグループ

設定項目	設定値	参照ページ
漢字書体	**ミンチョウ**、ゴシック、ID	P.5-14
フォント ID*	001 ～ **002** ～ 999	P.5-14
漢字サイズ	**システム**、8 ポイント、10 ポイント、12 ポイント	P.5-14
ゼロ書体	**0**、Ø	P.5-15
国別文字	**ニホン**、USA、UK、ドイツ、スウェーデン	P.5-15
漢字グラフィックセット	**JIS78**、JIS90	P.5-15

■ 印字機能グループ

設定項目	設定値	参照ページ
イメージの補正	**シナイ**、スル	P.5-16
外字サイズ	**10.8 ポイント**、10 ポイント	P.5-16
グラフィック	**ネイティブ**、コピー	P.5-17

■ 印字動作グループ

設定項目	設定値	参照ページ
CR 機能	**フッキノミ**、フッキ / カイギョウ	P.5-18
印字指令	**CR ノミ**、CR ナド	P.5-18
バッファフル	**フッキ / カイギョウ**、フッキノミ	P.5-18

■ VFC グループ

設定項目	設定値	参照ページ
単票用紙長機能	**ムコウ**、ユウコウ	P.5-19
用紙長機能	**ムコウ**、ユウコウ	P.5-19
用紙長設定	1 ギョウ ～ **66 ギョウ** ～ 199 ギョウ	P.5-20
ミシン目スキップ	**0 ギョウ** ～ 197 ギョウ	P.5-20

■ その他のグループ

設定項目	設定値	参照ページ
登録レベル	**イチジ**、エイキュウ	P.5-21

ページレイアウトグループの設定項目

ページレイアウトグループでは、PC-PR201/80A プリンタから本プリンタへの用紙サイズの変換と、プリントする用紙サイズの設定や位置の調整などについて設定できます。

ページフォーマット

ジッスン　タテ、ジッスン　ヨコ、10" → A4　タテ、15" → A4　ヨコ、15" → B4　ヨコ、2/3　タテ、2/3　ヨコ

PC-PR201/80A プリンタ用の用紙サイズで作成されたデータを、本プリンタ用の用紙サイズに変換します。

アプリケーションソフトの印刷条件設定で選択した用紙サイズに合わせて設定してください。ページフォーマットの設定値の詳細やレイアウトについては、「N201 エミュレーションのページフォーマット」(→ P.8-7) も併せて参照してください。なお、本プリンタにセットする用紙のサイズは、ページレイアウトグループの「用紙サイズ」(→ P.5-12) で設定します。

各設定値を設定した場合の処理は次のようになります。

メモ　用紙を縦に使う場合をポートレイト、横に使う場合をランドスケープと言います。

「ジッスン　タテ」:(実寸縦)

データの用紙サイズは変換せずに、実寸でプリントします。A3、B4、A4、B5、A5、ハガキサイズのカット紙を PC-PR201/80A プリンタに縦置きにセットしたときと同じプリント結果になります。

メモ
- ページレイアウトグループの「用紙サイズ」(→ P.5-12) は、データと同じ用紙サイズに設定します。
- カットシートフィーダを使用した場合と同じ用紙位置にするかどうかを設定できます。詳しくは、「用紙位置」(→ P.5-7) を参照してください。

「ジッスン　ヨコ」:(実寸横)

データの用紙サイズは変換せずに、実寸でプリントします。A3、B4、A4、B5、A5、ハガキサイズのカット紙を PC-PR201/80A プリンタに横置きにセットしたときと同じプリント結果になります。

メモ
- ページレイアウトグループの「用紙サイズ」(→ P.5-12) は、データと同じ用紙サイズに設定します。
- カットシートフィーダを使用した場合と同じ用紙位置にするかどうかを設定できます。詳しくは、「用紙位置」(→ P.5-7) を参照してください。

「10" → A4　タテ」:（10" → A4 縦）

10" × 11" 連続用紙にプリントすることを想定して作成したデータ（80 文字× 66 行）を A4 サイズに縮小してポートレイトでプリントします。

メモ
- ページレイアウトグループの「用紙サイズ」（→ P.5-12）は、A4 サイズが基本ですが、A3、B4 サイズも選択できます。
- ページフォーマットの印字領域を用紙の印字領域いっぱいに広げてプリントする「ワイド領域モード」を設定できます。詳しくは、「領域」（→ P.5-12）を参照してください。
- 10" × 11" 連続用紙のサイズは、254 mm × 279.4 mm です。

「15" → A4　ヨコ」:（15" → A4 横）

15" × 11" 連続用紙にプリントすることを想定して作成したデータ（136 文字 × 66 行）を A4 サイズに縮小してランドスケープでプリントします。

メモ
- ページレイアウトグループの「用紙サイズ」（→ P.5-12）は、A4 サイズが基本ですが、A3、B4 サイズも選択できます。
- ページフォーマットの印字領域を用紙の印字領域いっぱいに広げてプリントする「ワイド領域モード」を設定できます。詳しくは、「領域」（→ P.5-12）を参照してください。
- 15" × 11" 連続用紙のサイズは、381 mm × 279.4 mm です。

「15" → B4　ヨコ」:（15" → B4 横）

15" × 11" 連続用紙にプリントすることを想定して作成したデータ（136 文字 × 66 行）を B4 サイズに縮小してランドスケープでプリントします。

メモ
- ページレイアウトグループの「用紙サイズ」（→ P.5-12）は、B4 サイズが基本ですが、A3 サイズも選択できます。
- ページフォーマットの印字領域を用紙の印字領域いっぱいに広げてプリントする「ワイド領域モード」を設定できます。詳しくは、「領域」（→ P.5-12）を参照してください。
- 15" × 11" 連続用紙のサイズは、381mm × 279.4mm です。

「2/3　タテ」:（2/3 縦）

実寸縦用のデータを 2/3 のサイズに縮小してポートレイトでプリントします。

メモ
- ページレイアウトグループの「用紙サイズ」（→ P.5-12）は、A3、B4、A4、B5、A5、ハガキサイズを選択できます。ただし、中央印字モードのときは A4 サイズが基準になります。
- カットシートフィーダを使用した場合と同じ用紙位置にするかどうかを設定できます。詳しくは、「用紙位置」（→ P.5-7）を参照してください。

「2/3　ヨコ」:（2/3 横）

実寸横用のデータを 2/3 のサイズに縮小してランドスケープでプリントします。

メモ
- ページレイアウトグループの「用紙サイズ」（→ P.5-12）は、A3、B4、A4、B5、A5、ハガキサイズを選択できます。ただし、中央印字モードのときは A4 サイズが基準になります。
- カットシートフィーダを使用した場合と同じ用紙位置にするかどうかを設定できます。詳しくは、「用紙位置」（→ P.5-7）を参照してください。

用紙位置

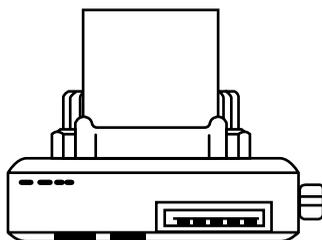
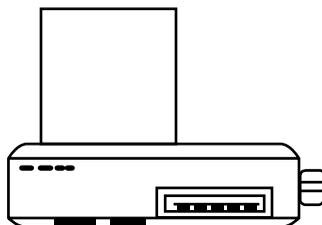
チュウオウ、ヒダリ

PC-PR201/80A のプリンタでカットシートフィーダを使用する場合と使用しない場合に合わせて用紙位置を設定します。

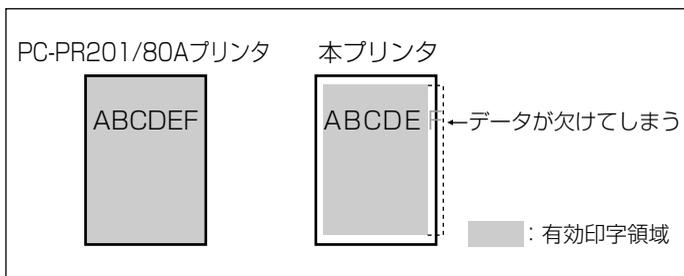
カット紙のフォーマット（実寸縦、実寸横、2/3 縦、2/3 横）の場合にのみ有効です。

「チュウオウ」

PC-PR201/80A のプリンタでカットシートフィーダを使用した場合と同様のプリント結果になります。

「ヒダリ」

PC-PR201/80Aのプリンタでカットシートフィーダを使用せずに、紙幅スケールの左端に合わせて用紙をセットした場合と同様のプリント結果になります。

重要

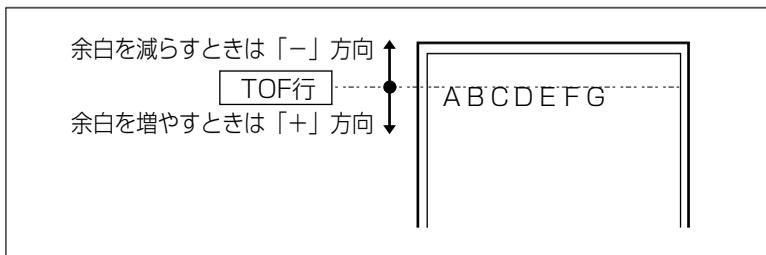
- 2/3 縦、2/3 横のページフォーマットで、「チュウオウ」に設定した場合と「ヒダリ」に設定した場合とでは、用紙サイズによっては、有効印字領域が異なることがあります。詳しくは、「N201 エミュレーションのページフォーマット」（→ P.8-7）を参照してください。

- 「ヒダリ」に設定した場合は、本プリンタの有効印字領域からはみ出ると、その分だけデータが欠けることがあります。
PC-PR201/80A のプリンタでは、印字領域に制限はありませんが、本プリンタでは、有効印字領域が用紙の端から 5 mm 内側になるためです。

上余白

-127 ～ +**000** ～ +127

それぞれのページフォーマットで設定されている 1 行目（TOF）の上端を基準に、印字開始位置を上下方向にずらします。

「+」の値で下方向、「−」の値で上方向に、印字開始位置をずらします。

メモ

- 設定値が 1 増えると、ずらす位置が約 0.35 mm（1/72"）増えます。
- 用紙の上端を基準とした実寸縦のとき、印字開始位置の目安は「-127」で -39 mm、「+000」で +6 mm、「+127」で +51 mm です。ページフォーマットごとの用紙サイズ、印字領域によって印字開始位置は変わります。

カット紙のページフォーマットの場合

上余白を調整した結果は次のようになります。

メモ

- 上余白を増やした結果、印字データがボトム位置を超える場合は、次ページの1行目の位置からプリントされます。
- 上余白を減らした場合、有効印字領域の上端を超えた部分はプリントされません。下端はボトム位置までプリントされます（ただし、ページ長を設定していない場合）。

連続用紙のページフォーマットの場合

上余白を調整した結果は次のようになります。

メモ

- 上余白を増やした場合、印字データがボトム位置を超えると、ボトム位置からページ長（初期状態の1行目からボトム位置までの範囲）までのあふれたデータはプリントされません。
- 上余白を減らした場合、有効印字領域の上端を超えた部分のデータはプリントされません。このとき、下端はページ長までのデータをプリントします。

用紙位置微調整

-127 ～ +000 ～ +127

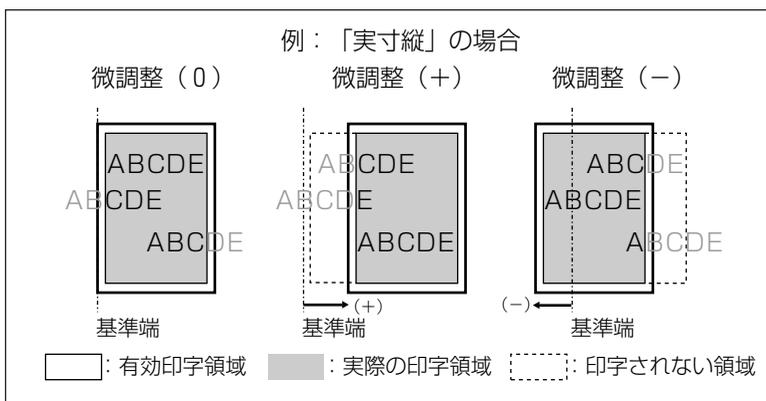
用紙の左端を基準として、ページフォーマットで設定されている印字位置を左右方向にずらします。

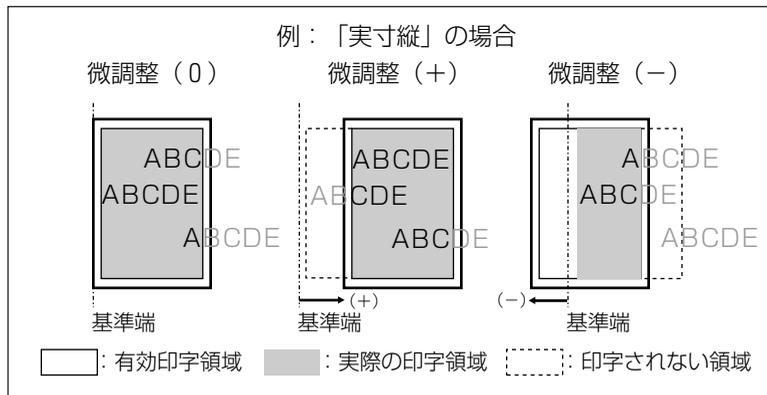
「＋」の値で左方向、「－」の値で右方向に、設定した値だけ印字開始位置をずらします。

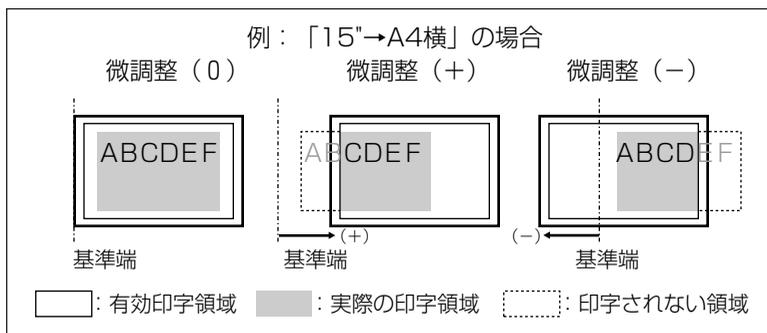
メモ

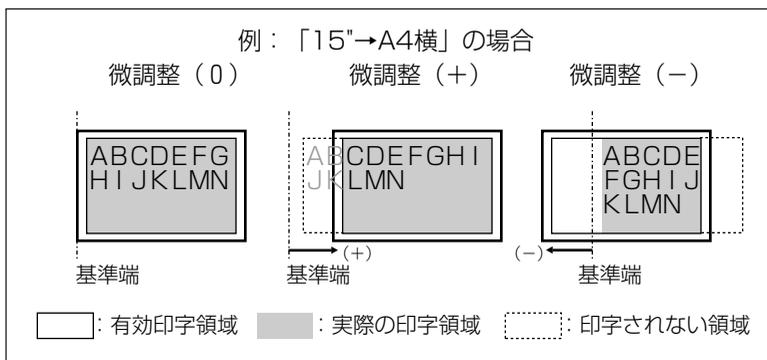
- 設定値が 1 増えると、ずらす位置が約 0.35 mm（1/72"）増えます。
- 用紙の左端を基準とした実寸縦のとき、印字開始位置の目安は「-127」で +50 mm、「+000」で +5 mm、「+127」で -40 mm です。ページフォーマットごとの用紙サイズ、印字領域モードによって印字開始位置が変わります。
- 設定後の印字位置は、用紙位置（中央 / 左端印字モード）や印字領域（標準 / ワイド領域モード）の設定によって変わります。

カット紙を中央印字モードでプリントする場合

用紙位置を調整した結果は次のようになります。

カット紙を左端印字モードでプリントする場合

用紙位置を調整した結果は次のようになります。

連続用紙を標準領域モードでプリントする場合

用紙位置を調整した結果は次のようになります。

連続用紙をワイド領域モードでプリントする場合

用紙位置を調整した結果は次のようになります。

領域

ヒョウジュン、**ワイド**

それぞれのページフォーマットにしたがったレイアウトでプリントする（標準）か、または本プリンタの有効印字領域ほぼいっぱいにプリントする（ワイド）かを設定します。連続用紙のページフォーマット（10" → A4 縦、15" → A4 横、15" → B4 横）の場合にのみ有効です。

ワイドに設定してプリントした場合、PC-PR201/80A プリンタのレイアウトとは異なりますが、ページフォーマットの印字領域の制限がなくなるため、用紙の紙面を有効に使ってプリントすることができます。レイアウトについては、「N201 エミュレーションのページフォーマット」（→ P.8-7）も併せて参照してください。

メモ　用紙のサイズが小さい場合、「ワイド」に設定しても、印字領域拡大の効果があまり上がらないことがあります。詳しくは、「ページフォーマットと印字範囲」（→ P.8-13）を参照してください。

右マージン既定値

136 ケタ、**ミギハシ**

実寸サイズでプリントするページフォーマット（実寸縦、実寸横）のときの、右マージンの位置を設定します。

「136 ケタ」に設定すると、136 桁目の位置を右マージンとします。

「ミギハシ」に設定すると、用紙の有効印字領域の右端を右マージンとします。

メモ　本項目は、実寸モード（実寸縦、実寸横）において、「用紙位置」（→ P.5-7）を「ヒダリ」に設定している場合にのみ有効です。

用紙サイズ

カレントヨウシ、**A3**、**B4**、**A4**、**B5**、**A5**、**ハガキ**

プリントする用紙のサイズを設定します。

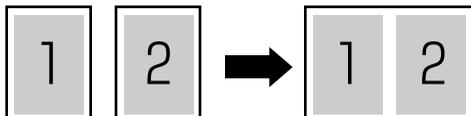
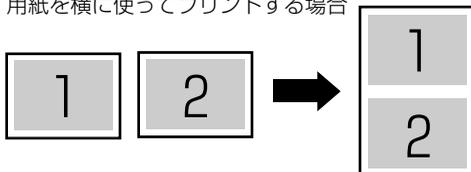
「カレントヨウシ」に設定すると、現在選択されている給紙元の用紙サイズを設定します。

メモ
- 「カレントヨウシ」以外を設定したときに、本項目で設定したサイズの用紙がセットされていないと、指定のサイズの用紙を要求するメッセージが表示されます。設定したサイズの用紙をセットしてください。
- 共通セットアップメニューの「トレイ用紙サイズ」（→ P.3-10）を「フリー」に設定して、手差しトレイからプリントする場合は、「カレントヨウシ」以外の設定値を選択してください。

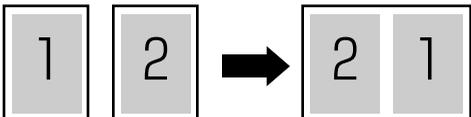
2 ページ印刷設定

シナイ、ヒダリ、ミギ

2 ページ分のデータを並べて 1 ページにプリントするかどうかを設定します。アプリケーションソフト側で作成したデータが A4 または B5 サイズの場合に限り有効です。

「ヒダリ」に設定すると、2 ページ分のデータを左または上から並べてプリントします。

用紙を縦に使ってプリントする場合

用紙を横に使ってプリントする場合

「ミギ」に設定すると、2 ページ分のデータを右または下から並べてプリントします。

用紙を縦に使ってプリントする場合

用紙を横に使ってプリントする場合

メモ

- この機能では、縮小はせずに原寸でプリントするので、アプリケーションソフト側で作成したデータが A4 サイズのときは A3 サイズの用紙にプリントされ、B5 サイズのときは B4 サイズの用紙にプリントされます。
- A4 と B5 サイズのデータを並べて 1 ページにプリントすることはできません。
- A4またはB5以外のサイズのデータを2ページ印刷しようとしても、通常の状態でプリントされます。

フォントグループの設定項目

フォントグループでは、漢字の書体やサイズ、1バイトコード表などについて設定できます。

漢字書体

ミンチョウ、ゴシック、ID

漢字などの全角文字の書体を設定します。

オプションで追加した漢字書体を使用するときは、本項目を「ID」に設定したうえで、書体をID番号で指定します。ID番号は「フォントID」（→ P.5-14）で指定します。

明朝体 ゴシック体	明朝 **ゴシック**

フォントID

001 ～ 002 ～ 999

*　本項目は、「漢字書体」を「ID」に設定した場合にのみ表示されます。

「漢字書体」（→ P.5-14）で「ID」を選択した場合に、実際に使用する書体のID番号を指定します。

重要　装着されていないオプション書体の番号を指定しないでください。

メモ　オプション書体のID番号については、「共通フォントリスト」（→ P.8-24）を参照してください。

漢字サイズ

システム、8ポイント、10ポイント、12ポイント

漢字などの全角文字のサイズを設定します。

「システム」に設定すると、現在のページフォーマットにしたがった文字サイズでプリントします。実寸縦、実寸横、10" → A4縦、15" → B4横のページフォーマットでは10ポイント相当、15 → A4横、2/3縦、2/3横のページフォーマットでは8ポイント相当です。

ゼロ書体

0、Ø

半角数字のゼロの書体を、「0」または「Ø」のいずれかから選択します。

メモ　全角文字の「0」を「Ø」にすることはできません。

国別文字

ニホン、USA、UK、ドイツ、スウェーデン

1バイトコード表に割り当てられている国別文字対応の部分に、指定の国の文字セットをセットします。

漢字グラフィックセット

JIS78、JIS90

JIS コードで使用する漢字グラフィックセットを設定します。

JIS 漢字コードには「新 JIS（JIS90）」と「旧 JIS（JIS78）」があります。新 JIS コードは、旧 JIS コードに特殊記号、罫線、漢字などを追加、変更したものです。パソコンに合わせて設定してください。

メモ
- グラフィックセットとは、パソコンからのコードに対して、どの文字を割り当てるかという取り決めです。それを示したものがコード表です。
- 新 JIS と旧 JISの漢字コード表は、本プリンタ付属の CD-ROM の「FONTLIST」フォルダに収められています。
- 漢字コードは、1978 年版の旧 JIS（JIS78）と、1990 年版の新 JIS（JIS90）に準拠しています。
- 本プリンタでは、JIS でパターンを定めていない部分のコードに、本プリンタ特有の文字などを割り当てています。

印字機能グループの設定項目

印字機能グループでは、イメージデータの補正や、登録文字、縮小文字について設定できます。

イメージの補正

シナイ、スル

矩形罫線や網かけなどのイメージデータを補正するかどうかを設定します。通常は「シナイ」に設定しておきます。次のような現象が出てしまうときに、本項目を「スル」に設定して、イメージデータを補正します。

- 罫線が離れる
- 網かけ上にすじ（白い部分）が入る
- 網かけに線が入る

メモ　本項目を「スル」に設定しても、上記のような現象が改善されない場合があります。本プリンタの解像度が PC-PR201/80A 準拠プリンタとは異なるためです。

外字サイズ

10.8 ポイント、10 ポイント

PC-PR201/80A プリンタのコントロールコマンドによって登録した 2 バイトコード文字（全角文字）の印字方法を設定します。

アプリケーションソフトで外字を繋ぎ合わせて 1 つの図形を作り、印字するときは「10.8 ポイント」に設定します。

「漢字サイズ」（→ P.5-14）が「システム」のときと同じ文字サイズになるように印字するときは「10 ポイント」に設定します。

メモ
- 「10 ポイント」に設定すると、内蔵フォントと同じ文字サイズになりますが、前後の文字と正しく接続しないことがあります。
- 「漢字サイズ」を「10 ポイント」に設定している場合や、「漢字サイズ」を「システム」に設定し、ページフォーマットが実寸縦、実寸横、10" → A4 縦、15" → B4 横に設定している場合に、本項目を設定した効果が出ます。

グラフィック

ネイティブ、コピー

ドットイメージをプリントするときの、ドットピッチ（ドットとドットの間隔）を設定します。

「ネイティブ」に設定すると、横方向のドットピッチは 1/160"（160 dpi）に設定されます。

「コピー」に設定すると、8 ビット・ドット列イメージをプリントするときに、パソコンの画面と同じ比率でプリントできるようにドットピッチは 1/80"（80 dpi）に設定されます。また、同じドットが縦方向に 2 ドット連続してプリントされます。

メモ　16 ビット以上のドット列イメージをプリントする場合は、必ずネイティブモードに設定してください。

印字動作グループの設定項目

印字動作グループでは、１行を印字したあとの改行動作について設定できます。

CR 機能

フッキノミ、フッキ／カイギョウ

復帰コード（CR）を受信したときの、印字位置の移動のしかたを設定します。

「フッキノミ」に設定すると、復帰コード（CR）を受信したときに、印字位置をその行の第一文字目（左マージン）に移動します。

「フッキ／カイギョウ」に設定すると、復帰コード（CR）を受信したときに、印字位置を次の行の第一文字目に移動します。

印字指令

CR ノミ、CR ナド

印字開始命令となる制御コードを設定します。

「CR ノミ」に設定すると、CR コードだけを印字開始命令とします。

「CR ナド」に設定すると、CR / LF / VT / FF / US / [ESC]a / [ESC]b コードを印字開始命令とします。

バッファフル

フッキ／カイギョウ、フッキノミ

印字位置が右マージンを超えた場合の印字位置の移動のしかたを設定します。

「フッキ／カイギョウ」に設定すると、印字位置が右マージンを超えたときに、次の行の第一文字目へ印字位置を移動します。

「フッキノミ」に設定すると、印字位置が右マージンを超えたときに、その行の第一文字目へ印字位置を移動します。

VFC グループの設定項目

VFC グループでは、連続用紙やカット紙のページ長について設定できます。

単票用紙長機能

ムコウ、ユウコウ

カット紙（実寸縦、実寸横、2/3 縦、2/3 横）のページ長を、操作パネルで設定したページ長にするかどうかを選択します。

「ムコウ」に設定すると、ページフォーマットで決められているページ長にしたがって改ページ動作をします。

「ユウコウ」に設定すると、操作パネルで指定したページ長（ボトム位置）にしたがって改ページ動作をします。ページ長は「用紙長設定」（→ P.5-20）で設定します。

用紙長機能

ムコウ、ユウコウ

電源をオンにしたときや、リセット処理（操作パネルで［リセット］を押すか、アプリケーションソフトからリセットコマンドを受信したときなど）を行ったときに、操作パネルで設定したページ長を有効にするかどうかを選択します。

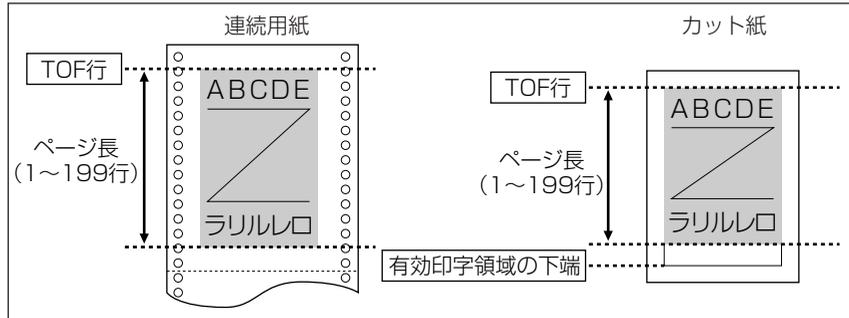
「ムコウ」に設定すると、ページフォーマットで決められているページ長に設定します。

「ユウコウ」に設定すると、操作パネルで指定されたページ長に設定します。ページ長は「用紙長設定」（→ P.5-20）で設定します。

カット紙の場合は、「単票用紙長機能」を「ユウコウ」に設定していないと、本項目の設定に関わらず、初期状態で有効になるページ長は、ページフォーマットで決められているものになります。

用紙長設定

1 ギョウ ～ 66 ギョウ～ 199 ギョウ

カット紙および連続用紙のページ長を、1ページにプリントする行数で設定します。

メモ

- 行間は1インチあたり 6 行 (6LPI) です。(LPI は、Line Per Inch の略で、1インチあたりの行数を表す単位です。)
- 設定値が 1 増えると、ページ長が約 4.2 mm（1/6"）増えます。
- 本項目は「用紙長機能」(→ P.5-19) を「ユウコウ」に設定した場合にのみ表示されます。
- カット紙の場合、それぞれのページフォーマットで決められている印字可能行数を超えるページ長を設定しても、印字可能行数で改ページが行われます。
- ミシン目スキップ行数が設定されている場合は、実際の改ページ位置は、設定したページ長の位置より上になります。

ミシン目スキップ

0 ギョウ～ 197 ギョウ

ページ長で設定されている行数のうち、下端からプリントしない (スキップする) 行数を設定します。

「0 ギョウ」に設定すると、スキップしません。

メモ

- 行間は1インチあたり 6 行 (6LPI) です。(LPI は、Line Per Inch の略で、1インチあたりの行数を表す単位です。)
- 設定値が 1 増えると、スキップされる領域が約 4.2 mm（1/6"）増えます。
- カット紙および連続用紙のページフォーマットで有効です。
- ミシン目スキップ行数を設定した場合は、実際の改ページ位置は、設定したページ長の位置より上になります。

その他のグループの設定項目

その他のグループでは、登録文字の保存方法について設定できます。

登録レベル

イチジ、エイキュウ

コントロールコマンドで登録した文字を、そのジョブの間だけ保存するのか、電源をオフにするまで保存するのかを設定します。

「イチジ」に設定すると、登録文字をジョブ中だけ保存します。ジョブが終了すると削除されます。

「エイキュウ」に設定すると、プリンタの電源をオフにするまで保存します。登録内容を削除するには、オフライン状態で［リセット］を押し、［◀］または［▶］で「ソフトリセット」を表示させ、「ハードリセット」と表示されるまで［実行］を押し続けてハードリセット操作を行います。

メモ

- プリンタはデータを受信すると、コントロールコマンドを認識してプリントを開始／終了します。この処理を「ジョブ」といいます。ジョブ中は、操作パネルのジョブランプが点灯または点滅します。
- 登録データと通常のデータとを別々に送信する場合は、「エイキュウ」に設定してください。

ESC/P 専用セットアップメニューの設定項目

この章では、ESC/P エミュレーションモードに固有の ESC/P 専用セットアップメニューで設定できる内容について説明しています。

ESC/P 専用セットアップメニューの設定項目一覧

■ 表の見かた

- 「*」印が付いている項目は、他の設定項目の内容によって表示されるときと表示されないときがあります。
- 太字で示されている設定値は、工場出荷時の値です。
- オプションのコントロールROMを装着すると、「ESC/P専用セットアップメニュー」に項目が追加されます。詳しくはオプションのコントロールROMの取扱説明書を参照してください。

■ ページレイアウトグループ

設定項目	設定値	参照ページ
ページフォーマット	**ジッスン タテ**、ジッスン ヨコ、10" → A4 タテ、15" → A4 ヨコ、15" → B4 ヨコ、B4 → A4 タテ、B4 → A4 ヨコ	P.6-4
上余白	-127 ～ **+000** ～ +127	P.6-6
用紙位置微調整	-127 ～ **+000** ～ +127	P.6-7
領域	**ヒョウジュン**、ワイド	P.6-9
右マージン既定値	**136 ケタ**、ミギハシ	P.6-9
用紙サイズ	**カレントヨウシ**、A3、B4、A4、B5、A5、ハガキ	P.6-9
2ページ印刷設定	**シナイ**、ヒダリ、ミギ	P.6-10

■ フォントグループ

設定項目	設定値	参照ページ
漢字書体	**ミンチョウ**、ゴシック、ID	P.6-11
フォント ID*	001 ～ **002** ～ 999	P.6-11
漢字サイズ	**システム**、8 ポイント、10 ポイント、12ポイント	P.6-11
文字コード	**カタカナ**、グラフィックス	P.6-12
国別文字	**ニホン**、ノルウェー、デンマーク 2、スペイン 2、ラテンアメリカ、USA、フランス、ドイツ、UK、デンマーク、スウェーデン、イタリア、スペイン	P.6-12

■ 印字機能グループ

設定項目	設定値	参照ページ
イメージの補正	**シナイ**、スル	P.6-13
縮小文字	**シナイ**、スル	P.6-13

■ 印字動作グループ

設定項目	設定値	参照ページ
改行機能	**LF コマンドヲマツ**、カイギョウ	P.6-14

■ VFC グループ

設定項目	設定値	参照ページ
連続用紙長	**システム**、1 ギョウ 〜 199 ギョウ	P.6-15
単票用紙長	**システム**、1 ギョウ 〜 199 ギョウ	P.6-16
ミシン目スキップ	**シナイ**、1 ギョウ 〜 31 ギョウ	P.6-16

■ その他のグループ

設定項目	設定値	参照ページ
登録レベル	**イチジ**、エイキュウ	P.6-17

ページレイアウトグループの設定項目

ページレイアウトグループでは、ESC/P 準拠プリンタから本プリンタへの用紙サイズの変換と、プリントする用紙サイズの設定や位置の調整などについて設定できます。

ページフォーマット

ジッスン　タテ、ジッスン　ヨコ、10" → A4　タテ、15" → A4　ヨコ、15" → B4　ヨコ、B4 → A4　タテ、B4 → A4　ヨコ

ESC/P 準拠プリンタ用の用紙サイズで作成されたデータを、本プリンタ用の用紙サイズに変換します。

アプリケーションソフトの印刷条件設定で選択した用紙サイズに合わせて設定してください。ページフォーマットの設定値の詳細やレイアウトについては、「ESC/P エミュレーションのページフォーマット」（→ P.8-14）も併せて参照してください。なお、本プリンタにセットする用紙のサイズは、ページレイアウトグループの「用紙サイズ」（→ P.6-9）で設定します。

各設定値を設定した場合の処理は次のようになります。

メモ　用紙を縦に使う場合をポートレイト、横に使う場合をランドスケープと言います。

「ジッスン　タテ」：（実寸縦）

データの用紙サイズは変換せずに、実寸でプリントします。A3、B4、A4、B5、A5、ハガキサイズのカット紙を ESC/P 準拠プリンタに縦置きにセットしたときと同じプリント結果になります。

メモ
- ページレイアウトグループの「用紙サイズ」（→ P.6-9）は、データと同じ用紙サイズに設定します。
- 「用紙サイズ」を「A3」に設定した場合にのみ、ページフォーマットの印字領域を用紙の印字領域いっぱいに広げてプリントする「ワイド領域モード」を設定できます。詳しくは、「領域」（→ P.6-9）を参照してください。

「ジッスン　ヨコ」：（実寸横）

データの用紙サイズは変換せずに、実寸でプリントします。A3、B4、A4、B5、A5、ハガキサイズのカット紙を ESC/P 準拠プリンタに横置きにセットしたときと同じプリント結果になります。

メモ
- ページレイアウトグループの「用紙サイズ」（→ P.6-9）は、データと同じ用紙サイズに設定します。
- 「用紙サイズ」を「A3」に設定した場合にのみ、ページフォーマットの印字領域を用紙の印字領域いっぱいに広げてプリントする「ワイド領域モード」を設定できます。詳しくは、「領域」（→ P.6-9）を参照してください。

「10" → A4　タテ」:（10" → A4 縦）

10" × 11" 連続用紙にプリントすることを想定して作成したデータ（80 文字× 66 行）を A4 サイズに縮小してポートレイトでプリントします。

メモ

- ページレイアウトグループの「用紙サイズ」（→ P.6-9）は A4 サイズが基本ですが、A3、B4 サイズも選択できます。
- ページフォーマットの印字領域を用紙の印字領域いっぱいに広げてプリントする「ワイド領域モード」を設定できます。詳しくは、「領域」（→ P.6-9）を参照してください。
- 10" × 11" 連続用紙のサイズは、254 mm × 279.4 mm です。

「15" → A4　ヨコ」:（15" → A4 横）

15" × 11" 連続用紙にプリントすることを想定して作成したデータ（136 文字× 66 行）を A4 サイズに縮小してランドスケープでプリントします。

メモ

- ページレイアウトグループの「用紙サイズ」（→ P.6-9）は、A4 サイズが基本ですが、A3、B4 サイズも選択できます。
- ページフォーマットの印字領域を用紙の印字領域いっぱいに広げてプリントする「ワイド領域モード」を設定できます。詳しくは、「領域」（→ P.6-9）を参照してください。
- 15" × 11" 連続用紙のサイズは、381 mm × 279.4 mm です。

「15" → B4　ヨコ」:（15" → B4 横）

15" × 11" 連続用紙にプリントすることを想定して作成したデータ（136 文字× 66 行）を B4 サイズに縮小してランドスケープでプリントします。

メモ

- ページレイアウトグループの「用紙サイズ」（→ P.6-9）は、B4 サイズが基本ですが、A3 サイズも選択できます。
- ページフォーマットの印字領域を用紙の印字領域いっぱいに広げてプリントする「ワイド領域モード」を設定できます。詳しくは、「領域」（→ P.6-9）を参照してください。
- 15" × 11" 連続用紙のサイズは、381 mm × 279.4 mm です。

「B4 → A4　タテ」:（B4 → A4 縦）

B4 サイズの実寸縦用のデータを 3/4 のサイズに縮小して A4 サイズのポートレイトでプリントします。

メモ

- ページレイアウトグループの「用紙サイズ」（→ P.6-9）は、A4 サイズが基本ですが、A3、B4 サイズも選択できます。
- ページフォーマットの印字領域を用紙の印字領域いっぱいに広げてプリントする「ワイド領域モード」を設定できます。詳しくは、「領域」（→ P.6-9）を参照してください。

「B4 → A4　ヨコ」:（B4 → A4 横）

B4 サイズの実寸横用のデータを 3/4 のサイズに縮小して A4 サイズのランドスケープでプリントします。

メモ

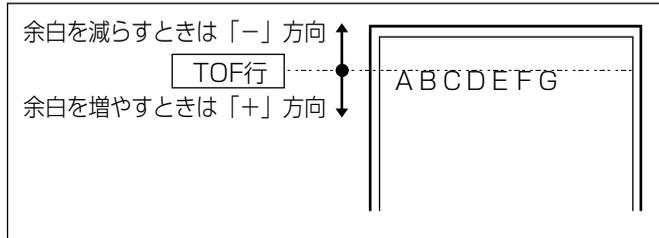
- ページレイアウトグループの「用紙サイズ」（→ P.6-9）は、A4 サイズが基本ですが、A3、B4 サイズも選択できます。
- ページフォーマットの印字領域を用紙の印字領域いっぱいに広げてプリントする「ワイド領域モード」を設定できます。詳しくは、「領域」（→ P.6-9）を参照してください。

上余白

-127 ～ +000 ～ +127

それぞれのページフォーマットで設定されている1行目（TOF）の上端を基準に、印字開始位置を上下方向にずらします。

「＋」の値で下方向、「－」の値で上方向に、印字開始位置をずらします。

メモ

- 設定値が1増えると、ずらす位置が約 0.35 mm（1/72"）増えます。
- 用紙の上端を基準とした実寸縦のとき、印字開始位置の目安は「-127」で -23 mm、「+000」で +22 mm、「+127」で +67 mm です。ページフォーマットごとの用紙サイズ、印字領域によって印字開始位置は変わります。

カット紙のページフォーマットの場合

上余白を調整した結果は次のようになります。

メモ

- 上余白を増やした結果、印字データがボトム位置を超える場合は、次ページの1行目の位置からプリントされます。
- 上余白を減らした場合、有効印字領域の上端を超えた部分はプリントされません。下端はボトム位置までプリントされます（ただし、ページ長を設定していない場合）。

連続用紙のページフォーマットの場合

上余白を調整した結果は次のようになります。

メモ

- 上余白を増やした場合、印字データがボトム位置を超えると、ボトム位置からページ長（初期状態の1行目からボトム位置までの範囲）までのあふれたデータはプリントされません。
- 上余白を減らした場合、有効印字領域の上端を超えた部分のデータはプリントされません。このとき、下端はページ長までのデータをプリントします。

用紙位置微調整

-127 ～ +000 ～ +127

用紙の左端を基準として、ページフォーマットで設定されている印字位置を左右方向にずらします。

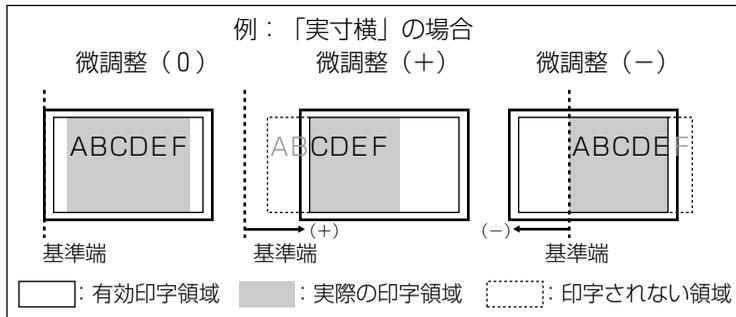
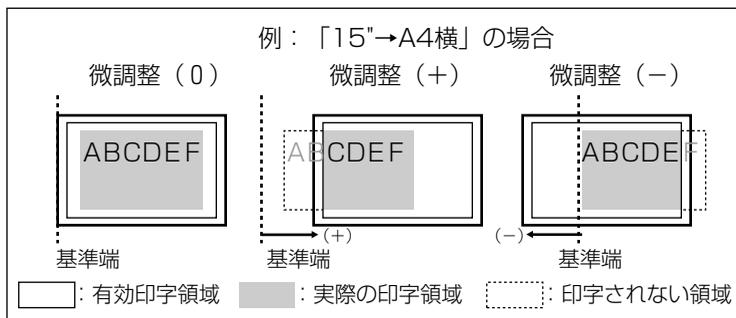
「+」の値で左方向、「−」の値で右方向に、設定した値だけ印字開始位置をずらします。

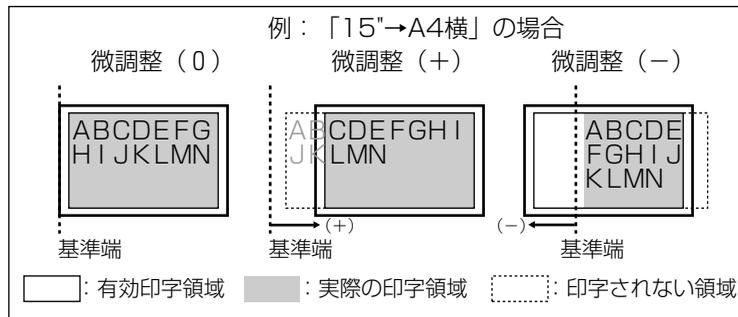
メモ

- 設定値が1増えると、ずらす位置が約 0.35 mm（1/72"）増えます。
- 用紙の左端を基準とした実寸縦のとき、印字開始位置の目安は「-127」で +50 mm、「+000」で +5 mm、「+127」で -40 mm です。ページフォーマットごとの用紙サイズ、印字領域モードによって印字開始位置が変わります。
- データに左端が欠けてプリントされる場合は、本項目の設定を調節して本プリンタの印字領域内（上下左右 5 mm 以内）に入るようにしてください。

標準領域モードでの印字動作

用紙位置を調整した結果は次のようになります。

- 実寸サイズでプリントするページフォーマットの場合

- 縮小プリントするページフォーマットの場合

ワイド領域モードでの印字動作

用紙位置を調整した結果は次のようになります。

領域

ヒョウジュン、ワイド

それぞれのページフォーマットにしたがったレイアウトでプリントする（標準）か、または本プリンタの有効印字領域ほぼいっぱいにプリントする（ワイド）かを設定します。実寸縦、実寸横で「用紙サイズ」が A3 のとき、および 10" → A4 縦、15" → A4 横、15" → B4 横、B4 → A4 縦、B4 → A4 横のページフォーマットの場合に有効です。

ワイドに設定してプリントした場合、ESC/P 準拠プリンタのレイアウトとは異なりますが、ページフォーマットの印字領域の制限がなくなるため、用紙の紙面を有効に使ってプリントすることができます。レイアウトについては、「ESC/P エミュレーションのページフォーマット」(→ P.8-14) も併せて参照してください。

メモ

用紙のサイズが小さい場合、「ワイド」に設定しても、印字領域拡大の効果があまり上がらないことがあります。詳しくは、「ページフォーマットと印字範囲」（→ P.8-13）を参照してください。

右マージン既定値

136 ケタ、ミギハシ

実寸サイズでプリントするページフォーマット（実寸縦、実寸横）のときの、右マージンの位置を設定します。

「136 ケタ」に設定すると、136 桁目の位置を右マージンとします。

「ミギハシ」に設定すると、用紙の有効印字領域の右端を右マージンとします。

用紙サイズ

カレントヨウシ、A3、B4、A4、B5、A5、ハガキ

プリントする用紙のサイズを設定します。

「カレントヨウシ」に設定すると、現在選択されている給紙元の用紙サイズを設定します。

メモ

- 「カレントヨウシ」以外を設定したときに、本項目で設定したサイズの用紙がセットされていないと、指定のサイズの用紙を要求するメッセージが表示されます。設定したサイズの用紙をセットしてください。
- 共通セットアップメニューの「トレイ用紙サイズ」（→ P.3-10）を「フリー」に設定して、手差しトレイからプリントする場合は、「カレントヨウシ」以外の設定値を選択してください。

2 ページ印刷設定

シナイ、ヒダリ、ミギ

2 ページ分のデータを並べて 1 ページにプリントするかどうかを設定します。アプリケーションソフト側で作成したデータが A4 または B5 サイズの場合に限り有効です。

「ヒダリ」に設定すると、2 ページ分のデータを左または上から並べてプリントします。

「ミギ」に設定すると、2 ページ分のデータを右または下から並べてプリントします。

メモ

- この機能では、縮小はせずに原寸でプリントするので、アプリケーションソフト側で作成したデータが A4 サイズのときは A3 サイズの用紙にプリントされ、B5 サイズのときは B4 サイズの用紙にプリントされます。
- A4 と B5 サイズのデータを並べて 1 ページにプリントすることはできません。
- A4またはB5以外のサイズのデータを2ページ印刷しようとしても、通常の状態でプリントされます。

フォントグループの設定項目

フォントグループでは、漢字の書体やサイズ、1バイトコード表などについて設定できます。

漢字書体

ミンチョウ、ゴシック、ID

漢字などの全角文字の書体を設定します。

オプションで追加した漢字書体を使用するときは、本項目を「ID」に設定したうえで、書体をID番号で指定します。ID番号は「フォントID」(→ P.6-11)で指定します。

明朝体	明朝
ゴシック体	ゴシック

フォントID

001 ～ 002 ～ 999

* 本項目は、「漢字書体」を「ID」に設定した場合にのみ表示されます。

「漢字書体」(→ P.6-11)で「ID」を設定した場合に、実際に使用する書体のID番号を指定します。

重要　装着されていないオプション書体の番号を指定しないでください。

メモ　オプション書体のID番号については、「共通フォントリスト」(→ P.8-24)を参照してください。

漢字サイズ

システム、8ポイント、10ポイント、12ポイント

漢字などの全角文字のサイズを設定します。

「システム」に設定すると、現在のページフォーマットにしたがった文字サイズでプリントします。実寸縦、実寸横、10" → A4縦、15" → B4横のページフォーマットでは10ポイント相当、15" → A4横、B4 → A4縦、B4 → A4横のページフォーマットでは8ポイント相当です。

文字コード

カタカナ、**グラフィックス**

１バイトコード表に、カタカナまたは拡張グラフィックスの文字セットをセットします。

「カタカナ」に設定すると、データに１バイトコードの文字があったとき、カタカナの１バイトコード表に対応した文字でプリントします。

「グラフィックス」に設定すると、データに１バイトコードの文字があったとき、拡張グラフィックスの１バイトコード表に対応した文字でプリントします。

メモ　この機能は、ESC/P 準拠プリンタの DIP スイッチの文字コード設定機能に対応しています。

国別文字

ニホン、ノルウェー、デンマーク２、スペイン２、ラテンアメリカ、USA、フランス、ドイツ、UK、デンマーク、スウェーデン、イタリア、スペイン

１バイトコード表に割り当てられている国別文字対応の部分に、指定の国の文字セットをセットします。

印字機能グループの設定項目

印字機能グループでは、イメージデータの補正や、登録文字、縮小文字について設定できます。

イメージの補正

シナイ、スル

矩形罫線や網かけなどのイメージデータを補正するかどうかを設定します。通常は「シナイ」に設定しておきます。次のような現象が出てしまうときに、本項目を「スル」に設定して、イメージデータを補正します。

- 罫線が離れる
- 網かけ上にすじ（白い部分）が入る
- 網かけに線が入る

メモ　本項目を「スル」に設定しても、上記のような現象が改善されない場合があります。本プリンタの解像度が ESC/P 準拠プリンタとは異なるためです。

縮小文字

シナイ、スル

１バイトコード文字(ANK 文字)を縮小してプリントするかどうかを設定します。

「スル」に設定すると、１バイトコード文字の横幅を 1/2 程度に縮小してプリントします。

メモ
- この機能は、ESC/P 準拠プリンタの DIP スイッチの縮小印字機能に対応しています。
- 15CPI の文字は縮小プリントされません。

印字動作グループの設定項目

印字動作グループでは、1 行を印字したあとの改行動作について設定できます。

改行機能

LF コマンドヲマツ、カイギョウ

復帰コード（CR）を受信したときの、印字位置の移動のしかたを設定します。

「LF コマンドヲマツ」に設定すると、パソコンから改行コード（LF）が送られるまで改行しません。復帰のみ行い、その行の第一文字目へ印字位置を移動します。

「カイギョウ」に設定すると、印字位置が右マージンまたは有効印字領域の右端を超えようとしたとき、改行コード（LF）を受信しなくても復帰／改行を行い、自動的に次の行の第一文字目へ印字位置を移動します。

メモ　この機能は、ESC/P 準拠プリンタの DIP スイッチの自動改行に対応しています。

VFC グループの設定項目

VFC グループは、連続用紙やカット紙のページ長について設定できます。

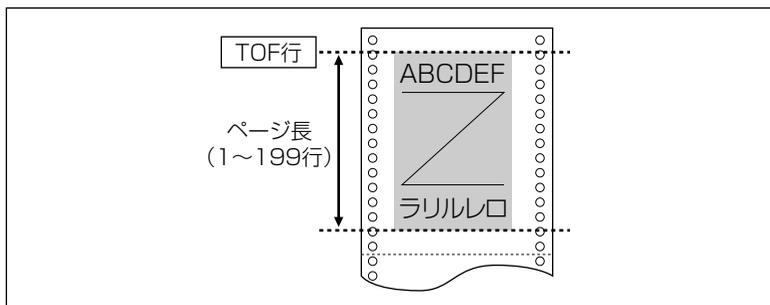
連続用紙長

システム、1 ギョウ ～ 199 ギョウ

連続用紙（10" → A4 縦、15" → A4 横、15" → B4 横）のページ長を、ページフォーマットで決められている行数に設定するか、操作パネルで指定した行数に設定するかを選択します。

「システム」に設定すると、ページフォーマットで決められているページ長に設定します。

「1 ギョウ」～「199 ギョウ」に設定すると、1 ページにプリントする行数を 1 ～ 199 行の範囲で設定します。

メモ

- 行間は 1 インチあたり 6 行（6LPI）です（LPI は、Line Per Inch の略で、1 インチあたりの行数を表す単位です）。
- 設定値が 1 増えると、ページ長が約 4.2 mm（1/6"）増えます。
- 操作パネルまたはコントロールコマンドによってミシン目スキップ行数が設定されている場合、実際の改ページ位置は、設定したページ長の位置より上になります。

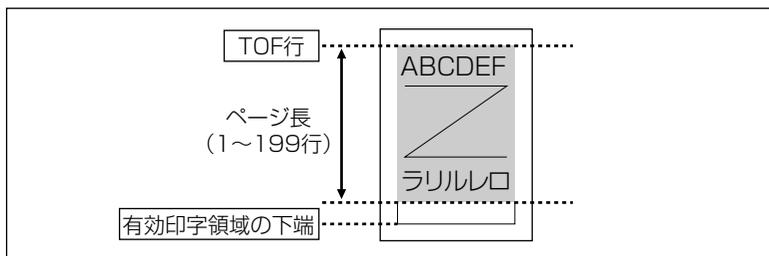
単票用紙長

システム、1 ギョウ 〜 199 ギョウ

カット紙（実寸縦、実寸横、B4 → A4 縦、B4 → A4 横）のページ長を、ページフォーマットで決められている行数に設定するか、操作パネルで指定した行数に設定するかを選択します。

「システム」に設定すると、ページフォーマットで決められているページ長に設定します。

「1 ギョウ」〜「199 ギョウ」に設定すると、1 ページにプリントする行数を 1 〜 199 行の範囲で設定します。

メモ

- 行間は 1 インチあたり 6 行（6LPI）です（LPI は、Line Per Inch の略で、1 インチあたりの行数を表す単位です）。
- 設定値が 1 増えると、ページ長が約 4.2 mm（1/6"）増えます。
- 操作パネルまたはコントロールコマンドによってミシン目スキップ行数が設定されている場合、実際の改ページ位置は、設定したページ長の位置より上になります。

ミシン目スキップ

シナイ、1 ギョウ 〜 31 ギョウ

ページ長で設定されている行数のうち、下端からプリントしない（スキップする）行数を設定します。

「シナイ」に設定すると、スキップしません。

メモ

- 行間は 1 インチあたり 6 行（6LPI）です（LPI は、Line Per Inch の略で、1 インチあたりの行数を表す単位です）。
- 設定値が 1 増えると、スキップされる領域が約 4.2 mm（1/6"）増えます。
- 10"→A4 縦、15"→A4 横の連続用紙のページフォーマットと、B4→A4 縦、B4→A4 横のワイドモードで有効です。
- ミシン目スキップ行数を設定した場合、実際の改ページ位置は、設定したページ長の位置より上になります。

その他のグループの設定項目

その他のグループでは、登録文字の保存方法について設定できます。

登録レベル

イチジ、エイキュウ

コントロールコマンドで登録した文字を、そのジョブの間だけ保存するのか、電源をオフにするまで保存するのかを設定します。

「イチジ」に設定すると、登録文字をジョブ中だけ保存します。ジョブが終了すると削除されます。

「エイキュウ」に設定すると、プリンタの電源をオフにするまで保存します。登録内容を削除するには、オフライン状態で［リセット］を押し、［◀］または［▶］で「ソフトリセット」を表示させ、「ハードリセット」と表示されるまで［実行］を押し続けてハードリセット操作を行います。

メモ

- プリンタはデータを受信すると、コントロールコマンドを認識してプリントを開始／終了します。この処理を「ジョブ」といいます。ジョブ中は、操作パネルのジョブランプが点灯または点滅します。
- 登録データと通常のデータとを別々に送信する場合は、「エイキュウ」に設定してください。

セットアップ以外のメニューの設定項目

この章では、セットアップメニュー以外のメニューで設定できる内容について説明しています。

セットアップ以外のメニューの設定項目一覧

■ 表の見かた

- 「*1」印の付いている項目や設定値は、オプション品の有無で表示されるときと表示されないときがあります。
- 「*2」印の付いている項目は、LBP3800 のみ表示されます。
- 太字で表示されている項目は、工場出荷時の値です。

■ ユーティリティメニュー

設定項目	設定値	参照ページ
ステータスプリント	–	P. 7-4
エミュレーションのユーティリティ *1	–	P. 7-4
LIPS ユーティリティ	ステータスプリント、フォントリスト、オーバレイリスト、マクロリスト、フォームリスト、オーバレイプリント	P. 7-4
N201 ユーティリティ	ステータスプリント	P. 7-5
ESC/P ユーティリティ	ステータスプリント	P. 7-6
フォントリスト	–	P. 7-6
クリーニング 1 用紙	–	P. 7-6
クリーニング 1 実行	–	P. 7-6
クリーニング 2 実行	–	P. 7-7
標準 N/W プリント *2	–	P. 7-7
拡張 I/F プリント *1	–	P. 7-7
印字位置プリント	–	P. 7-7

■ ジョブメニュー

設定項目	設定値	参照ページ
印刷履歴リスト	–	P. 7-8

■ リセットメニュー

設定項目	設定値	参照ページ
ソフトリセット／ハードリセット	−	P.7-9
排出	−	P.7-10

■ 給紙選択メニュー

設定項目	設定値	参照ページ
給紙モード	**ジドウ**、カセット 1、カセット 2*1、カセット 3*1、カセット 4*1、トレイ	P.7-11
トレイ用紙サイズ	**A4**、A4R、B4、A3、LT、LTR、LG、LD、EX、フリー、ユーザペーパー、ハガキ、オウフク　ハガキ、4 メンハガキ、フウトウ　Y4、フウトウ　Y2、フウトウ　K2、A5、B5、B5R	P.7-12
両面印刷*1	**シナイ**、スル	P.7-12

ユーティリティメニューの設定項目

ユーティリティメニュー では、プリンタ内部の状態や、搭載されているフォントなどの情報をプリントすることができます。

メモ
- 共通ステータスプリント、共通フォントリスト、標準 N/W プリント、印字位置プリントの出力サンプルについては、「動作モード共通のリスト」（→ P.8-23）を参照してください。LIPS のステータスプリントとフォントリスト、N201 のステータスプリント、ESC/P のステータスプリントの出力サンプルについては、「動作モード専用のリスト」（→ P.8-26）を参照してください。
- 各リストは、現在選択されている給紙元の用紙サイズでプリントされます。
- 共通ステータスプリントは、用紙サイズに合わせて拡大／縮小されます。ただし、画像が欠けたり、余白があいたりすることがあります。
- 共通ステータスプリント以外のリストは、A4 サイズの用紙にプリントすることをおすすめします。A4 サイズ以外の用紙を使用すると、画像が欠けたり、余白があいたりします。

ステータスプリント（共通ステータスプリント）

－

搭載しているメモリ（RAM）の容量や、共通セットアップメニューで設定した内容などがプリントされます。動作モードに関係なく選択できます。

エミュレーションのユーティリティ

－

* 本項目は、オプションのコントロール ROM が装着されていて、「動作モード選択」の項目が「ジドウ　センタク」またはオプションのエミュレーションに設定されている場合にのみ表示されます。

オプションのエミュレーションのユーティリティを実行します。

詳しい内容は、オプションのコントロール ROM に添付の取扱説明書を参照してください。

LIPS ユーティリティ（LIPS 専用ユーティリティ）

ステータスプリント、フォントリスト、オーバレイリスト、マクロリスト、フォームリスト、オーバレイプリント

* 本項目は、「動作モード選択」の項目が「ジドウ　センタク」または「LIPS」に設定されている場合にのみ表示されます。

LIPS モードでのプリンタの内部情報をプリントします。

「ステータスプリント」

共通ステータスプリントの内容に、LIPS 専用セットアップメニューで設定した内容を加えてプリントされます。

「フォントリスト」

LIPS モードで使用できるフォントの一覧がプリントされます。

「オーバレイリスト」

オーバレイ領域に登録されているフォーマットデータの番号とサイズを一覧にしてプリントします。登録されているフォーマットデータがない場合は、何もプリントされません。

「マクロリスト」

マクロ領域に登録されているマクロの番号とサイズ、マクロが保存されている場所（RAM、オプション ROM など）を一覧にしてプリントします。登録されているマクロがない場合は、何もプリントされません。

「フォームリスト」

フォーム領域に登録されているフォームデータと保存されている場所（RAM）、登録サイズなどを一覧にしてプリントします。登録されているフォームデータがない場合は、何もプリントされません。

「オーバレイプリント」

オーバレイ領域に登録されているフォーマットデータのうち、LIPS 専用セットアップメニューのオーバレイ 1、2 に設定されている番号のオーバレイの内容がプリントされます。オーバレイ 1、2 ともに設定されている場合は、両方の内容がプリントされます。設定されていない場合は何もプリントされません。

N201 ユーティリティ（N201 専用ユーティリティ）

ステータスプリント

* 本項目は、「動作モード選択」の項目が「ジドウ　センタク」または「N201」に設定されている場合にのみ表示されます。

N201 エミュレーションモードでのプリンタの内部情報をプリントします。

「ステータスプリント」

共通ステータスプリントの内容に、N201 専用セットアップメニューで設定した内容を加えてプリントされます。

ESC/P ユーティリティ（ESC/P 専用ユーティリティ）

ステータスプリント

* 本項目は、「動作モード選択」の項目が「ジドウ　センタク」または「ESC/P」に設定されている場合にのみ表示されます。

ESC/P エミュレーションモードでのプリンタの内部情報をプリントします。

「ステータスプリント」

共通ステータスプリントの内容に、ESC/P 専用セットアップメニューで設定した内容を加えてプリントされます。

フォントリスト（共通フォントリスト）

−

本プリンタに搭載されているフォントの ID 番号、名称、サンプルの一覧がプリントされます。動作モードに関係なく選択できます。

メモ　各エミュレータ内でのみ登録されるフォントは出力されません。

クリーニング 1 用紙

−

プリンタ内部の定着ローラをクリーニングするための用紙をプリントします。手差しトレイに A4 またはレターサイズの用紙を横置きでセットし、「クリーニング 1　ヨウシ」を実行します。

クリーニング 1 実行

−

プリントしたクリーニング用紙を使って、定着ローラのクリーニングを行います。プリントしたクリーニング用紙のプリント面を下にして手差しトレイにセットし、「クリーニング 1　ジッコウ」を実行すると、セットしたクリーニング用紙が給紙され、クリーニングを行います。

メモ

- 定着ローラのクリーニング操作については、ユーザーズガイド「第 4 章 日常のメンテナンス」を参照してください。
- クリーニング用紙を使って、定着ローラのクリーニングを行っても、プリントした用紙の表面や裏面に黒点状の汚れが付着するような場合は、A4 サイズの白紙を手差しトレイにセットして、「クリーニング 1　ジッコウ」を再度行ってください。

クリーニング 2 実行

−

プリンタ内部の転写ローラ、感光ドラムのクリーニングを行います。

「クリーニング 2　ジッコウ」を実行すると、自動的にクリーニングを行います。

重要　本項目を頻繁に行うと、転写ローラ、感光ドラムの寿命が短くなる場合があります。

メモ　転写ローラ、感光ドラムのクリーニング操作については、ユーザーズガイド「第 4 章 日常のメンテナンス」を参照してください。

標準 N/W プリント

−

*　本項目は、LBP3800 のみ表示されます。

本プリンタに内蔵されているプリントサーバのバージョン、設定内容などがプリントされます。

拡張 I/F プリント

−

*　本項目は、LBP3700 にオプションのプリントサーバが装着されている場合などに表示されます。

オプションで装着したプリントサーバの名称、バージョン、設定内容などがプリントされます。

印字位置プリント

−

「印字位置調整」（→ P.3-40）で設定した印字位置がプリントされます。プリント結果で「印字位置調整」の設定を確認することができます。

メモ　印字位置調整の操作については、ユーザーズガイド「第 4 章 日常のメンテナンス」を参照してください。

ジョブメニューの設定項目

ジョブメニューでは、印刷履歴をプリントすることができます。

印刷履歴リスト

–

印刷したジョブの履歴をプリントします。

印刷履歴リストには、ファイル名や印刷日時などがプリントされます。

メモ

- 印刷履歴がない場合は、何もプリントされません。
- 印刷履歴リストには、最大 32 ジョブの履歴がプリントされます。

リセットメニューの設定項目

リセットメニューでは、プリンタのリセット（ソフトリセット、ハードリセット）やプリンタに残っているプリントデータを排出することができます。

ソフトリセット／ハードリセット

－

トラブルが発生したときや、プリントを中止したいときのプリンタのリセットを行います。

ソフトリセットを行うと、現在実行中の処理の中止やプリンタメモリ内のジョブ、受信したプリントデータや処理中のジョブを消去します。ハードリセットを行うと、すべての処理を中止しジョブを消去します。

ソフトリセットを行うには、リセットメニューで「ソフトリセット」を選択し［実行］を押します。

ハードリセットを行うには、リセットメニューで「ソフトリセット」を選択し［実行］を 3 秒以上押して「ハードリセット」を表示させ、指をキーから離します。

重要

- 排紙待ちなど、実行中のデータがないときは、ソフトリセットができない場合があります。そのようなときは、ハードリセットを行ってください。
- ソフトリセットを行うには、必ずパソコン側でプリント中止の操作を行ってからにしてください。
- ソフトリセットまたはハードリセットを行うと、そのときプリント中のデータやすべてのインタフェースで受信中のデータは消去されますので、再度パソコンからプリントしなおしてください。
- ソフトリセットまたはハードリセットを行うと、他のインタフェースのデータでも、すでにメモリに受信されたデータはすべて消去されます。ネットワークで使用しているときは、他のパソコンからのデータに影響しないようにリセットを行ってください。
- データの受信中にハードリセットをした場合、まだメモリに受信していないデータは、リセット処理後に受信されます。ただし、正しくプリントされない場合があります。

排出

ー

パソコン側でプリントを中止した場合や受信したデータが１ページ分に満たない場合には、プリンタのメモリにプリントデータが残ってジョブが正しく終了しないことがあります。そのままでは、次のデータを受け取ることができず、次のプリントができません。このようなときは、本項目の操作を行って強制的にプリントデータを排出してください。

重要 データを排出したときは、プリント中のデータは消されますので、再度パソコンからプリントしなおしてください。

メモ

- プリントデータがプリンタのメモリに残ったまま、またはプリントデータがないのにジョブが終了しない場合、ジョブランプが点灯しています。
- ジョブの「タイムアウト」が設定されているときは、設定されている時間が経過すると、１ページ分に満たないデータも自動的に排出されます。工場出荷時の状態では、ジョブの「タイムアウト」は「15 ビョウ」に設定されています。
- 排出の操作を行ってもジョブランプが消灯しないときは、ソフトリセットを行ってください。（→ P.7-9）

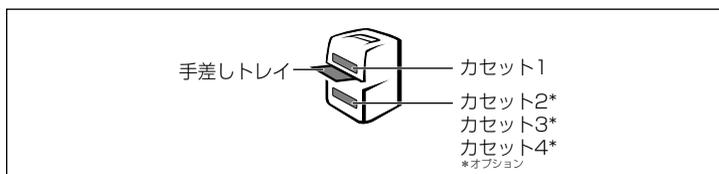
給紙選択メニューの設定項目

給紙選択メニューでは、どの給紙元から給紙するかや、手差しトレイにセットする用紙サイズを設定することができます。

給紙モード

ジドウ、カセット 1、カセット 2*、カセット 3*、カセット 4*、トレイ

* 「カセット 2」、「カセット 3」、「カセット 4」は、オプションのペーパーフィーダが装着されている場合にのみ表示されます。

給紙するカセットやトレイなどを選択します。選択後、該当する位置の給紙元表示ランプが点灯します。

メモ

- 装着しているカセット、手差しトレイは、通常は自動給紙選択の対象となりますが、対象から外すこともできます。
- 自動給紙選択で、2 つ以上の給紙元に同じサイズの用紙がセットされている場合は、給紙元表示ランプに関係なく、上段の給紙元から給紙されます。用紙がなくなると、同じサイズの用紙がセットされている他の給紙元へ自動的に切り替わります。
- 「用紙不一致時トレイ」(→ P.3-12)が「ツカウ」に設定されている場合は、本項目の設定は無視され、給紙元の対象となっている給紙カセットに受信したデータの用紙がセットされていない場合は、手差しトレイから給紙します。
- 手差しトレイから給紙する場合は、セットした用紙のサイズをあらかじめ設定しておく必要があります。工場出荷時の設定は、「A4」に設定されています。
- A4、B5、レターサイズの用紙をセットするときの置きかたは、共通セットアップメニューの給紙グループの「用紙の向き」(→ P.3-11)の設定と合わせてください。

トレイ用紙サイズ

A4、A4R、B4、A3、LT、LTR、LG、LD、EX、フリー、ユーザペーパー、ハガキ、オウフク　ハガキ、4 メンハガキ、フウトウ　Y4、フウトウ　Y2、フウトウ　K2、A5、B5、B5R

手差しトレイにセットした用紙サイズを設定します。

メモ

- 本項目を「フリー」に設定すると、1 枚ずつ違うサイズの用紙にプリントしたいときなどに便利です。ただし、アプリケーションソフトなどで設定した用紙サイズと異なるサイズの用紙がセットされている場合、正しくプリントされません。「特殊モード J」(→ P.3-41）を「ツカワナイ」に設定している場合は、エラーメッセージが表示され、プリントが中止されることがあります。
- 「ユーザペーパー」は、アプリケーションソフトなどで定形以外のサイズを独自に設定してプリントしたいときに選択します。プリント中に用紙サイズ交換を要求するメッセージが表示される場合は、［オンライン］を押してエラーを解除してプリントしてください。
- 「LT」はレターに、「LG」はリーガルに、「LD」はレジャーに、「EX」はエグゼクティブに対応しています。
- 「フウトウ　Y4」は洋形 4 号に、「フウトウ　Y2」は洋形 2 号に、「フウトウ　K2」は角形 2 号に対応していますが、種類によってはプリントできないものもあります。また、有効印字領域は、上下左右の用紙端から 10 mm 内側までとなります。（LIPS プリンタドライバの［仕上げ詳細］で「印字領域を広げて印刷する」にチェックした場合は、有効印字領域を用紙の端近くまで広げることができます。詳しくは、プリンタドライバのヘルプを参照してください。）
- 「オウフク　ハガキ」の有効印字領域は、往復ハガキを広げた状態で、上下左右の用紙端から 5mm 内側までとなります。（LIPS プリンタドライバの［仕上げ詳細］で「印字領域を広げて印刷する」にチェックした場合は、有効印字領域を用紙の端近くまで広げることができます。詳しくは、プリンタドライバのヘルプを参照してください。）
- 共通セットアップメニューの給紙グループの「トレイ用紙サイズ」(→ P.3-10）でも同様の設定ができます。

両面印刷

シナイ、スル

* 本項目は、オプションの両面ユニットを装着している場合にのみ表示されます。

用紙の片面にプリントするか両面にプリントするかを設定します。

「スル」に設定すると、用紙の両面にプリントします。

通常、Windows パソコンや Macintosh パソコンからプリントする場合は、プリンタドライバで両面印刷を設定します。MS-DOS や UNIX などを OS とするパソコンからプリントする場合で、両面印刷が設定できないときは、本項目で設定してください。

メモ

- A3、B4、A4、B5、A5、レジャー、リーガル、レター、エグゼクティブサイズの普通紙のみ自動両面プリントできます。詳しくはユーザーズガイド「第３章 給紙・排紙のしかた」を参照してください。
- ロゴ入りの用紙などに自動両面プリントするときは、次のように用紙をセットしてください。
  - ・プリンタ本体の給紙カセット（カセット１）や手差しトレイからプリントするときは、１ページ目のプリント面を下にしてセットします。
  - ・ペーパーフィーダの給紙カセット（カセット２、カセット３、カセット４）からプリントするときは、１ページ目のプリント面を上にしてセットします。
- 共通セットアップメニューの給紙グループの「両面印刷」（→ P.3-13）でも同様の設定ができます。

付録

8 CHAPTER

この章では、LIPS、N201、ESC/P の各モードの参考情報や各種リストの内容などについて説明しています。

文字セットコード表とコントロールコマンドリストについて

文字セットコード表

本プリンタ内蔵フォントのコード表（LIPS、N201、ESC/P）が、本プリンタ付属のCD-ROMの［FONTLIST］フォルダに収められています。詳しくは、［FONTLIST］フォルダ内のReadmeファイルを参照してください。

コントロールコマンドリスト

本プリンタが標準で対応している3つのコントロールコマンド（LIPS、N201エミュレーション、ESC/Pエミュレーション）の機能、書式、コード、パラメータをまとめたリストが、本プリンタ付属のCD-ROMの［COMLIST］フォルダに収められています。LIPSコントロールコマンドは［LIPSCONT.TXT］というファイル名で、N201エミュレーションコマンドは［N201CONT.TXT］というファイル名で、ESC/Pエミュレーションコントロールコマンドは［ESCPCONT.TXT］というファイル名で入っています。テキストファイルですので、テキストエディタなどを使ってご覧ください。

メモ　LIPSコントロールコマンドのさらに詳細な書式、使用例については、オプションの「プログラマーズマニュアル」を参照してください。

LIPS 内蔵フォント

■ **文字セットの属性について**

各文字セットは、次のような属性があります。

- 書体
  書体には、「明朝体」「ゴシック体」「ラインプリンタ」「ガーランド」など多数の種類があります。
- グラフィックセット
  あるグラフィックセットを選択すると、文字コードに対応するフォントパターンが決まります。グラフィックセットには、「ROMA」「KATA」「HIRA」といった各国語の文字に対応したものや、「N_hKEI」といった罫線や記号などがあります。
- 文字ピッチ
  文字をプリントする間隔です。固定ピッチでは、単位は「CPI（1インチあたりの文字数）」で示され、コマンドで固定した文字ピッチでプリントされます。「プロポーショナル」の文字ピッチは固定ピッチではなく、各文字によって異なります。
- サイズ
  文字の大きさをポイント数で示します。単位は「ポイント」で示します。1ポイントは約 0.35mm（1/72"）です。「スケーラブル」のときは、属性として一定の文字サイズはありません。
- スタイル
  スタイルには「直立体（Upright）」と「イタリック体（Italic）」があります。
- 太さ
  文字の太さには「標準（Medium）」「ボールド（Bold）」「ライト（Light）」があります。

■ LIPS II⁺内蔵フォント一覧

文字セット名称の後にはグラフィックセットを付けて使用します。

例） ALP10.XXX → ALP10.ROMA

1 バイトビットマップフォント

書体名	文字セット名称	グラフィックセット	文字ピッチ	サイズ	スタイル	太さ
ラインプリンタ	ALP10 . X X X	ROMA N_USA	10.00	12.00	直立体	標準
	ALP15 . X X X	N_JPN KATA	15.00	7.20		
	ALP1125 . X X X		11.25	9.60		
明朝体	A1224M . X X X	ROMA N_USA	20.00	7.20	直立体	標準
	A1632M . X X X	N_JPN KATA	15.00	9.60		
	A2040M . X X X	HIRA N_hKEI	12.00	12.00		
	A2412M . X X X	ROMA N_USA	10.00	3.60		
	A3216M . X X X	N_JPN KATA	7.50	4.80		
	A4020M . X X X		6.00	6.00		
ゴシック体	A1224G . X X X	ROMA N_USA	20.00	7.20	直立体	標準
	A1632G . X X X	N_JPN KATA	15.00	9.60		
	A2040G . X X X	HIRA N_hKEI	12.00	12.00		
	A2412G . X X X	ROMA N_USA	10.00	3.60		
	A3216G . X X X	N_JPN KATA	7.50	4.80		
	A4020G . X X X		6.00	6.00		
Garland	Garland10 . X X X	ROMA N_Jpn	10.00	10.80	直立体	標準
	Garland12 . X X X	N / USA N / GER	12.00			
	Garland17 . X X X	N / SWD N / JPN	17.15			
	GarlandPS11 . X X X	N / UK N_UK	プロポーショナル			
		N_USA N_SWD				
		N_JPN N_GER				
		N_KATA N_HIRA				
		N_GRF				

2 バイトビットマップフォント

書体名	文字セット名称	グラフィックセット	文字ピッチ	サイズ	スタイル	太さ
明朝体	K24M . X X X	J78 J83	10.00	7.20	直立体	標準
	K32M . X X X		7.50	9.60		
	K40M . X X X		6.00	12.00		
ゴシック体	K24G . X X X		10.00	7.20		
	K32G . X X X		7.50	9.60		
	K40G . X X X		6.00	12.00		

■ LIPS III ／ IV 内蔵フォント一覧

文字セット名称の後にはグラフィックセットを付けて使用します。

例） Ncourier10.XXX → Ncourier10.ISO_UK

グラフィックセットの「*① ～ ⑥」については、次ページの表を参照してください。

1 バイトビットマップフォント

書体名	文字セット名称	グラフィックセット	文字ピッチ	サイズ	スタイル	太さ
Courier	Ncourier10 . X X X	*①②③④	10.00	12.00	直立体	標準
	Ncourier10 I . X X X				イタリック体	
	Ncourier10 B . X X X				直立体	ボールド
	Ncourier15 . X X X	*①②③	15.00	8.16		標準
	Ncourier17 . X X X	*④	16.66	8.16		
	Ncourier20 . X X X	*①②③	20.00	7.20		
		*④	13.60	8.16		

1 バイトスケーラブルフォント

書体名	文字セット名称	グラフィックセット	文字ピッチ	サイズ	スタイル	太さ
明朝体	Mincho-Medium-H.XXX	ROMA KATA HIRA	固定	スケーラブル	直立体	標準
	Mincho-Medium-HPS.XXX	ROMA KATA	プロポーショナル			
ゴシック体	Gothic-Medium-H.XXX	ROMA KATA HIRA	固定	スケーラブル	直立体	標準
	Gothic-Medium-HPS.XXX	ROMA KATA	プロポーショナル			
ラインプリンタ	LinePrinter-Bold .XXX	ROMA KATA	固定	スケーラブル	直立体	ボールド
Courier	Ncourier .XXX	*①②③⑤⑥	固定	スケーラブル	直立体	標準
	Ncourier-Bold .XXX					ボールド
	Ncourier-Italic .XXX				イタリック体	標準
	Ncourier-BoldItalic .XXX					ボールド
Swiss	Swiss .XXX	*①②③⑤⑥	プロポーショナル	スケーラブル	直立体	標準
	Swiss-Bold .XXX					ボールド
	Swiss-Oblique .XXX				イタリック体	標準
	Swiss-BoldOblique.XXX					ボールド
Dutch	Dutch-Roman .XXX	*①②③⑤⑥	プロポーショナル	スケーラブル	直立体	標準
	Dutch-Bold .XXX					ボールド
	Dutch-Italic .XXX				イタリック体	標準
	Dutch-BoldItalic .XXX					ボールド
Symbol	Symbol .XXX	SYML SYMR	プロポーショナル	スケーラブル	直立体	標準

メモ　1 バイトビットマップフォント表と 1 バイトスケーラブルフォント表の「*① ～ ⑥」の部分には、次のようなグラフィックセットが入ります。

①	ISO_UK ISO_USA ISO_S/F ISO_N/D ISO_JPN ISO_GER ISO_FRC ISO_ITY ISO_SPN
②	88_UK 92_NL 92_UK 92_SWD 92_GER 92_FRC 96M_UK 96M_USA 96M_S/F 96M_N/D 96M_GER 96M_FRC 96X_USA 96P_UK 96P_USA 96P_S/F 96P_NOR 96P_GER 96P_FRC
③	CN_CND CN_NL CN_SWS CN_UK CN_USA CN_SWD CN_N/D CN_JPN CN_GER CN_FRC
④	IBMR1 IBMR2 IBM850 IBMP IBM860 IBM863 IBM865 IBML
⑤	IBMR1 IBMR2 IBM850 IBM819 IBMP IBM860 IBM863 IBM865 IBM1004 IBML IBML2 Win31L Win31R TURKISH
⑥	PSR PSL

2 バイトスケーラブルフォント

書体名	文字セット名称	グラフィックセット	文字ピッチ	サイズ	スタイル	太さ
明朝体	Mincho-Medium.XXX	J78 J90	固定	スケーラブル	直立体	標準
	Mincho-Medium-PS.XXX		プロポーショナル			
角ゴシック体	Gothic-Medium.XXX	J78 J90	固定	スケーラブル	直立体	標準
	Gothic-Medium-PS.XXX		プロポーショナル			

N201 エミュレーションのページフォーマット

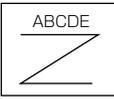
N201 エミュレーションモードでプリントするときのページフォーマットは、以下のとおりです。

メモ

- 「2/3 縦」および「2/3 横」では中央印字モードと左端印字モードとで用紙サイズによって印字領域が異なります。
- 「2/3 縦」および「2/3 横」の中央印字モードでは、PC-PR201/80A プリンタの印字範囲を 2/3 に縮小して、用紙のほぼ中央にプリントします。
- 「2/3 縦」および「2/3 横」の左端印字モードでは、印字データを横方向、縦方向とも 2/3 に縮小して、本プリンタの有効印字領域の左端から右端までを印字領域としてプリントします。
- アプリケーションソフトで設定した用紙サイズに合わせて、プリンタ側の用紙サイズも変更します。N201 専用セットアップメニューの「用紙サイズ」（→ P.5-12）で設定します。「カレント用紙」に設定すると、用紙サイズに関係なく現在選択されている給紙元から給紙されます。
- 「10"→A4 縦」、「15"→A4 横」、「15"→ B4 横」では用紙の余白を有効に使ってプリントできるワイド領域モードが使えます。
- 10"× 11"の連続用紙の 1 ページあたりのサイズは、254mm × 279.4mm です。15"× 11"の連続用紙の 1 ページあたりのサイズは、381mm × 279.4mm です。

■ N201 エミュレーションページフォーマット

設定値名	実寸縦	実寸横
ページフォーマット	カット紙の場合のページフォーマット PC-PR201/80A：縦置き ABCDE 本プリンタ：縦置き ABCDE／横置き ABCDE PC-PR201/80Aプリンタにカット紙を縦置きにセットしてプリントするときのフォーマット。PC-PR201/80Aプリンタと同じ改行ピッチ、文字間隔で、実寸、ポートレイトでプリントします。	PC-PR201/80A：横置き ABCDE 本プリンタ：縦置き ABCDE／横置き ABCDE PC-PR201/80Aプリンタにカット紙を横置きにセットしてプリントするときのフォーマット。PC-PR201/80Aプリンタと同じ改行ピッチ、文字間隔で、実寸、ランドスケープでプリントします。
用紙サイズ	A3、B4、A4、B5、A5、ハガキサイズ。N201設定メニューの「用紙位置」で「中央」（カットシートフィーダ使用）と「左」（カットシートフィーダ不使用）を選択できます。	「実寸縦」と同じです。
印字文字	初期状態で10ポイントのフォントです。	「実寸縦」と同じです。
イメージの印字	プリンタの解像度が異なるため、PC-PR201/80Aプリンタとは印字結果が若干異なります。	「実寸縦」と同じです。
印字領域	A4サイズ 6mm／5mm／5mm／6mm 印字領域	A4サイズ 6mm／5mm／5mm／6mm 印字領域
第一文字目の印字位置	先頭行（TOF行）の左マージン位置です。	「実寸縦」と同じです。
右マージン	用紙サイズに関係なく初期状態で345.4mm（13.6”）、またはN201設定メニューやコントロールコマンドで設定した右マージン位置になります。（有効印字領域の右端を超えた場合は、はみ出たデータはプリントされません）	「実寸縦」と同じです。
ボトム位置	PC-PR201/80Aプリンタのカットシートフィーダの用紙エンド検出とほぼ同じ位置、またはN201設定メニューやコントロールコマンドで設定したページ長になります。	「実寸縦」と同じです。

2/3縦		2/3横	
カット紙の場合のページフォーマット			
PC-PR201/80A	本プリンタ	PC-PR201/80A	本プリンタ
縦置き ABCDE	縦置き ABCDE / 横置き ABCDE	横置き ABCDE	縦置き ABCDE / 横置き ABCDE
PC-PR201/80Aプリンタに縦置きにセットしたカット紙を縦方向、横方向ともに2/3に縮小してプリントするときのフォーマット。用紙のほぼ中央にポートレイトでプリントします。		PC-PR201/80Aプリンタに横置きにセットしたカット紙を縦方向、横方向ともに2/3に縮小してプリントするときのフォーマット。用紙のほぼ中央にランドスケープでプリントします。	
「実寸縦」と同じです。		「実寸縦」と同じです。	
初期状態で8ポイントのフォントを、若干縮小して印字します。		「2/3縦」と同じです。	
プリンタの解像度の違いや縮小印刷のため、PC-PR201/80Aプリンタの印字結果とは見た目が異なります。		「2/3縦」と同じです。	
中央印字モード（B4サイズの場合）: 上6mm、下6mm、左13mm、右13mm 左端印字モード（A4/A3/B5/B4サイズの場合）: 上6mm、下6mm、左5mm、右5mm ■ 印字領域		中央印字モード（A4サイズの場合）: 上6mm、下6mm、左33mm、右33mm 左端印字モード（A4/A3/B5/B4サイズの場合）: 上6mm、下6mm、左5mm、右5mm ■ 印字領域	
「実寸縦」と同じです。		「実寸縦」と同じです。	
用紙サイズに関係なく、初期状態で345.4mmです。(13.6”)（有効印字領域の右端を超えた場合は、はみ出たデータはプリントされません）		「2/3縦」と同じです。	
「実寸縦」と同じです。		「実寸縦」と同じです。	

8 付録

設定値名	10”→A4縦	15”→A4横
ページフォーマット	連続用紙の場合のページフォーマット PC-PR201/80A：10”×11” 本プリンタ：縦置き／横置き PC-PR201/80Aプリンタに10”×11”の連続用紙をセットしてプリントするときのフォーマット。A4サイズに縮小し、用紙のほぼ中央（ワイド領域モードでは有効印字領域ほぼいっぱい）にポートレイトでプリントします。	PC-PR201/80A：15”×11” 本プリンタ：縦置き／横置き PC-PR201/80Aプリンタに15”×11”の連続用紙をセットしてプリントするときのフォーマット。A4サイズに縮小し、用紙のほぼ中央（ワイド領域モードでは有効印字領域ほぼいっぱい）にランドスケープでプリントします。
用紙サイズ	A3、B4、A4サイズ（A4より小さい用紙へのプリントは保証しません）A3、B4サイズを使用した場合でもA4サイズと同じ比率で縮小されプリントします。	「10”→A4縦」と同じです。
印字文字	初期状態で10ポイントのフォントを、文字間をつめて印字します。	初期状態で8ポイントのフォントを、行間をつめて印字します。
イメージの印字	「2/3縦」と同じです。	「2/3縦」と同じです。
印字領域	標準領域モード（A4サイズの場合）：13mm、13mm、6mm、7mm ワイド領域モード（A3サイズの場合）：6mm、7mm、6mm、8mm 標準領域モードの印字領域 ワイド領域モードの印字領域	標準領域モード（A4サイズの場合）：10mm、10mm、33mm、33mm ワイド領域モード（A3サイズの場合）：6mm、7mm、6mm、8mm 標準領域モードの印字領域 ワイド領域モードの印字領域
第一文字目の印字位置	**標準領域モード**：先頭行（TOF行）の左マージン位置	「10”→A4縦」と同じです。
右マージン	**標準領域モード**：用紙サイズに関係なく、初期状態で345.4mm（13.6”）です。（有効印字領域の右端を超えた場合は、はみ出たデータはプリントされません） **ワイド領域モード**：有効印字領域の右端とほぼ同じ位置になります。	「10”→A4縦」と同じです。
ボトム位置	**標準領域モード**：初期状態の印字開始位置から279.4mm（11”）（実際の用紙上では269.2mm｛10.6”｝）下、またはN201設定メニューやコントロールコマンドで設定したページ長になります。 **ワイド領域モード**：有効印字領域の下端とほぼ同じ位置になります。	**標準領域モード**：初期状態の印字開始位置から279.4mm（11”）（実際の用紙上では210.8mm｛8.3”｝）下、またはN201設定メニューやコントロールコマンドで設定したページ長になります。 **ワイド領域モード**：有効印字領域の下端とほぼ同じ位置になります。

15”→B4横

連続用紙の場合のページフォーマット

PC-PR201/80A	本機
15”×11” ABCDE 15”×11”	縦置き ABCDE B4

PC-PR201/80Aプリンタに15”×11”の連続用紙をセットしてプリントするときのフォーマット。B4サイズに縮小し、用紙のほぼ中央（ワイド領域モードでは有効印字領域ほぼいっぱい）にランドスケープでプリントします。

A3、B4サイズ（B4より小さい用紙へのプリントは保証しません）
A3サイズを使用した場合でもB4サイズと同じ比率で縮小されプリントします。

初期状態で10ポイントのフォントを、行間をつめて印字します。

「10”→A4縦」と同じです。

「10”→A4縦」と同じです。

「10”→A4縦」と同じです。

標準領域モード：初期状態の印字開始位置から279.4mm（11”）（実際の用紙上では241.3mm｛9.5”｝）下、またはN201設定メニューやコントロールコマンドで設定したページ長になります。
ワイド領域モード：有効印字領域の下端とほぼ同じ位置になります。

8

付録

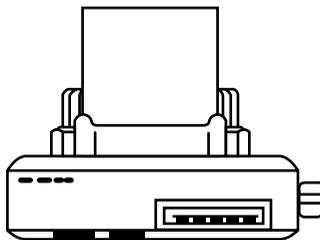
■ PC-PR201/80A プリンタのカットシートフィーダについて

PC-PR201/80A プリンタでは、カット紙を連続給紙するために、カットシートフィーダを使用します。カットシートフィーダを使用するかしないかで、印字開始位置が異なります。

本プリンタでは、カットシートフィーダを使用するときのモードを「中央印字モード」、カットシートフィーダを使用しないときのモードを「左端印字モード」といいます。

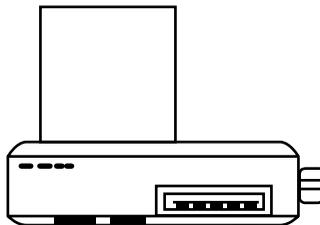
- 中央印字モード

  PC-PR201/80A プリンタでカットシートフィーダを使用するときのモードで、カットシートフィーダにセットした用紙の左端からプリントを開始するために、用紙の左側にあらかじめ余白を設定してプリントするモードです（通常は、アプリケーションソフト側で書式設定をすると、自動的にこの余白が設定されて、PC-PR201/80A プリンタにデータが送られてきます）。

  本プリンタで、このモードをエミュレートするには、N201 専用セットアップメニューの「用紙位置」（→ P.5-7）を「チュウオウ」に設定します。用紙サイズに応じて印字データ上の左余白を自動的に調整します。

- 左端印字モード

  PC-PR201/80A プリンタでカットシートフィーダを使用しないときのモードで、用紙の左端0mmの位置からプリントを開始し、用紙の右端いっぱいまでプリントします。

  本プリンタで、このモードをエミュレートするには、N201 専用セットアップメニューの「用紙位置」（→ P.5-7）を「ヒダリ」に設定します。

  ただし、本プリンタは用紙の左端より 5mm 内側からプリントを開始し、用紙の右端より 5mm 内側までしかプリントできません（本プリンタの有効印字領域による）。したがって、本プリンタは PC-PR201/80A に比べて、左端から右端まででプリントできる範囲が約 10mm 短くなります。

■ ページフォーマットと印字範囲

標準領域モード

（桁数 10cpi、行数 6lpi）

ページフォーマット		印字範囲	A3	B4	A4	B5	A5	ハガキ
実寸縦		文字数	112	97	78	67	54	35
		行　数	96	83	67	57	45	31
実寸横		文字数	136	136	112	97	78	54
		行　数	67	57	46	39	32	20
10”→A4縦		文字数	98	90	80	×	×	×
		行　数	66	66	66	×	×	×
15”→A4横		文字数	136	136	136	×	×	×
		行　数	66	66	66	×	×	×
15”→B4横		文字数	136	136	×	×	×	×
		行　数	66	66	×	×	×	×
2/3縦	中央	文字数	136	136	118	100	80	52
		行　数	144	124	100	86	68	47
	左端	文字数	169	145	118	101	81	53
		行　数	144	124	100	86	68	47
2/3横	中央	文字数	136	136	136	136	118	80
		行　数	100	86	69	59	48	30
	左端	文字数	242	209	169	145	118	81
		行　数	100	86	69	59	48	30

×：印字不可能または印字データが欠落する場合があります。
表中の文字数／行数は、上余白、用紙位置微調整、右マージン既定値初期状態の場合です。

ワイド領域モード

（桁数 10cpi、行数 6lpi）

ページフォーマット	印字範囲	A3	B4	A4	B5	A5	ハガキ
10”→A4縦	文字数	116	100	80	×	×	×
	行　数	98	85	68	×	×	×
15”→A4縦	文字数	242	209	169	×	×	×
	行　数	99	85	69	×	×	×
15”→B4横	文字数	161	139	×	×	×	×
	行　数	77	66	×	×	×	×

×：印字不可能または印字データが欠落する場合があります。
表中の文字数／行数は、上余白、用紙位置微調整、右マージン既定値初期状態の場合です。

ESC/P エミュレーションのページフォーマット

ESC/P エミュレーションモードでプリントするときのページフォーマットは、以下のとおりです。

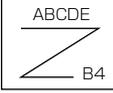
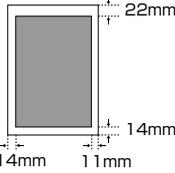
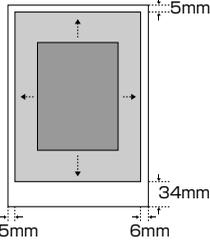
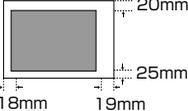
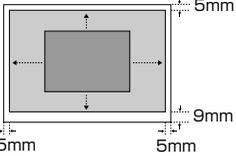
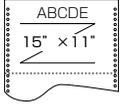
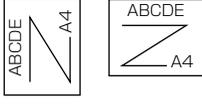
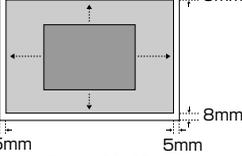
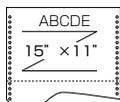
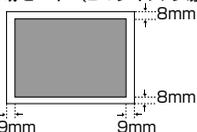
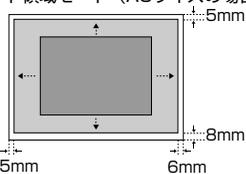
メモ

- アプリケーションソフトで設定した用紙サイズに合わせて、プリンタ側の用紙サイズも変更します。ESC/P 設定メニューの「用紙サイズ」（→ P.6-9）で設定します。「カレント用紙」に設定すると、用紙サイズに関係なく現在選択されている給紙元から給紙されます。
- 「実寸縦」、「実寸横」で ESC/P 専用セットアップメニューの「用紙サイズ」を「A3」に設定している場合、および「10" → A4 縦」、「15" → A4 横」、「15" → B4 横」、「B4 → A4 縦」、「B4 → A4 横」では、用紙の余白を有効に使ってプリントできるワイド領域モードが使えます。
- 10"× 11"の連続用紙の 1 ページあたりのサイズは、254mm × 279.4mm です。15"× 11" の連続用紙の 1 ページあたりのサイズは、381mm × 279.4mm です。

■ ESC/P エミュレーションのページフォーマット

設定値名	実寸縦	実寸横
ページフォーマット	カット紙の場合のページフォーマット ESC/P準拠プリンタ：縦置き／本プリンタ：縦置き、横置き ESC/P準拠プリンタにカット紙を縦置きにセットしてプリントするときのフォーマット。ESC/P準拠プリンタと同じ改行ピッチ、文字間隔で、実寸、ポートレイトでプリントします。	ESC/P準拠プリンタ：横置き／本プリンタ：縦置き、横置き ESC/P準拠プリンタにカット紙を横置きにセットしてプリントするときのフォーマット。ESC/P準拠プリンタと同じ改行ピッチ、文字間隔で、実寸、ランドスケープでプリントします。
用紙サイズ	A3、B4、A4、B5、A5、ハガキサイズ。A3サイズにプリントするときにワイド領域モードを設定できます。	「実寸縦」と同じです。
印字文字	初期状態で10ポイントのフォント	「実寸縦」と同じです。
イメージの印字	プリンタの解像度が異なるため、ESC/P準拠プリンタとは印字結果が若干異なります。	「実寸縦」と同じです。
印字領域	A4サイズ 22mm 5mm 5mm 8mm 印字領域	A4サイズ 22mm 5mm 5mm 8mm 印字領域
第一文字目の印字位置	先頭行（TOF行）の左マージン位置です。	「実寸縦」と同じです。
右マージン	用紙サイズに関係なく、初期状態で345.4mm（13.6”）またはESC/P設定メニューやコントロールコマンドで設定した右マージン位置になります。（有効印字領域の右端を超えた場合は、はみ出たデータはプリントされません）	「実寸縦」と同じです。
ボトム位置	ESC/P準拠プリンタのカットシートフィーダの用紙エンド検出とほぼ同じ位置、またはESC/P設定メニューやコントロールコマンドで設定したページ長になります。	「実寸縦」と同じです。

8
付録

B4→A4縦	B4→A4横
カット紙の場合のページフォーマット	
ESC/P準拠プリンタ：縦置き（ABCDE B4） 本プリンタ：縦置き（ABCDE A4）、横置き（ABCDE A4）	ESC/P準拠プリンタ：横置き（ABCDE B4） 本プリンタ：縦置き（ABCDE A4）、横置き（ABCDE A4）
ESC/P準拠プリンタにB4サイズのカット紙を縦置きにセットしてプリントするときのフォーマット。A4サイズに縮小し用紙のほぼ中央（ワイド領域では有効印字領域ほぼいっぱい）に、ポートレイトでプリントします。	ESC/P準拠プリンタにB4サイズのカット紙を横置きにセットしてプリントするときのフォーマット。A4サイズに縮小し、用紙のほぼ中央（ワイド領域モードでは有効印字領域ほぼいっぱい）に、ランドスケープでプリントします。
A3、B4、A4サイズ（A4より小さい用紙へのプリントは保証しません）。 A3、B4サイズを使用した場合でも、A4サイズと同じ比率で縮小されプリントします。	「B4→A4縦」と同じです。
初期状態で8ポイントのフォントを、若干縮小して印字します。	「B4→A4縦」と同じです。
プリンタの解像度の違いや縮小印刷のため、ESC/P準拠プリンタの印字結果とは見た目が異なります。	「B4→A4縦」と同じです。
標準領域モード（A4サイズの場合）：22mm、14mm、14mm、11mm ワイド領域モード（A3サイズの場合）：5mm、34mm、5mm、6mm 標準領域モードの印字領域 ワイド領域モードの印字領域	標準領域モード（A4サイズの場合）：20mm、25mm、18mm、19mm ワイド領域モード（A3サイズの場合）：5mm、9mm、5mm、5mm 標準領域モードの印字領域 ワイド領域モードの印字領域
標準領域モード：（TOF行）の左マージン位置です。	「B4→A4縦」と同じです。
標準領域モード：用紙サイズに関係なく、初期状態で345.4mm（13.6”）です。（有効印字領域の右端を超えた場合は、はみ出たデータはプリントされません） **ワイド領域モード**：印字領域は本機の有効印字領域とほぼ同じです。	「B4→A4縦」と同じです。
標準領域モード：ESC/P準拠プリンタのカットシートフィーダの用紙エンド検出とほぼ同じ位置、またはESC/P設定メニューやコントロールコマンドで設定したページ長になります。 **ワイド領域モード**：有効印字領域の下端とほぼ同じ位置です。	「B4→A4縦」と同じです。

設定値名	10”→A4縦	15”→A4横
ページフォーマット	連続用紙の場合のページフォーマット ESC/P準拠プリンタ: 10”×11” 本プリンタ: 縦置き / 横置き ESC/P準拠プリンタに10”×11”の連続用紙をセットしてプリントするときのフォーマット。A4サイズに縮小し、用紙のほぼ中央（ワイド領域モードでは有効印字領域ほぼいっぱい）にポートレイトでプリントします。	ESC/P準拠プリンタ: 15”×11” 本プリンタ: 縦置き / 横置き ESC/P準拠プリンタに15”×11”の連続用紙をセットしてプリントするときのフォーマット。A4サイズに縮小し、用紙のほぼ中央（ワイド領域モードでは有効印字領域ほぼいっぱい）にランドスケープでプリントします。
用紙サイズ	「B4→A4縦」と同じです。	「B4→A4縦」と同じです。
印字文字	初期状態で10ポイントのフォントを、文字間をつめて印字します。	初期状態で8ポイントのフォントを、行間をつめて印字します。
イメージの印字	「B4→A4縦」と同じです。	「B4→A4縦」と同じです。
印字領域	標準領域モード（A4サイズの場合）: 12mm / 12mm / 6mm / 5mm ワイド領域モード（A3サイズの場合）: 5mm / 9mm / 5mm / 6mm 標準領域モードの印字領域 ワイド領域モードの印字領域	標準領域モード（A4サイズの場合）: 15mm / 9mm / 18mm / 19mm ワイド領域モード（A3サイズの場合）: 5mm / 8mm / 5mm / 5mm 標準領域モードの印字領域 ワイド領域モードの印字領域
第一文字目の印字位置	「B4→A4縦」と同じです。	「B4→A4縦」と同じです。
右マージン	「B4→A4縦」と同じです。	「B4→A4縦」と同じです。
ボトム位置	**標準領域モード**：初期状態の印字開始位置から279.4mm（11”）（実際の用紙上では271.8mm｛10.7”｝）下、またはESC/P設定メニューやコントロールコマンドで設定したページ長になります。 **ワイド領域モード**：有効印字領域の下端とほぼ同じ位置になります。	**標準領域モード**：初期状態の印字開始位置から279.4mm（11”）（実際の用紙上では210.8mm｛8.3”｝）下、またはESC/P設定メニューやコントロールコマンドで設定したページ長になります。 **ワイド領域モード**：有効印字領域の下端とほぼ同じ位置になります。

15”→B4横	
連続用紙の場合のページフォーマット	
ESC/P準拠プリンタ	本機
15”×11” ABCDE 15”×11”	縦置き ABCDE B4
ESC/P準拠プリンタに15”×11”の連続用紙をセットしてプリントするときのフォーマット。B4サイズに縮小し、用紙のほぼ中央（ワイド領域モードでは有効印字領域ほぼいっぱい）にランドスケープでプリントします。	
A3、A4サイズ（B4より小さい用紙へのプリントは保証しません。） A3サイズを使用した場合でもB4サイズと同じ比率	
初期状態で10ポイントのフォントを、行間をつめて印字します。	
「B4→A4縦」と同じです。	
「B4→A4縦」と同じです。	
「B4→A4縦」と同じです。	
標準領域モード：初期状態の印字開始位置から279.4mm（11”）（実際の用紙上では266.7mm｛10.5”｝）下、またはESC/P設定メニューやコントロールコマンドで設定したページ長になります。 **ワイド領域モード**：有効印字領域の下端とほぼ同じ位置になります。	

■ ページフォーマットと印字範囲

標準領域モード

（桁数 10cpi、行数 6lpi）

ページフォーマット	印字範囲	A3	B4	A4	B5	A5	ハガキ
実寸縦	文字数	112	97	78	67	54	35
	行　数	92	78	63	54	42	28
実寸横	文字数	136	136	112	97	78	54
	行　数	63	52	42	36	28	16
10”→A4縦	文字数	80	80	80	×	×	×
	行　数	66	66	66	×	×	×
15”→A4横	文字数	136	136	136	×	×	×
	行　数	66	66	66	×	×	×
15”→B4横	文字数	136	136	×	×	×	×
	行　数	66	66	×	×	×	×
B4→A4縦	文字数	97	97	97	×	×	×
	行　数	78	78	82	×	×	×
B4→A4横	文字数	136	136	136	×	×	×
	行　数	52	52	52	×	×	×

×：印字不可能または印字データが欠落する場合があります。
表中の文字数／行数は、上余白、用紙位置微調整、右マージン既定値初期状態の場合です。

ワイド領域モード

（桁数 10cpi、行数 6lpi）

ページフォーマット	印字範囲	A3	B4	A4	B5	A5	ハガキ
実寸縦	文字数	112	−	−	−	−	−
	行　数	95	−	−	−	−	−
実寸横	文字数	161	−	−	−	−	−
	行　数	66	−	−	−	−	−
10”→A4縦	文字数	115	99	80	×	×	×
	行　数	98	84	68	×	×	×
15”→A4横	文字数	215	186	150	×	×	×
	行　数	99	85	68	×	×	×
15”→B4横	文字数	161	139	×	×	×	×
	行　数	77	66	×	×	×	×
B4→A4縦	文字数	150	129	104	×	×	×
	行　数	127	109	88	×	×	×
B4→A4横	文字数	215	186	150	×	×	×
	行　数	88	76	61	×	×	×

×：印字不可能または印字データが欠落する場合があります。
表中の文字数／行数は、上余白、用紙位置微調整、右マージン既定値初期状態の場合です。

ダンプリスト

■ ヘキサダンプリスト

動作モード選択で「HEX-DUMP」を選択すると、パソコンから送信されたデータを図形や文字に変換せずに、16 進コードでプリントします。
1 行に 32 バイトの 16 進コードを印字します。16 進コードに対応する文字をリストの右側に印字します。A4 サイズポートレイトでのみプリントできます。
（操作方法：「動作モードグループの設定項目」→ P.3-35）

Version : R0.08/BEP5C25I　　　　Page : 2

00660	E4 76 3D 1F 90 48 64 52	39 24 96 4D 27 94 4A 65	52 B9 64 B6 5D 2F 90 40	40 80 01 E0 50 38 24 16	ｺﾞv=. HdR9$ M' JeRｹdｶ]/ @@ .ｶﾞP8$.
00680	0D 07 84 42 61 50 B8 64	36 1D 0F 88 44 62 51 38	A4 56 2D 17 8C 46 63 51	B8 E4 76 3D 1F 90 48 64	.. BaPｸd6.. DbQ8､V-. FcQｸｺﾞv=. Hd
006A0	52 39 24 96 4D 27 94 4A	65 52 B9 64 B6 5D 2F 90	40 40 80 01 E0 50 38 24	16 0D 07 84 42 61 50 B8	R9$ M' JeRｹdｶ]/ @@ .ｶﾞP8$... BaPｸ
006C0	64 36 1D 0F 88 44 62 51	38 A4 56 2D 17 8C 46 63	51 B8 E4 76 3D 1F 90 48	64 52 39 24 96 4D 27 94	d6.. DbQ8､V-. FcQｸｺﾞv=. HdR9$ M'
006E0	4A 65 52 B9 64 B6 5D 2F	90 40 40 80 01 E0 50 38	24 16 0D 07 84 42 61 50	B8 64 36 1D 0F 88 44 62	JeRｹdｶ]/ @@ .ｶﾞP8$... BaPｸd6.. Db
00700	51 38 A4 56 2D 17 8C 46	63 51 B8 E4 76 3D 1F 90	48 64 52 39 24 96 4D 27	94 4A 65 52 B9 64 B6 5D	Q8､V-. FcQｸｺﾞv=. HdR9$ M' JeRｹdｶ]
00720	2F 90 40 40 80 01 E0 50	38 24 16 0D 07 84 42 61	50 B8 64 36 1D 0F 88 44	62 51 38 A4 56 2D 17 8C	/ @@ .ｶﾞP8$... BaPｸd6.. DbQ8､V-.
00740	46 63 51 B8 E4 76 3D 1F	90 48 64 52 39 24 96 2D	01 00 0F 00 FE 00 04 00	01 00 00 00 00 00 00 00	FcQｸｺﾞv=. HdR9$ -....ｹ...........
00760	00 01 03 00 01 00 00 00	91 00 00 00 01 01 03 00	01 00 00 00 25 00 00 00	02 01 03 00 01 00 00 00	....................%...........
00780	08 00 00 00 03 01 03 00	01 00 00 00 05 00 00 00	06 01 03 00 01 00 00 00	03 00 00 00 11 01 04 00	....
007A0	05 00 00 00 18 06 00 00	15 01 03 00 01 00 00 00	01 00 00 00 16 01 04 00	01 00 00 00 08 00 00 00	....
007C0	17 01 04 00 05 00 00 00	2C 06 00 00			....

■ LIPS ダンプリスト

動作モードメニューで「LIPS-DUMP」を選択すると、パソコンから送信されたデータを図形や文字に変換せずに、LIPS のコントロールコマンドの形式でプリントします。
現在選択されている給紙元の用紙サイズでプリントします。
（操作方法：「動作モードグループの設定項目」→ P.3-35）

```
Version : 02.00.R1.00/BEP5D189/FT5D18                    Page : 1

00000 |ec c| |ec P41;600J ec ¥| |ec <| |ec [11h| |ec [?6␣I| |ec [3000;1.r| 72 65 67 72 65 67
00042 72 65 67 72 65 67 72 65 67 72 65 67 72 65

        *** skip 2960 Byte ***

03016 65 67 72 65 67 72 65 67 72 65 67 72 65 67 72 65 67 72 65 67 |ec [0;1x| |ec [{| |ec [0;4x| |ec [}| |ec [0
03057 ;0x| |ec [500;500f| FILE␣NAME␣--->␣HEIGHT.004␣␣T.KAWAI
03104 |ec PzMincho-Medium.J78 ec ¥| |ec [?350␣K| |ec [1000␣C| |ec [3000;4
03150 500f| !v!v!v!!J8;z9b;XDjL?Na!!!v!v!v |ec [?850␣K| |ec [350
03197 ␣C| |ec [5000;1500f| |ec [4m| !vJ8;z9b;XDjL?Na$G;XDj$7$? |ec [
03243 7m| Bg$-$5$NJ8;z$K$J$k$+ |ec [27m| !J#2%P%$%H!&%9%1!<%i%
03291 V%k!&%U%)%s%H!K |ec [24m| |ec [27500;12000f| |ec [5m| #C#O#M#M
```

- 枠囲みパターンについて

コマンドとして解釈できるものは、コマンド単位に枠で囲み印字されます。テキストモードからベクタモードへ、またはベクタモードからテキストモードへ移行した場合は、改行によって区別します。

- 改行・改ページを示す記号

｜	lf（改行）、vt（垂直タブ）、nl（復帰改行）による改行を伴うコマンド、またはff(改ページ)による改ページを伴うコマンドがあった場合に印字されます。(例：lf ｜)

- 異常終了を知らせる記号

!	命令終了コードが送られるまえに、命令開始コードが送られた場合、または、16進コードのダウンロードで16進コード以外の文字が送られた場合に印字されます。

【例】
```
              !
00000 |ec[| |ec[ 5 m| ABCD
```

■ LIPS ダンプリストの文字・記号の表記

制御データは次に示す省略記号を使って印字します。

	0	1	7	8	9	F
0	nu(NUL)	dl(DLE)		80	dc(DCS)	
1	sh(SHO)	d1(DC1)		81	91	
2	sx(STX)	d2(DC2)		82	92	
3	ex(ETX)	d3(DC3)		83	93	
4	et(EOT)	d4(DC4)		ix(IDX)	94	
5	eq(ENQ)	nk(NAK)		nl(NEL)	95	
6	ak(ACK)	sy(SYN)		86	96	
7	bl(BEL)	eb(ETB)		87	97	
8	bs(BS)	cn(CAN)		hs(HTS)	98	
9	ht(HT)	em(EM)		89	99	
A	lf(LF)	sb(SUB)		vs(VTS)	9A	
B	vt(VT)	ec(ESC)		pd(PLD)	cs(CSI)	
C	ff(FF)	fs(FS)		pu(PLU)	st(ST)	
D	cr(CR)	gs(GS)		ri(RI)	9D	
E	so(SO)	rs(RS)		s2(SS2)	9E	
F	si(SI)	us(US)	de(DEL)	s3(SS3)	9F	FF(DEL)

- ベクタモードの LIPS ダンプリスト
  - ･命令は全角文字で印字されます
  - ･パラメータは 10 進コードで、文字パターンは 16 進コードでそれぞれ印字されます。
  - ･パラメータが 2 つ以上連続するときは、パラメータの間にスペースが入ります。

メモ

- 通常の文字で印字されるデータはそのまま印字されます。
- ダウンロードするデータが多い場合は、先頭から20バイトと最後から20バイトのみを印字し、その間のデータを印字しません。
- 文字コード 20h（16進コード）は「␣」、文字コード A0h（16進コード）は「A0」で印字されます。
- 制御コードは大文字で、省略記号は小文字で印字されます。
  【例】 改ページ→ ff　　FFh（16 進コード）→ FF

8

付録

動作モード共通のリスト

動作モード共通のリストについて説明しています。

重要　ここに掲載されているリストはサンプルです。お使いのプリンタで出力したリストとは一部内容が異なる場合があります。

共通ステータスプリント

搭載している RAM の容量や共通プリント環境の設定内容などがプリントされます。

1. ［オンライン］を押してオフライン状態にします。
2. ［ユーティリティ］を押してユーティリティメニューを表示します。
3. ［►］を押して「ステータス　プリント」を表示します。
4. ［実行］を押して出力します。

Canon　STATUS PRINT　LBP3800

バージョン :
サブバージョン :
エンジンバージョン :
フォントバージョン :

全体メモリ搭載状況 : 24 (24 MB + 0 MB)
空きメモリ量 : 2881 Kbytes

拡張機能グループ
パネルオフ動作 : する
パネルオフモード : 15分
警告処理 : 継続
自動エラースキップ : 使わない
表示言語 : 日本語
ブザー警告 : 1回
警告表示 : する

給紙グループ
給紙モード : 自動
トレイ用紙サイズ : A4
デフォルト用紙サイズ : A4
用紙の向き : 自動
トレイ優先 : しない
用紙不一致時トレイ : 使わない
自動選択/トレイ : 使う
自動選択/カセット1 : 使う
自動選択/カセット2 : 使う
自動選択/カセット3 : 使う
自動選択/カセット4 : 使う
デフォルト用紙タイプ : 普通紙
両面印刷 : しない
用紙名称/トレイ :
用紙名称/カセット1 :
用紙名称/カセット2 :
用紙名称/カセット3 :
用紙名称/カセット4 :

レイアウトグループ
コピー枚数 : 1枚
縦補正 : 0.0mm
横補正 : 0.0mm
綴じ方向 : 長手
綴じ幅 : 0.0mm
特殊両面処理 : する
白紙節約 : する

印字調整グループ
スーパースムーズ : 使う
解像度 : ファイン
ドット補正 : 使わない
階調処理 : 標準
トナー節約 : 使わない
トナー濃度 : 4
中間調選択 : パターン1
画質警告 : 継続
印字動作 : 自動

ユーザメンテナンスグループ
トレイ/縦位置補正 : 0.0mm
トレイ/横位置補正 : 0.0mm
カセット1/縦位置補正 : 0.0mm
カセット1/横位置補正 : 0.0mm
カセット2/縦位置補正 : 0.0mm
カセット2/横位置補正 : 0.0mm
カセット3/縦位置補正 : 0.0mm
カセット3/横位置補正 : 0.0mm
カセット4/縦位置補正 : 0.0mm
カセット4/横位置補正 : 0.0mm
両面/縦位置補正 : 0.0mm
両面/横位置補正 : 0.0mm
リカバリ印刷 : する
特殊モードJ : 使わない
特殊モードM : 使わない
特殊モードN : 使わない
特殊モードO : 使わない

インタフェースグループ
インタフェース選択 : 自動
タイムアウト : 15秒
Busy-Ack : A-B-A
セントロスピード受信 : 高速
セントロスピード送信 : 高速
インプットプライム : 動作モード依存
双方向 : ECP
ジョブ区切り : しない
コネクション認識 : する

動作モードグループ
動作モード : 自動
自動切替/LIPS : 使う
自動切替/N201 : 使う
自動切替/ESC/P : 使う
自動切替/BMLinkS : 使う
優先エミュレーション : N201

デバイスID
Manufacturer : Canon
Model : LBP3800
Description : Canon LBP3800
CompatibleID :

搭載コントローラ

LIPS	Ver.01.27	LIPSは、キヤノン株式会社の商標です。
LIPS LX	Ver.1.000/1.050	
N201	Ver.01.65	
ESC/P	Ver.01.66	ESC/Pは、セイコーエプソン株式会社の商標です。
BMLinkS	Ver.01.01	BMLinkSは、社団法人 ビジネス機械・情報システム産業協会の登録商標です。

標準ネットワーク
ボード名称 : Canon NB-E2
ベンダーID : CANON INC.
バージョン : 1.30B2
ベンダーインフォ : MAC Address: 000000000000

USB
ベンダーID : 0x04a9
プロダクトID : 0x2641
シリアルナンバー : 000000000000

Page Count : 0000001

8

付録

共通フォントリスト

本プリンタに搭載されているフォントの一覧がプリントされます。

1. ［オンライン］を押してオフライン状態にします。
2. ［ユーティリティ］を押してユーティリティメニューを表示します。
3. ［ ▶ ］を押して「フォント　リスト」を表示します。
4. ［実行］を押して出力します。

Canon　FONT LISTS　LBP3800

フォント名称	フォントＩＤ	フォント見本書体
Mincho-Medium-H	001	ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Mincho-Medium-HPS	013	ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Mincho-Medium	002	あいうえおカキクケコ差氏巣背
Mincho-Medium-PS	014	あいうえおカキクケコ差氏巣背
Gothic-Medium-H	003	ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Gothic-Medium-HPS	015	ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Gothic-Medium	004	あいうえおカキクケコ差氏巣背
Gothic-Medium-PS	016	あいうえおカキクケコ差氏巣背
LinePrinter-Bold	020	ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Garland-Medium-HP	021	ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Garland-Medium-H	022	ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Dutch-Roman		ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Dutch-Bold		ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Dutch-Italic		ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Dutch-BoldItalic		ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Swiss		ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Swiss-Bold		ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Swiss-Oblique		ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Swiss-BoldOblique		ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Ncourier		ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Ncourier-Bold		ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Ncourier-Italic		ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Ncourier-BoldItalic		ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Symbol		ΑΒΧΔΕΦΓΗΙϑΚΛΜΝΟαβχδεφγηιφ
Ncourier10		ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Ncourier10B		ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij

Page Count : 0000007

標準 N/W プリント（LBP3800 のみ）

本プリンタに内蔵されているプリントサーバのバージョンや設定内容などがプリントされます。

1. ［オンライン］を押してオフライン状態にします。
2. ［ユーティリティ］を押してユーティリティメニューを表示します。
3. ［ ▶ ］を押して「ヒョウジュン N/W プリント」を表示します。
4. ［実行］を押して出力します。

Canon　CONFIG PRINT　NB-E2

◆　内蔵型プリントサーバ　◆

製品名 :LBP3800　ファームウエア バージョン :1.30B2
インタフェース　CANON-MIB バージョン :2.40
バージョン :XXX
転送モード :XXX
MACアドレス :XXXXXXXXXXXX

NetWare
NetWare :Enabled　フレームタイプ :802.2
ネットワークアドレス :00 00 00 00　ノードアドレス :00 00 85 00 00 00
プリントサービス :None
NDS PServer :Disabled
ツリー名 :
コンテキスト名 :
プリントサーバ名 :
Bindery PServer :Disabled
Netwareサーバ名1 :
プリントサーバ名 :
Nprinter :Disabled
プリントサーバ名1 :　プリンタ番号1 :
Rprinter :Disabled
プリントサーバ名1 :　プリンタ番号1 :

AppleTalk
AppleTalk :Enabled
フェーズ :Phase 2
Object名 :Canon NB-E2
Zone名 :*

NetBIOS/NetBEUI
NetBIOS/NetBEUI :Enabled
フレームタイプ :802.2
ポート名 :CANON000000

TCP/IP
TCP/IP :Enabled
IPアドレス :172.24.131.102
サブネットマスク :255.255.248.0
ゲートウェイアドレス :None set
DHCP :OFF
BOOTP :OFF
RARP :OFF
Rawモード双方向通信機能 :OFF
DNSサーバアドレス :0.0.0.0
DNSサーバ動的更新 :OFF
DNSホスト名 :
DNSドメイン名 :
SMTPサーバアドレス :
WINS :ON
WINSサーバアドレス :0.0.0.0
WINSホスト名 :
IPPプリンタURI :printer
LPDバナー :オフ
LPD印刷 :ON
IPP印刷 :ON
RAW印刷 :ON
SNMPv1 :ON
SNMPv3 :OFF
TCP/IP印刷制御 :OFF
SNMP設定/参照 :OFF
MACアドレスアクセス :OFF
BMLinkS :ON

印字位置プリント

各給紙元の現在の印字位置がプリントされます。プリント結果で印字位置の調整を行います。詳しくは、ユーザーズガイド「第４章 日常のメンテナンス」を参照してください。

1. ［オンライン］を押してオフライン状態にします。
2. ［給紙選択］を押して、印字位置を確認したい給紙元を選択し、［実行］を押します。
3. ［ユーティリティ］を押してユーティリティメニューを表示します。
4. ［ ▶ ］を押して「インジイチプリント」を表示します。
5. ［実行］を押して出力します。

動作モード専用のリスト

動作モード専用のリストについて説明しています。

重要　ここに掲載されているリストはサンプルです。お使いのプリンタで出力したリストとは一部内容が異なる場合があります。

LIPS ステータスプリント

共通ステータスプリントの内容に加えて、LIPS専用セットアップメニューの設定内容がプリントされます。

1. ［オンライン］を押してオフライン状態にします。
2. ［ユーティリティ］を押してユーティリティメニューを表示します。
3. ［▶］を押して「LIPS　ユーティリティ」を表示します。
4. ［実行］を押して、LIPS　専用ユーティリティメニューに移ります。
5. ［▶］を押して「ステータス　プリント」を表示します。
6. ［実行］を押して出力します。

Canon　STATUS PRINT　LBP3800

全体メモリ搭載状況：24 (24 MB + 0 MB)
空きメモリ量：2881 Kbytes

拡張機能グループ
パネルオフ動作：する
パネルオフモード：15分
警告処理：継続
自動エラースキップ：使わない
表示言語：日本語
ブザー警告：1回
警告表示：する

給紙グループ
給紙モード：自動
トレイ用紙サイズ：A4
デフォルト用紙サイズ：A4
用紙の向き：自動
トレイ優先：しない
用紙不一致時トレイ：使わない
自動選択/トレイ：使う
自動選択/カセット1：使う
自動選択/カセット2：使う
自動選択/カセット3：使う
自動選択/カセット4：使う
デフォルト用紙タイプ：普通紙
両面印刷：しない
用紙名称/トレイ
用紙名称/カセット1
用紙名称/カセット2
用紙名称/カセット3
用紙名称/カセット4

レイアウトグループ
コピー枚数：1枚
縦補正：0.0mm
横補正：0.0mm
綴じ方向：長手
綴じ幅：0.0mm
特殊両面処理：する
白紙節約：する

印字調整グループ
スーパースムーズ：使う
解像度：ファイン
ドット補正：使わない
階調処理：標準
トナー節約：使わない
トナー濃度：4
中間調選択：パターン1
両面警告：継続
印字動作：自動

ユーザメンテナンスグループ
トレイ/縦位置補正：0.0mm
トレイ/横位置補正：0.0mm
カセット1/縦位置補正：0.0mm
カセット1/横位置補正：0.0mm
カセット2/縦位置補正：0.0mm
カセット2/横位置補正：0.0mm
カセット3/縦位置補正：0.0mm
カセット3/横位置補正：0.0mm
カセット4/縦位置補正：0.0mm
カセット4/横位置補正：0.0mm
両面/縦位置補正：0.0mm
両面/横位置補正：0.0mm
リカバリ印刷：する
特殊モードJ：使わない
特殊モードM：使わない
特殊モードN：使わない
特殊モードO：使わない

インタフェースグループ
インタフェース選択：自動
タイムアウト：15秒
Busy-Ack：A-B-A
セントロスピード受信：高速
セントロスピード送信：高速
インプットプライム：動作モード依存
双方向：ECP
ジョブ区切り：しない
コネクション認識：する

動作モードグループ
動作モード：自動
自動切替/LIPS：使う
自動切替/N201：使う
自動切替/ESC/P：使う
自動切替/BMLinkS：使う
優先エミュレーション：N201

フォント
漢字コード：ＪＩＳ
文字サイズ：10ポイント
漢字書体：明朝
ＡＮＫ書体：明朝
漢字グラフィックセット：ＪＩＳ９０

レイアウト
行数：６ＬＰＩ
桁数：自動
自動改ページ：する
自動改行：する
ＬＦ機能：ＬＦのみ
ＣＲ機能：ＣＲのみ
ページの向き：縦
スタートアップマクロ：30

拡張機能
LIPSジョブタイムアウト：しない
拡大／縮小：しない
複数ページ印刷：しない
複数ページ余白：パターン１
網かけ解像度：クイック
オーバレイ１：しない
オーバレイ２：しない

LIPS

LBP
Image
Processing
System

登録領域のサイズ：2973696バイト
登録領域の空きサイズ：2881536バイト

ＮＶＲＡＭ：未編成
ＬＩＰＳバージョン：Ver.01.27

Page Count : 0000013

8
付録

LIPS フォントリスト

LIPS モードで使用できるフォントの一覧がプリントされます。

1. ［オンライン］を押してオフライン状態にします。
2. ［ユーティリティ］を押してユーティリティメニューを表示します。
3. ［►］を押して「LIPS　ユーティリティ」を表示します。
4. ［実行］を押して、LIPS　専用ユーティリティメニューに移ります。
5. ［►］を押して「フォント　リスト」を表示します。
6. ［実行］を押して出力します。

メモ　この他に、本プリンタに内容が登録されている場合にのみ、「LIPS オーバレイリスト」、「LIPS マクロリスト」、「LIPS フォームリスト」、「LIPS オーバレイプリント」がプリントされます。

N201 ステータスプリント

共通ステータスプリントの内容に加えて、N201 専用セットアップメニューの設定内容がプリントされます。

1. ［オンライン］を押してオフライン状態にします。
2. ［ユーティリティ］を押してユーティリティメニューを表示します。
3. ［►］を押して「N201　ユーティリティ」を表示します。
4. ［実行］を押して、N201 専用ユーティリティメニューに移ります。
5. ［►］を押して、「ステータス　プリント」を表示します。
6. ［実行］を押して出力します。

8
付録

ESC/P ステータスプリント

共通ステータスプリントの内容に加えて、ESC/P 専用セットアップメニューの設定内容がプリントされます。

1. ［オンライン］を押してオフライン状態にします。
2. ［ユーティリティ］を押してユーティリティメニューを表示します。
3. ［►］を押して「ESC/P　ユーティリティ」を表示します。
4. ［実行］を押して、ESC/P 専用ユーティリティメニューに移ります。
5. ［►］を押して、「ステータス　プリント」を表示します。
6. ［実行］を押して出力します。

本プリンタについての注意事項

本プリンタは従来のレーザショットシリーズと仕様が異なる点があり、操作のしかたやプリントの結果が異なることがあります。以下に、本プリンタと従来シリーズとの違いについて主な注意点を説明します。

従来 LIPS III シリーズとの違いについて

- 従来 LIPS III シリーズとは、LBP-A309GII、A304GII、A304EII、A304E、310、320、320PRO、350、B406GII、B406G、B406EII、B406E、B406S、B406D、A404F、A404GII、A404E、A404、A405Jr です。

■ フォント

- 本プリンタ内蔵の明朝体・角ゴシック体は「平成」書体を採用しています。従来シリーズとは書体が異なるため文字のデザインや太さなど印字結果が異なります。また、楷書体フォントについても従来シリーズの書体と異なっています。
- 従来機で使用していたグラフィックセット「J83」を「J90」に改名し、JISX0208-1990で追加された2文字(コード7425および7426)を追加しました。
- クーリエのスケーラブルフォントや従来のJBM1 フォントカード相当など、追加されたフォントがあるため LIPS モードで正確なフォント選択をしていなかった場合、追加されたフォントでプリントされることがあります。

■ データ処理解像度

- 従来のシリーズでは 300dpi ／240dpi で入力データを処理していましたが、本プリンタでは 1200dpi ／ 600dpi ／ 300dpi で処理をしています。このため、プリント結果などに細かな違いが出てくる場合があります。LIPS ／エミュレーション各モードでの主な注意点は以降の各モードの注意点をご参照ください。
- 本プリンタはスーパーファインモード／ファインモード／クイックモードの 3 種類のデータ処理解像度が指定できます。スーパーファインモードまたはファインモードを指定したときに、メモリが不足した場合などスーパーファインモードでは 600dpi または 300dpi に、ファインモードでは 300dpi に描画結果を変換してプリントします。

■ 描画処理の違い

- 図形や文字のプリントの描画処理が効率化・統合化等のために変更されており、線のパターンや接続・強調印字など細かなプリント結果やスピードに違いが出ることがあります。

■ メニュー操作

- 従来シリーズと環境設定メニューの構造が異なっており、LIPS ／エミュレーション共通メニューと各動作モード固有のメニューに分かれています。また、設定したメニュー値は操作の都度記憶されリセットや電源オフをしても引き継がれます。

- 本プリンタでは複数のエミュレーションの切り替えをサポートしており　LIPS　でもエミュレーションでもひとつのプリント単位を「ジョブ」として取り扱います。ひとつの「ジョブ」がタイムアウトやジョブ終了コマンドで終了するとプリント環境などが初期化されます。
- 本プリンタでは、A4、B5、レターサイズの用紙は横置きと縦置きを選ぶことができます。

■ インタフェース関連

- 従来のシリーズでは ME-CARD 以外のエミュレーションではインタフェースを切り替えることができませんでしたが、本プリンタではすべてのエミュレーションでセントロニクス以外のインタフェースも使用して切り替えることができます。ただし、5577／359／5273エミュレーションなどでホスト側で固有のインタフェースを必要とする場合は、自動インタフェース切り替え・動作モード自動切り替えをオフにする必要があります。詳しくは各エミュレーションの取扱説明書を参照してください。
- 自動インタフェース切り替えでは従来のシリーズと異なりすべてのインタフェースからのデータを同時に受信します。

■ メモリ

- 従来のシリーズとはメモリ管理の方法が異なっており印字データや登録データで使用可能なメモリ容量が異なります。

■ オプションのメモリやフォントなど

- 従来シリーズの拡張 RAM ボード、コントロール ROM、拡張インタフェースボードは使用できません。本プリンタ専用のオプションをご使用ください。

以下に各モード固有の注意について記載します。

■ LIPS III モード

- リセット時などの論理用紙サイズの初期化は、従来シリーズではカセットの用紙サイズに従っていましたが、本プリンタではメニューの「デフォルト用紙サイズ」の大きさに初期化します。これにより複数の印字データが連続したときの処理の効率化を図っています。
- 従来のシリーズでは文字セット登録時、文字セット補助命令でスケーラブルするかどうかを指定しましたが、本プリンタでは指定に関わらずスケーラブル化して登録します。このため、プリント時に正しいサイズを指定していなかった場合、従来と異なるサイズで印字が行われます。
- ファインモードでの注意点
  - ･ファインモードでは　600dpi　でデータを処理するためベクタモードの座標範囲が約5.5m 四方から半分の約 2.8m 四方になります。
  - ･600dpi でプリントされるため、罫線等の太りかたやパターン等に微妙な違いが出ることがあります。
  - ･メモリの不足などで 600dpi で処理できない場合に 300dpi に変換されるとき、変換の処理により細かな誤差が出る場合があります。
- スーパーファインモードでの注意点
  - ･スーパーファインモードでは、1200dpi　でデータを処理するためベクタモードの座標範囲が約 5.5mm 四方から 1/4 の約 1.4mm 四方になります。

・1200dpi でプリントされるため、罫線等の太りかたやパターン等に微妙な違いが出ることがあります。

・メモリ不足などで 1200dpi で処理できない場合に600dpi または 300dpiに変換されるとき、変換の処理により細かな誤差が出る場合があります。

■ LIPS II モード

- 従来シリーズでは LIPS II モードは 240dpi で処理されていましたが、本プリンタでは 1200dpi ／ 600dpi ／ 300dpi で処理します。このため以下のような違いが出ることがあります。

  ・塗りつぶしパターンの細かさや線の太さが若干異なります。

  ・書体の違いに加えてスケーラブルフォントを使用することによるプリント結果の違いやスピードの違いがあります。

  ・イメージデータ（写真画像など）や文字登録データなど 240dpi のドットパターンは 1200dpi ／ 600dpi ／ 300dpi に自動的に変換されるため、プリント結果の見た目が異なります。

  ・従来 240dpi で印字位置を処理していたのに対し、1200dpi ／ 600dpi ／ 300dpi で処理するため図形や文字などの印字位置に微妙な違いが出ることがあります。

  ・ベクタモードの座標範囲は LIPS III でのスーパーファインモードおよびファインモードの注意に加えてクイックモードでも 80%の大きさ（約 6.9m 四方→約 5.5m 四方）となります。

- リセット時などの論理用紙サイズの初期化は、従来シリーズではカセットの用紙サイズに従っていましたが、本プリンタではメニューの「デフォルト用紙サイズ」の大きさに初期化します。これにより複数の印字データが連続したときの処理の効率化を図っています。
- 描画処理の違いにより網掛けを重ねあわせたときにプリント結果が異なることがあります。

■ 内蔵エミュレーション

- 従来シリーズでは内蔵エミュレーションは 240dpi で処理されていましたが、本プリンタでは 600dpi ／ 300dpi で処理します。このため以下のような違いが出ることがあります。

  ・塗りつぶしパターンの細かさや線の太さが若干異なります。

  ・書体の違いに加えてスケーラブルフォントを使用することによるプリント結果の違いやスピードの違いがあります。

  ・イメージデータ（写真画像など）や文字登録データなどのドットパターンは 600dpi ／ 300dpi に自動的に変換されるため、プリント結果の見た目が異なります。また、イメージの補正処理の選択はできません。

  ・本プリンタでは印字位置を600dpi ／300dpiで処理するため図形や文字などの印字位置に微妙な違いが出ることがあります。

- 従来シリーズのPCN-201H/4やPCA-AX/3に搭載されていたキヤノン独自の拡張機能には対応していません。
- ジョブタイムアウトやメニュー操作によりエミュレーションのプリンタ設定は初期化されます。
- 描画処理の違いにより修飾文字を重ねたときの見た目が異なる場合があります。
- 内蔵エミュレーションモードでは、スーパーファインモード（1200dpi）でのプリントはできません。ファインモード（600dpi）でプリントされます。

従来 LIPS IV シリーズとの違いについて

※従来 LIPS IV シリーズとは、LBP-730、720、830、450、430、740、750、930 などです。

- 従来のシリーズとはメモリ管理の方法が異なっており、印字データや登録データで使用可能なメモリ容量が異なります。
- スーパーファインモード／ファインモードに設定されていても、大量のデータや複雑なデータなどを受信すると、処理に必要なメモリが不足して 1200dpi ／ 600dpi の解像度が保てず、600dpi ／ 300dpi に落としてプリントすることがあります。この場合、最初からファインモード／クイックモードに設定して 600dpi ／ 300dpi でプリントする場合と画質が異なります。
- オプションのコントロール ROM をご利用になる場合、必ず本プリンタに対応のもの（CR-MEN）をお使いください。従来 LIPS IV シリーズにのみ対応しているオプションのコントロール ROM は、本プリンタでは使えません。

LIPS IVc 搭載のカラー BJ との違い

- LIPS IV は LIPS IVc を包含したコマンド体系ですが、ハード的な違いなど以下のような注意点があります。
  - ･カラー BJ は LIPS IVc のコマンドを 360dpi で処理しますが、本プリンタは 600dpi ／ 300dpi で処理するためプリント結果の見た目が異なることがあります。
  - ･カラー BJ とは上余白／下余白（非有効印字領域）が異なります。
  - ･本プリンタはモノクロのプリンタなので、冗長な色情報が含まれているカラープリント用のデータは効率的ではありません。一般的にカラープリントとモノクロプリントを指定できる場合は、モノクロプリントを選択することをおすすめします。また、本プリンタ専用ドライバが選択できる場合はそちらを選択してください。

本プリンタの制限事項

- 本プリンタで、動作モード自動切り替えおよびインタフェース自動切り替えが可能な環境は以下のとおりです。エミュレーションモードの種類によっては、独自のインタフェース処理を行っているため、自動切り替えができない場合があります。

インタフェース ＼ 動作モード	パラレルインタフェース		USB	標準ネットワーク	拡張ネットワーク*1
	直結パソコン	プリントサーバアダプタ*1			
LIPS	○	○	○	○	○
内蔵 N201	○	○	○	○	○
内蔵 ESC/P	○	○	○	○	○
BMLinkS*2	×	×	×	○	○
N201*1	○	○	○	○	○
ESC/P*1	○	○	○	○	○
I5577*1	△	○	○	○	○
F359*1	△	○	○	○	○
N5273*1	△	○	○	○	○
HP-GL*1	○	○	○	○	○

*1： オプション品が装着されている必要があります。
*2： LBP3700の場合、BMLinkSに対応したオプションのプリントサーバが装着されているときのみ、BMLinkSモードが有効になります。

○：動作モード自動切り替えおよびインタフェース自動切り替えが可能です。
△：動作モード自動切り替えもインタフェース自動切り替えも行えないことがあります。その場合は、自動切り替えを設定せずに、選択している動作モードとインタフェースに固定させてお使いください。
×：印刷できません。

- LIPS メニューより拡大／縮小を行う場合、LIPS II+ モード用ユーザ登録文字セットおよびビットマップフォント Garland PS11 ／ ALP10 ／ ALP15 ／ ALP1125 は印字されないことがあります。
- 薄いグレーパターンで枠内を塗りつぶしたり、文字や線を印字する場合などにグレーパターンが正しく印字されないことがあります。
- テキストモードで縦書きに文字を印字する場合、2 バイト和文プロポーショナルフォント（Mincho-Medium-PS.XXX、Gothic-Medium-PS.XXX）は使用できません。文字ピッチが固定しているフォントをお使いください。
- 印字データや登録データで使用可能なメモリ容量は、プリンタの機種により異なります。また、使用する拡張インタフェースボードによっても異なります。
- 本プリンタでは、印字品質保持のための濃度調節や温度調節、あるいはエンジン状態監視のために、一時的にプリントが中断されることがあります。
- オプションのプリントサーバをご利用になる場合、必ずLIOスロットV2対応のものをお使いください。

スーパーファインモード（1200dpi）時の制限事項

以下の制限事項のなかで「塗りつぶし」、「座標範囲」、「文字の修飾」、「ビットマップフォント」については、コントロールコマンドで LIPS II+、LIPS III、LIPS IV を使用しているときのものです。

- 処理に必要なメモリ
  - ・スーパーファインモード（1200dpi）に設定されていても、処理に必要なメモリが不足した結果メモリエラーが発生し、解像度を 600dpi または 300dpi に落としてプリントすることがあります。スーパーファインモードでは、クイックモード、ファインモードに比べて印字データの処理に必要なメモリが不足しがちなため、次のようなメモリエラーが発生しやすくなります。
    例：
    「23　ダウンロードメモリ　フル」「26　システムメモリ　フル」
    「28　ビョウガメモリ　フル」「30　メモリ　フル」
    「33　ワークメモリ　フル」「38　ガシツ　テイカ」
- 塗りつぶし
  - ・閉領域塗りつぶし命令は動作しません。閉領域塗りつぶし命令を受信すると、「52　ヌリツブシメイレイ　フカ」とエラーメッセージが表示されます。
    ［オンライン］を押すと、閉領域塗りつぶし命令だけをスキップしてプリントします。
- 無視される設定項目
  - ・スーパースムージング処理の設定は無視されます。
    「スーパースムーズ」（→ P.3-20）
  - ・階調処理の設定は無視されます。
    「階調処理」（→ P.3-21）
  - ・トナー節約の設定は無視されます。
    「トナー節約」（→ P.3-22）
- エミュレーションモードでの使用
  - ・LIPS プリンタドライバから印刷するとき以外では、スーパーファインモードを使用できません。
- 座標範囲
  - ・スーパーファインモードでは、1200dpi でデータを処理するため、ベクタモードの座標範囲が 1.38m 四方になります。ベクタモード座標の最大・最小値は、どの解像度の場合でも -32640 ～ +32639 ドット（XY 座標とも）です。したがって、解像度が上がると、ベクタモード座標範囲は狭くなります。
- 文字の修飾
  - ・アウトライン修飾とシャドウ修飾を使用した場合、搭載されているメモリによっては、修飾できないことがあります。

解像度	搭載メモリ	修飾保証
1200dpi	24MB以上	100ポイントまで
	88MB以上	250ポイントまで

上記のサイズ以上の文字に対して修飾をした場合、アウトライン修飾、シャドウ修飾がかからないことがあります。

ただし、上記の条件を満たした場合も、複雑な形状の文字の場合、印字位置によってはアウトライン修飾、シャドウ修飾がかからないことがあります。

- ビットマップフォント
  - ・LIPS II⁺モード用フォント GarlandPS11/ALP10/ALP15/ALP1125 は、単純拡大されるため品位が低下する文字があります。

PC-PR201/80A プリンタとの違い

N201 エミュレーションモードでは、N201 対応アプリケーションソフトによるプリントができますが、PC-PR201/80A プリンタとは異なる点があります。プリントにあたっては以下の点にご注意ください。

■ 解像度の違いについて

PC-PR201/80A プリンタの解像度 160dpi に対し、本プリンタは解像度 600dpi または 300dpi で、各ページフォーマット毎の縮小率によってデータを変換します。これによって、プリント結果が PC-PR201/80A プリンタと異なることがあります。

- イメージデータ
  解像度／縮小率によってドットパターンが変換されるため、線の太さやグラフィックパターンが異なって見えることがあります。
  とくに「15" → B4 横」では水平方向と垂直方向の縮小率が異なるため、イメージ全体が横長になります。
- 登録文字
  24 × 24 ドット構成の外字は 8 ポイント相当、32 × 32 ドット構成の外字は 10 ポイント相当のドット構成に変換されるため、印字したときに文字パターンが変化したように見えることがあります。ダウンロード文字セットも同様にドット構成が変換されます。
- 印字間隔等
  解像度／縮小率によって印字間隔が変換されるため、半端な値によって印字にズレを生じることがあります。
- 右マージン
  文字が右マージンをわずか（1 ドット未満）でも超える場合は、改行します。

■ 文字パターンの違いについて

- 文字サイズ
  「実寸縦」、「実寸横」、「10" → A4 縦」、「15" → B4 横」では 10 ポイント、「15" → A4 横」、「2/3 縦」、「2/3 横」では 8 ポイントの文字が印字されるため、PC-PR201/80A プリンタより若干小さめに見えることがあります。特に縮小モードでは、ページフォーマットの縮小率よりも小さな文字サイズになります。また、ローマン文字では英数のみ文字幅が細めになります。
- フォントデザイン
  PC-PR201/80A プリンタとはフォントのデザインが異なります。このため、特殊文字等の字形や ANK ／漢字のバランスが若干異なって見えるようになります。
- 2 バイトコードの未定義領域
  2 バイトコードの中で、N201 では未定義の領域に本プリンタ専用の文字パターンが割り当てられている部分があります。このため、この部分のコードを印字すると本プリンタ特有のパターンが印字されます。

■ その他の制限

- 登録文字数とメモリオーバー
  文字の登録を行っているときなどにメモリが不足すると、「23　ダウンロードメモリ　フル」のメッセージが表示されます。
  登録文字数を増やしたい場合は、以下のような方法で空きメモリを増やして再度プリントしてください。
  ･オプションの拡張 RAM の増設
  ･「印字動作」の項目を「トウロク　ユウセン」にして再立ち上げ
- 白紙の排出
  N201　エミュレーションモードでは、ページ内に印字データがないと排紙を行いません。

ESC/P 準拠プリンタとの違い

ESC/P エミュレーションモードでは、ESC/P 対応アプリケーションソフトによるプリントができますが、ESC/P 準拠プリンタとは異なる点があります。プリントにあたっては以下の点にご注意ください。

■ 解像度の違いについて

ESC/P 準拠プリンタの解像度 180dpi に対し、本プリンタは解像度 600dpi または 300dpi で、各ページフォーマット毎の縮小率によってデータを変換します。これによって、プリント結果が ESC/P 準拠プリンタと異なることがあります。

- イメージデータ
  解像度／縮小率によってドットパターンが変換されるため、線の太さやグラフィックパターンが異なって見えることがあります。
  とくに「15" → B4 横」では水平方向と垂直方向の縮小率が異なるため、イメージ全体が横長になります。
- 登録文字
  24 × 24 ドット構成の外字は、8 ポイント相当、32 × 32 ドット構成の外字は 10 ポイント相当のドット構成に変換されるため、印字したときに文字パターンが変化したように見えることがあります。ダウンロード文字セットも同様にドット構成が変換されます。
- 印字間隔等
  解像度／縮小率によって印字間隔が変換されるため、半端な値によって印字にズレを生じることがあります。
- 右マージン
  文字が右マージンをわずか（1 ドット未満）でも超える場合は、改行します。

■ 文字パターンの違いについて

- 文字サイズ
  「実寸縦」、「実寸横」、「10" → A4 縦」、「15" → B4 横」では 10 ポイント、「15" → A4 横」、「B4 → A4 縦」、「B4 → A4 横」では 8 ポイントの文字が印字されるため、ESC/P 準拠プリンタより若干小さめに見えることがあります。特に縮小モードでは、ページフォーマットの縮小率よりも小さな文字サイズになります。また、ローマン文字では英数のみ文字幅が細めになります。

- フォントデザイン
  ESC/P 準拠プリンタとはフォントのデザインが異なります。このため、特殊文字等の字形や ANK/ 漢字のバランスが若干異なって見えるようになります。
- 2 バイトコードの未定義領域
  2 バイトコードの中で、ESC/P では未定義の領域に本プリンタ専用の文字パターンが割り当てられている部分があります。このため、この部分のコードを印字すると本プリンタ特有のパターンが印字されます。

■ その他の制限

- 登録文字数とメモリオーバー
  文字の登録を行っているとき等にメモリが不足すると、「23　ダウンロードメモリ　フル」のメッセージが表示されます。
  登録文字数を増やしたい場合は、以下のような方法で空きメモリを増やして再度プリントしてください。

  · オプションの拡張 RAM の増設

  ·「印字動作」の項目を「トウロク　ユウセン」にして再立ち上げ
- 白紙の排出
  ESC/P エミュレーションモードでは、ページ内に印字データがないと排紙を行いません。
- ESC/P スーパー
  ESC/P エミュレーションモードは ESC/P24-J84 仕様にのみ対応しているため、ESC/P スーパーのプリンタ設定では正しくプリントされません。

索引

英数字

あ

8 付録

か

さ

8
付録

た

は

ま

や

ら

ソフトウェアのバージョンアップについて

プリンタドライバなどのソフトウェアに関しては、今後、機能アップなどのためのバージョンアップが行われることがあります。バージョンアップ情報およびソフトウェアの入手窓口は次のとおりです。ソフトウェアのご使用にあたっては、各使用許諾契約の内容について了解いただいたものとさせていただきます。

情報の入手方法

インターネットを利用して、バージョンアップなど、製品に関する情報を引き出すことができます。通信料金はお客様のご負担になります。

■ キヤノンホームページ (http://canon.jp/)
商品のご紹介や各種イベント情報など、さまざまな情報をご覧いただけます。

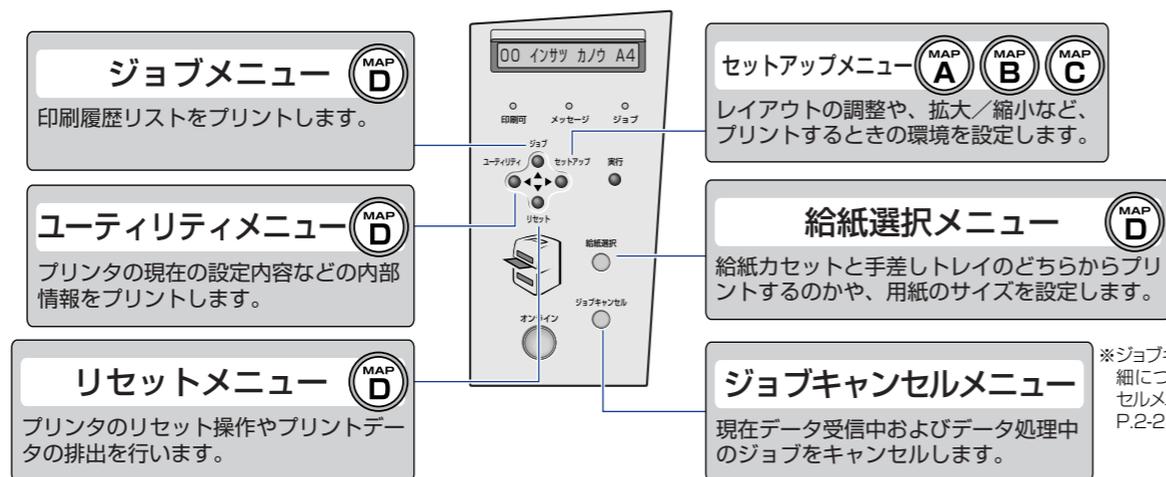
ソフトウェアの入手方法

ダウンロードおよび代引き配送サービスにより、プリンタドライバなどの最新のソフトウェアを入手することができます。通信料金はお客様のご負担になります。

■ キヤノンホームページ (http://canon.jp/)
キヤノンホームページにアクセス後、ダウンロードをクリックしてください。

■ CD-ROM の代引き配送サービス
プリンタドライバなどのソフトウェアの CD-ROM を有料（代金引き換え）にてお届けいたします。
ソフトウェアの種類、内容、金額はキヤノンホームページでご確認いただき、巻末のお客様相談センターへご注文ください。

- 対象エリアは日本国内とさせていただきます。

メニュースタートアップ

※ジョブキャンセルメニューの詳細については、「ジョブキャンセルメニューの機能と操作」(→P.2-23)を参照してください。

各メニューを表示したあとのメニュー項目(内容)については、該当する MAP A から MAP D を参照してください。

MAP A 共通セットアップメニューを表示する

1. [オンライン] を押して、オンラインランプを消灯させます。
2. [セットアップ] を押します。
セットアップメニューが表示されます。

MAP B LIPS専用セットアップメニューを表示する

1. [オンライン] を押して、オンラインランプを消灯させます。
2. [セットアップ] を押します。
セットアップメニューが表示されます。
3. 「LIPS セットアップ」を表示します。
[◄]または[►]を押します。
4. 下の階層へ進みます。
[実行] を押します。
LIPS専用セットアップメニューが表示されます。

MAP C N201専用セットアップメニューを表示する

1. [オンライン] を押して、オンラインランプを消灯させます。
2. [セットアップ] を押します。
セットアップメニューが表示されます。
3. 「N201 セットアップ」を表示します。
[◄]または[►]を押します。
4. 下の階層へ進みます。
[実行] を押します。
N201専用セットアップメニューが表示されます。

MAP C ESC/P専用セットアップメニューを表示する

1. [オンライン] を押して、オンラインランプを消灯させます。
2. [セットアップ] を押します。
セットアップメニューが表示されます。
3. 「ESC/P セットアップ」を表示します。
[◄]または[►]を押します。
4. 下の階層へ進みます。
[実行] を押します。
ESC/P専用セットアップメニューが表示されます。

MAP D 給紙選択メニューを表示する

1. [オンライン] を押して、オンラインランプを消灯させます。
2. [給紙選択] を押します。
給紙選択メニューが表示されます。

MAP D ジョブメニューを表示する

1. [オンライン] を押して、オンラインランプを消灯させます。
2. [ジョブ] を押します。
ジョブメニューが表示されます。

MAP D ユーティリティメニューを表示する

1. [オンライン] を押して、オンラインランプを消灯させます。
2. [ユーティリティ] を押します。
ユーティリティメニューが表示されます。

MAP D リセットメニューを表示する

1. [オンライン] を押して、オンラインランプを消灯させます。
2. [リセット] を押します。
リセットメニューが表示されます。

MAP A

メニュールートマップ

共通セットアップ編

- **拡張機能** ▶◀
  - パネルオフ動作 P.3-7: する / オンラインのみ / しない
  - パネルオフモード P.3-7: 15分 / 30分 / 60分 / 5分
  - 警告処理 P.3-8: 継続 / 停止
  - 自動エラースキップ P.3-8: 使わない / 使う
  - 表示言語 P.3-8: 日本語 / ENGLISH
  - ブザー P.3-9: 1回 / 連続
  - 警告表示 P.3-9: する / しない
- **給　紙**
  - トレイ用紙サイズ P.3-10: A4 / A4R / B4 / A3 / LT / LTR / LG / LD / EX / フリー / ユーザペーパー / ハガキ / 往復ハガキ / 4面ハガキ / 封筒Y4 / 封筒Y2 / 封筒K2 / A5 / B5 / B5R
  - デフォルト用紙サイズ P.3-10: A4 / B4 / A3 / A5 / B5
  - 用紙の向き P.3-11: 自動 / 縦送り / 横送り
  - トレイ優先 P.3-11: しない / する
  - 用紙不一致時トレイ P.3-12: 使わない / 使う
  - 自動選択 P.3-12
    - トレイ: 使う / 使わない
    - カセット1: 使う / 使わない
    - カセット2 *: 使う / 使わない
    - カセット3 *: 使う / 使わない
    - カセット4 *: 使う / 使わない
  - デフォルト用紙タイプ P.3-13: 普通紙 / 厚紙L / 厚紙 / OHP / 普通紙L
  - 両面印刷 * P.3-13: しない / する

下段に続く

上段から続く

- **レイアウト** ▶◀
  - コピー枚数 P.3-15: 1 ··· 2000
  - 縦補正 P.3-15: -50.0mm ··· 0.0mm ··· +50.0mm
  - 横補正 P.3-15: -50.0mm ··· 0.0mm ··· +50.0mm
  - とじ方向 P.3-16: 長手 / 短手
  - とじ幅 P.3-17: -30.0mm ··· 0.0mm ··· +30.0mm
  - 特殊両面処理 * P.3-19: する / しない
  - 白紙節約 P.3-19: する / しない
- **印字調整**
  - スーパースムーズ P.3-20: 使う / 使わない
  - 解像度 P.3-20: ファイン / スーパーファイン / クイック
  - ドット補正 P.3-21: 使わない / 使う
  - 階調処理 P.3-21: 標準 / 高階調
  - トナー節約 P.3-22: 使わない / 使う
  - トナー濃度 P.3-22: 1 ··· 4 ··· 8
  - 中間調選択 P.3-22: パターン1 / パターン2 / パターン3 / パターン4
  - 画質警告 P.3-23: 継続 / 停止
  - 印字動作 P.3-24: 自動 / 画質優先 / 登録優先

下段に続く

上段から続く

- **インタフェース** ▶◀
  - インタフェース選択 P.3-26: 自動 / セントロニクス / USB / 標準ネットワーク★ / 拡張I/F *
  - タイムアウト P.3-26: 15秒 ··· 300秒 / しない / 5秒
  - セントロニクス設定 *
    - busy-ack P.3-27: A-B-A / A-B / B-A
    - セントロ受信速度 P.3-28: 高速 / 中速 / 低速
    - セントロ送信速度 P.3-28: 高速 / 中速 / 低速
    - インプットプライム P.3-28: 動作モード依存 / リセット
    - 双方向 P.3-29: ECP / ニブル / 使わない
    - ジョブ区切り P.3-30: しない / する
  - 標準ネットワーク ★ *
    - TCP/IP P.3-30
      - フレームタイプ: ETHERNET2 / 無効
      - IPモード *: 手動 / 自動
      - プロトコル *
        - DHCP: オフ / オン
        - BOOTP: オフ / オン
        - RARP: オフ / オン
      - アドレス *
        - IPアドレス: 192.168.0.215
        - サブネットマスク: 0.0.0.0
        - ゲートウェイアドレス: 0.0.0.0
    - 設定登録 P.3-31
    - ネットワーク設定初期化 P.3-31
  - 拡張ネットワーク *
    - TCP/IP P.3-32
      - フレームタイプ: ETHERNET2 / 無効
      - IPモード *: 手動 / 自動
      - プロトコル *
        - DHCP: オフ / オン
        - BOOTP: オフ / オン
        - RARP: オフ / オン
      - アドレス *
        - IPアドレス: (数値入力)
        - サブネットマスク: (数値入力)
        - ゲートウェイアドレス: (数値入力)
    - 設定登録 P.3-33
    - ネットワーク設定初期化 P.3-33
  - コネクション認識 * P.3-33: する / しない
  - 拡張受信バッファ * P.3-34: 使わない / 使う

MAP B　MAPBをご参照ください

ルートマップの見かた

- ←キー操作
- ←「グループ」の階層をあらわしています。
- ←「設定項目」の階層をあらわしています。
- ←本文中のページ数をあらわしています。
- ←「設定値」の階層をあらわしています。アミがかかっている設定値は、工場出荷時の値をあらわしています。

- ●ルートマップ中の「▪▪▪」は、設定値を省略していることをあらわしています。
- ●「*」印の設定項目や設定値は、オプションの有無や他の設定項目の内容によって表示されるときと、表示されないときがあります。詳しくは本文中の説明を参照してください。
- ●「★」印の設定項目や設定値は、LBP3800のみ表示されます。
- ●キー操作について
  メニュー項目の指定は、操作パネルの▲▼◀▶と［実行］の5つのキーを使って操作します。
  - ▲　上の項目に戻る。
  - ▼　下の項目に進む。または項目を決定する。［実行］でも同様の操作が行えます。
  - ◀　左の項目を選択する。
  - ▶　右の項目を選択する。

メニュールートマップ

共通・LIPSセットアップ編

ルートマップの見かた

拡張機能 ←キー操作

←「グループ」の階層をあらわしています。

パネルオフ動作 ←「設定項目」の階層をあらわしています。

P.3-7 ←本文中のページ数をあらわしています。

する／オンラインのみ／しない ←「設定値」の階層をあらわしています。アミがかかっている設定値は、工場出荷時の値をあらわしています。

- ルートマップ中の「▪▪▪▪」は、設定値を省略していることをあらわしています。
- 「＊」印のグループや設定項目は、オプションの有無や他の設定項目の内容によって表示されるときと、表示されないときがあります。詳しくは本文中の説明を参照してください。
- キー操作について
  メニュー項目の指定は、操作パネルの▲▼◀▶と［実行］の5つのキーを使って操作します。
  ▲上の項目に戻る。
  ▼下の項目に進む。または項目を決定する。［実行］でも同様の操作が行えます。
  ◀左の項目を選択する。
  ▶右の項目を選択する。

メニュールートマップ

N201・ESC／Pセットアップ編

上段から続く

ESC/Pセットアップ

パネル設定初期化 P.2-27

ページレイアウト

- ページフォーマット P.6-4：実寸縦／実寸横／10"↓A4縦／15"↓A4横／15"↓B4横／B4↓A4縦／B4↓A4横
- 上余白 P.6-6：-127／+000／+127
- 用紙位置微調整 P.6-7：-127／+000／+127
- 領域 P.6-9：標準／ワイド
- 右マージン既定値 P.6-9：136桁／右端
- 用紙サイズ P.6-9：カレント用紙／A3／B4／A4／B5／A5／ハガキ
- 2ページ印刷設定 P.6-10：しない／左／右

フォント

- 漢字書体 P.6-11：明朝／ゴシック／ID
- フォントID *P.6-11：001／002／999
- 漢字サイズ P.6-11：システム／8ポイント／10ポイント／12ポイント
- 文字コード P.6-12：カタカナ／グラフィックス
- 国別文字 P.6-12：日本／ノルウェー／デンマーク2／スペイン2／ラテンアメリカ／USA／フランス／ドイツ／UK／デンマーク／スウェーデン／イタリア／スペイン

印字機能

- イメージの補正 P.6-13：しない／する
- 縮小文字 P.6-13：しない／する

印字動作

- 改行機能 P.6-14：LFコマンドを待つ／改行

VFC

- 連続用紙長 P.6-15：システム／1行／199行
- 単票用紙長 P.6-16：システム／1行／199行
- ミシン目スキップ P.6-16：しない／1行／31行

その他

- 登録レベル P.6-17：一時／永久

ルートマップの見かた

拡張機能 ▶◀ ←キー操作

←「グループ」の階層をあらわしています。

パネルオフ動作 ←「設定項目」の階層をあらわしています。

P.3-7 ←本文中のページ数をあらわしています。

する／オンラインのみ／しない ←「設定値」の階層をあらわしています。アミがかかっている設定値は、工場出荷時の値をあらわしています。

●ルートマップ中の「■■■■」は、設定値を省略していることをあらわしています。

●「＊」印のグループや設定項目は、オプションの有無や他の設定項目の内容によって表示されるときと、表示されないときがあります。詳しくは本文中の説明を参照してください。

●キー操作について
メニュー項目の指定は、操作パネルの▲▼◀▶と［実行］の5つのキーを使って操作します。
▲ 上の項目に戻る。
▼ 下の項目に進む。または項目を決定する。［実行］でも同様の操作が行えます。
◀ 左の項目を選択する。
▶ 右の項目を選択する。

メニュールートマップ

その他のメニュー編

給紙選択メニュー

給紙選択メニューの設定項目 P.7-11
給紙選択メニューの機能と操作 P.2-25

- 給紙モード
  - 自動 / カセット1 / カセット2＊ / カセット3＊ / カセット4＊ / トレイ
- トレイ用紙サイズ
  - A4 / A4R / B4 / A3 / LT / LTR / LG / LD / EX / フリー / ユーザペーパ / ハガキ / 往復ハガキ / 4面ハガキ / 封筒Y4 / 封筒Y2 / 封筒K2 / A5 / B5 / B5R
- ＊両面印刷
  - しない / する

リセットメニュー

リセットメニューの設定項目 P.7-9
リセットメニューの機能と操作 P.2-21

- ハードリセット
- ソフトリセット
- 排出

ジョブメニュー

ジョブメニューの設定項目 P.7-8
ジョブメニューの機能と操作 P.2-19

- 印刷履歴リスト

ユーティリティメニュー

ユーティリティメニューの設定項目 P.7-4
ユーティリティメニューの機能と操作 P.2-16

- ステータスプリント
- ＊その他のエミュレーションのユーティリティ
- LIPSユーティリティ
  - ステータスプリント / フォントリスト / オーバレイリスト / マクロリスト / フォームリスト / オーバレイプリント
- N201ユーティリティ
  - ステータスプリント
- ESC/Pユーティリティ
  - ステータスプリント
- フォントリスト
- クリーニング1用紙
- クリーニング1実行
- クリーニング2実行
- ★標準N/Wプリント
- ＊拡張I/Fプリント
- 印字位置プリント

●「＊」印の設定項目や設定値は、オプションの有無や他の設定項目の内容によって表示されるときと、表示されないときがあります。詳しくは本文中の説明を参照してください。
●「★」印の設定項目は、LBP3800のみ表示されます。

消耗品・オプション製品のご購入ご相談窓口

消耗品・オプション製品はお買い上げ頂いた販売店、またはお近くのキヤノン製品取り扱い店にてお買い求めください。ご不明な場合は、下記お客様相談センターまでご相談ください。

修理サービスご相談窓口

修理のご相談は、お買い上げ頂いた販売店にご相談ください。
ご不明な場合は、下記お客様相談センターまでご相談ください。

Canon

キヤノン株式会社・キヤノン販売株式会社

お客様相談センター（全国共通番号）

050-555-90061

[受付時間]　<平日> 9:00～20:00　<土日祝日> 10:00～17:00
（1/1～3は休ませていただきます）

※上記番号をご利用いただけない方は043-211-9627をご利用ください。
※IP電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。
※受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

キヤノン販売株式会社　〒108-8011　東京都港区港南2-16-6

Canonホームページ：http://canon.jp

FA7-5356 (040)